

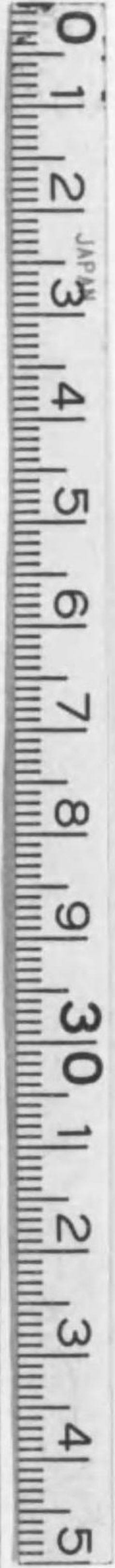
東筑摩郡村誌

一

里山邊村
入山邊村
岡本村
川谷原村
會田村
中川村

30Z

5Z



始





東筑摩郡教育部會編

誌

第一輯



白塔社版

例言

- 一 本村誌ハ明治初年官命ニヨリ各町村が取調べ上申セルモノナリ 本郡六冊綴トシテ旧役所ニ保管セラレタルモノニテ中、南深志町北深志町深志村筑摩村入山邊村里山邊村岡本村ノ二町五ヶ村ヲ含ム原本二冊不明止ムヲ得ヌ町村ノ控若シクハ寫シニヨレリ
- 一 神林村今井村笹下村ノ三ヶ村ハ原本ニ欠トアリ南深志町ハ控又ハ寫シナシ思フニ報告セザリシモノナラン
- 一 原本ニハナケレ共明治初年ノ各町村ノ分合ト現在町村トノ關係ヲ知ルタメ長野縣統計第一號ヨリ抜粹シテ巻頭ニ維新以降本郡沿革表ヲ附セリ
- 一 原本並ニ控寫シ等ヲ得ルニツイテハ堀内千萬藏新井明八兩氏ニ負フ所多ク地圖ハ犬塚時次郎氏ノ作製ニカカルモノニ多少修補ヲ加ヘタリ ココニ記シテ謝恩ノ意ヲ

表ス

昭和九年八月

東筑摩郡教育會

維新以降本郡町村沿革表

組名	明治初年村名	區大小區	合併年
刈原	刈原町	區大	十八年
	七反	區小	
赤野	赤野	區大	二十二年以降
	殿野	區小	
金保	金山	區大	二十二年以降
	保板	區小	
取穴	取穴	區大	二十二年以降
	會西	區小	
執西	執西	區大	二十二年以降
	宮落	區小	
會田	會田	區大	二十二年以降
	田水	區小	
井落	井落	區大	二十二年以降
	宮落	區小	

組名

明治初年村名

區大小區

七年自十二年
八年至十六年

十八年

二十二年以降

會田組

刈原 七反 赤野 殿野 金山 保板 取穴 會西 執西 宮落 井落

田

福野

谷

刈原 町 七反 赤野 殿野 金山 保板 取穴 會田 田水 井落

區六十第

區五十第

區大三第

區大三第

區小二第

區小一第

會田村

刈原谷村

(村々) 離分年三十

合併年四十

合併

五

會

錦

常

田

部

村

村

村

麻績組

坂北組

上下上下小 永安市天下野麻上桑高 桑萩別仁

生生生立 井 井 新

野坂坂野野井坂川倉堀口績堀山 関田所熊

區二廿第	區十二第	區一廿第	區九十
區大三第	區大三第	區大三第	區大三
區小八第	區小六第	區小七第	區小五

東 村坂生 村井坂 村績麻 村向日 村北

合併

立獨

合併

生	坂	麻	日
坂	井	績	向
村	村	村	村

中城組

竹青中 刈大乱東西 藤長召矢會横原金兩小北

澤谷新 岩

場柳村澤田橋條條池越田久吉川山井瀬井山

第	區八十第	區七十第
第	區大三第	區大三第
第	區小四第	區小三第

坂 村城赤 村川中

離分年五十 (村々四)

合併

合併

合併

坂	赤	中
北	城	川
村	村	村

島立組

下下上三下上東南北小南北三中永島大堀荒
神波波
部多多溝新新新新新柴栗栗宮村田立庭米井

區七廿第 區六廿第 區五廿第
區大四第 區大四第 區大四第
區小三第 區小二第 區小一第

村多波 村新 村立島

立独

波 新 島
多 立
村 村 村

成相組

川手組

下上犬町北東青南北高小光田大塔明湖潮潮
飼
平平新
瀬瀬田 方方島中中松宮 澤足原科 澤中

區六十第 區四廿第 區三十第
區大十第 區大三第 區大三第
區小十第 區小九第

村内島 川上村手川中 村手川

立独

合駢

島 上 川 東
内 川 手 川
村 手 村 手 村

					田笹川下組						今井組								
郷	壁	原	吉	野	高	二	神	神	今	小	古	野	下	工	竹	大	小	岩	
						戸					池	口	今	今					
						新					原	新							
原	石	田	田	村	出	子	田	戸		俣	田	田	井	井	田	池	坂	垂	
區五卅第						區四卅第					區一卅第					區八廿第	區		
區大五第						區大四第					區大四第					區大四第	區		
區小一第						區小十第					區小七第					區小四第	區		

村丘廣	村下笹	村井今	村形山	村
-----	-----	-----	-----	---

(村7)離分年四十 (村7)離分年二十

立独	台聯			立理	立
廣	笹	今	山		
丘	賀	井	形		
村	村	村	村		

					洗馬郷						和田組						ノ笹一下部組	
小	赤	西	小	小	針	古	和	境	下	中	南	殿	衣	蓑	下	水	上	梶
部	洗	洗	野	澤	尾	見	田			和	和				神	神	海	
	馬	馬	澤	田	尾	見									部	部	部	
卅第			區九廿第							區二卅第								區三卅第
大四第			區大四第							區大四第								區大四第
小六第			區小五第							區小八第								區小九第

馬洗	村赤山	村田和	村神
----	-----	-----	----

(村7)離分年四十 (村7)離分年二十

独	立独	(ズラ入ハ村多波シ假)台聯	
洗	朝	和	神
馬	日	田	部
村	村	村	村

塩尻組

平勝北下中上柿金大長棧大堀塩中南北南北

小西西西 小之 熊熊内内

出弦野條條條澤井門畝敷屋内尻狭井井田田

區一十四第 區十四第 區九卅第

區大五第 區大五第 區大五第
區小七第 區小六第 區小五第

區大五第
區小六第

區大五第
區小六第

村吧摩筑

村尻塩

村丘片

離分年四十(村々一十)

立独 立独 立独

筑 塩 片
摩 尻 丘
吧 村 村
村

五千石
二知行所
分八塩尻
組二屬ス

高出組

塩泉神赤小百白白上下竹高笹並出野平小村

瀬瀬

原 田 爪 池 瀬 川 姫 黒 黒 淵 宮 部 柳 川 溝 田 屋 井

區八卅第 區七卅第 區六卅第

區大五第 區大五第 區大五第
區小四第 區小三第 區小二第

村山中

村丘豊

村祭信

小同
赤年
村

豊同
丘年
村

白上
瀬六
淵年
村

(村々七)離分年三十

合册 立独

中 壽 松 芳
山 村 本 川
村 村 村 村

(此外庄内組小島
田証矢野加ハル
嶽)

山家組

桐南 庵大 林南 北荒 免澤 上藤 湯新 下征 鎌小 三

嵩 小 小 川 金 天

原方 倉崎 松松 町寺 町井 井原 井野 田島 才

二十第

區一十第

區

大二第
小四第

區大二第
區小三第

區大
區小

邊山人

村邊山里

村

狹

立狹

入

里

山

山

邊

邊

村

村

中筑 理庄 宮小 飯中 博伊 中伊 山下 上安 和東 下下

村池 田勞 勢 迎橫 橫原 泉下
小田 田

林摩 庵内 町町 町町 町町 町町 路町 町町 町町 町町 町町

十第

區六第

區五第

區八第

區七第

區

二第
二第

區大一第
區小二第

摩筑

町志深南

合聃

里山邊村



里山邊村

鬼川寺村 下金井村 湯ノ原村 藤井村 上金井村
 薄町村 南小松村 北小松村 林 村 大嵩崎新田村
 荒町村 新井村



以上拾貳ヶ村合併
 本村往古、鬼川寺村、薄町村、上金井村、下金井村、新井村、荒町村、湯ノ原村
 今稱シテ里山邊村ト云ヒ、其他各自皆具稱スル所ヲ以テ名トス 何レノ時ニカ又
 今ノ入山邊村ヲ加ヘテ山家組ト云フ 蓋シ古今大小區々ト稱スルモ
 名稱ヲ異ニスルノミ。爰ニ明治八年村落合併アリテ、則チ入山邊村
 他十二ヶ村ヲ以テ更ニ里山邊村ト改稱

疆域

東八同郡入山邊村ニ連リ山頂或ハ田畔ヲ以テ界ス
 南八同郡中山村ト千鹿頭山峯或ハ田畔交互壤ヲ接ス
 西北八同郡岡本村、筑摩村ト互ニ犬牙相接ス

幅員

直經 東西三十一町四拾間

南北四十三町二十間

面積 十六十三町壹反五畝步

周圍 百六拾五町五拾六間

此内同郡入山邊村ヨリ飛入地三拾余ヶ所有之直經面積等ハ同村ニ出ス 圍外ニ入山邊村ニ介シ飛出地六ヶ所アリ詳ニ飛地ノ部ニ出ス 其他入山邊村ト共有ノ山反別百拾三町五反九畝拾九步 岡本村ト共有スル山反別三千百拾町四反步共ニ同村ノ幅員ニ出ス

管轄沿革

其先ヲ詳ニスル能ハズト虽モ永正元甲子年島立石近太輔深志城建策已來當城ニ屬ス 其後大永三癸永年ヨリ天文二甲午年マデ水上宗淨鎮ス 同年小笠原太勝太輔長時領ス 同二十二癸丑年武田信玄ト結硬ヶ原ニ戰ヒ敗績シテ遂ニ武田家ノ所領トナル 天正十午年武田家滅亡ニ及ビ再ビ小笠原石近太輔貞慶領シ 同十八年

里程

下總國栗橋ニ遷ル 同年石川伯耆守康昌之ニ代ル 慶長十八年同玄蕃守光長ニ至リ所領改易ニ因テ同年小笠原兵部太輔秀政當國伊那郡ヨリ入部 同石近將監忠政相續キ 其後三年ヲ経テ元和三丁巳年播州明石へ遷移 同年戸田丹波守慶長上州高崎ヨリ入部 同佐渡守康直寛永十癸酉年播州明石へ遷ル 同年松平出羽守越前大野ヨリ入部 同十五年雲州松江へ所替へ 同年堀田加賀守正盛武州川越ヨリ遷ル 同十九年下總國佐倉へ所替へ 水野隼人正忠清三州吉田ヨリ遷テ之ニ代ル 忠清ヨリ同隼人正直忠ニ至ツテ六世九拾六年ニシテ所領召上ラル 此時享保十乙巳年七月ナリ 城受取當國松代ノ城主眞田出雲守ナリ 同十一丙午年戸田丹波守光慈志州鳥羽ヨリ入部以後世襲 同光則ニ至ツテ九世百四十七年則々明治二己巳年藩籍ヲ奉還シテ藩政トナリ 同四年七月松本縣トナリ 同年十一月筑摩郡管轄トナル

筑摩縣廳ヨリ卯ノ三分へ廿八町三拾八間三尺
東方入山邊村之標へ卯ノ方十四町四十六間四尺
岡本村之標へ亥ノ方三十二町三十間

中山村之標へ承ノ方壹里三十六間

地勢

東方扉武石兩嶺ノ洞口ニシテ三面山ヲ負ヒ南ニ鉦伏千鹿頭ノ諸山アリ 唯西方開闊漸西シ漸低ク遠ク村市ヲ望ムベシ 荷物ノ運輸多ク車馬ヲ用ユ・薪炭ノ利乏シカラズ

地味

其色黒ク其質美ニシテ肥瘠一ナラズ 稲梁又藍ニ適シ其山腰ニ至ツテハ瘠地多クシテ十ノ七八分ニ居ル 水利不便ニシテ時々旱ニ苦シム

税地

耕地 貳百八拾六町三反三畝拾四歩
宅地 參拾八町式反壹畝拾八歩
山地 四百六拾四町式反八畝二拾二歩
林 壹町九反七畝式拾參歩

官有地

竹藪 參反壹畝拾八歩
芝地 六反壹畝拾四歩
溜池 壹反七畝式歩
死馬捨場 七畝式拾歩
荒地 拾七町式反七畝拾六歩
總計 八百九町式反六畝式拾七歩

耕地 五反五畝拾五歩
宅地 壹町壹反二畝三歩
荒地 壹畝式拾式歩
山地 百八町七反式畝七歩
林地 五反六畝式拾歩
竹藪 式反七畝拾五歩
總計 百拾町式反五畝式拾歩

飛地

耕地 六反五畝歩
 宅地 四畝八歩
 山 参拾式町拾参歩
 石字大菱ト云フ 本村辰ノ八分ニ当リ距離式拾町四拾間 入山邊村、里山邊村兩村共有ノ山ヲ以テ懷包シ唯北面一方開キテ入山邊村ニ対ス 直經東西五町南北六町式拾間 周圍拾八町四拾間
 耕地 式畝式拾式歩
 石字紙磨ト稱シ本村ヨリ辰ノ二分ニ當リ入山邊村地内ニアリ 距離式拾式町参拾間 直經東西拾間南北八間 周圍参拾七間
 耕地 三畝式拾七歩
 宅地 三畝式拾七歩
 石字三反田 本村ヨリ卯ノ九分ニ當リ入山邊村ニ在リ 本村ヲ距ル参拾式町 直經東西式拾間南北拾式間 周圍七拾間
 宅地 四畝拾八歩

字地

石字逢沢 入山邊村地内ニアリ 本村ヲ距ル式拾九町卯ノ七分ニ當ル 直經東西拾四間南北拾間 周圍五拾間
 耕地 三畝式拾七歩
 石字サイキ 入山邊村地内ニアリテ本村卯ノ六分ニ當リ距離三拾八町 直經東西拾壹間南北拾間 周圍四拾三間
 耕地 壹町壹反三畝式拾壹歩
 宅地 八畝拾五歩
 石字一ノ沢 入山邊村地内ニアリテ本村ヨリ辰ノ正中ニ當リ本村ヲ距ル事四拾式間 直經東西三町式拾間南北六拾間 周圍四百五拾間

兔川寺
 東南上金井薄町 西北ハ荒町藤井ニ接シ 村内ノ中心ナリ 直經東西式百式拾間 南北四百間 堂前中村才ノ神堂坂堀ノ内等ノ小字此中ニアリ

荒町
 東南兔川寺小松ニ接シ 西北ハ岡本村新井ニ界シ 本村西ノ方ニ當リ去ル事

新

五町 直経東西四百間 南北二百間 町裏、下原、針塚等ノ小字此内ニアリ
東南免川寺荒町 西北下金井湯ノ原ニ接シ本村戌ノ四分ニ当リ去ル事六町
直経東西四百間 南北二百五拾間 下原、扇田、京田、鷹金等ハ此内ノ小字
ナリ

湯

東南藤井新井ニ界シ 西北八岡本村湯原村ニ接シテ 本村ノ亥ノ六分ニ当リ
去ル事拾町 直経東西參百七拾間 南北三百間 鷹金姥ヶ塚芋桶辻堂風上リ
京田湯尻土井尻山下原田等此中ノ小字ナリ

下

東南荒町新井ニ界シ 西北岡本村湯ノ原ニ接シ 本村ノ中央ヨリ戌ノ六分ニ
当リ去ル事九町五拾間 直経東西六拾間 南北三百間 水無原園若宮桶田楮
子田蓬田等ノ小字此中ニアリ

藤

東南上金井免川寺 西北ハ湯ノ原ニ接シ 本村ノ子五分ニ当リ 距離六町ニ
アリ 直経東西式百五拾間 南北四百間 小森殿大塚大柳壺町田大ッヶ鳥居

上

山京田湯ノ元原上リ小塚等ノ小字此内ニアリ
東南追倉薄町ニ接シ 西北ハ免川寺ニ界シ 本村卯ノ方ニ当リ七町ヲ距ル地
ニアリ 直経東西五百間 南北參百五拾間 金井矢ヶキ籠鋪田野口芭原堀ノ
内小沢等ノ小字此中ニアリ

薄

東南ハ入山邊村并ニ林ニ界シ 西北ハ免川寺上金井ニ接シ 本村ノ中央ヲ去
ル事三町四拾間 辰ノ三分ニ当ル 直経東西五百間 南北式百五拾間 宮ノ
沢北川原南川原ヤニ穴針塚五反田宮ノ上中村等ハ此中ノ小字ナリ

小

東南薄町並ニ林ニ界シ 西北ハ筑摩村荒町ニ接シテ 未ノ七分ニ当リ 九町
式拾間ヲ距ル 直経東西八百間 南北三百五拾間 藁オイホリ大將軍小八幡
葉師堂天王石原中嶋一本松腰巻塩添等ノ小字此中ニアリ

林

東南大嵩崎中山村 西北中山村小松ニ界シ 本村ヨリ午ノ七分ニ当ル 五ル
事拾町 直経東西三百五拾間 南北三百五拾間 免田蓬初淡間下山影 小沢



寺下等ノ小字此中ニアリ

大 嵩 崎

東南北林山 西林ニ界シ 本村ヨリ午ノ方拾町式拾間ノ地ニアリ 直經東西百間 南北參白間 六郎小屋上小屋下等ノ小字此中ニアリ

大 菱

本村ヨリ辰ノ三分ニ当リ去ル事式拾町四拾間ナリ 東西南共ニ大菱山ヲ以テ包ミ北方僅ニ開キテ入山邊村ニ対ス 直經東西四拾間 南北式百間

追 倉

南ハ入山邊村ニ界シ其他皆山ナリ 本村卯ノ方ニ当リ拾五町ヲ去ル 直經東西七拾間 南北百八拾間 小字ニ人穴アリ

湯 原 山

東南ハ藤井山湯原 西北ハ岡本村耕地同ジク山ニ接シ 本村子ノ方ニ当リテ去ル事拾六町式拾間 直經東西四百五拾間 南北七百間 西ノ入長峰大工岩ヒルイ場ミヤヌキ等此中ノ小字ナリ

藤 井 山

東ハ上金井 南ハ藤井 西北ハ湯ノ原又岡本村ト共有セル山ニ接シ 本村五

上 金 井 山

ノ一分ニ当リ去ル事拾八町式拾間 直經東西千百間 南北九百間 道新坂石山阿多羅沢新坂柳キリミツマタ等ハ此中ノ小字ナリ

追 倉 山

東ハ入山邊村 南ハ追倉 西北ハ上金井又岡本村ト本村トノ共有山ニ界ス 本村ノ寅ニ当ツテ拾九町ヲ去ル 直經東西三百五拾間 南北八百間

林 山

東南西中山村ニ接シ 北ハ大嵩崎ニ界ス 本村ノ午ニ当ツテ拾六町四拾間ヲ去ル 直經東西九百間 南北八百間 小字寺山隱居山等此中ニアリ

大 菱 山

本村ヨリ辰ノ三分五厘ニ当リ去ル事式拾町四拾間 東西式百五拾間 南北式百三拾間 三面共ニ入會山ニシテ北方大菱ニ連ル

此他許多ノ小字アリト雖モ一々記載ノ違アラズ 其詳察ナルモノニ至ツテハ地引

全圖ニ讓ツテ此ニ出サズ

貢租

旧貢米 千式百五拾六石壹斗五升

同大豆 六石五斗七升五合

地租 四千七百九拾式円四拾錢式厘

納税金 六拾八円九拾式錢式厘

總計 四千八百六拾壹円參拾式錢四厘

户数

本籍 五百九拾九戸

借家 式拾五戸

寄留 四戸

事務扱所 壹戸

總計 六百三拾四戸

社 一戸

寺 一戸

小學校 一戸

欠

欠

スクナカラズ 其洞枯ニ至ツテハ則水流ヲ兎ズ

大柳堰

薄川ノ支流ナリ 入山邊村桐原耕地ヨリ疏通シ当村用水田水ニ供シ余流岡中
村ヲ過ギ筑摩村ニ至リ女鳥羽川ニ會ス

藤井沢

溢池ノ下流ニシテ藤井ヲ過ギ湯原ニ至リテ大柳堰ニ會ス

追倉沢

源ヲ桐原山外五ヶ耕地ノ入會山ニ発シ上金井ヲ經テ同ジク大柳堰ニ入ル

大菱沢

入山邊村南方耕地宇大菱沢ニ発スル潺湲タル小流ニシテ恰モ空谷ニ等シ 然
レ共今ヲ距ル事式拾年前ニアリテハ霖雨毎ニ土砂山ノ如ク押し出シ本川ヲ突
キ留メ暫時ニシテ水勢滋ニ嵩ミ一旦ニ破潰シ田園家居之がタメニ 損害スル
コトスクナカラザリシガ安政年間出雲國大社ノ神官中村守臣ニ請ヒ疊回シテ
之ヲ祈ル故ヲ以テカ近末ニ至ツテハ此患ナシ

湯原沢

湯原耕地ノ小溪ヨリ発シ藤井沢ニ會シテ大柳堰ニ入ル

森 林

須乃岐森

官有ニ属ス 東西五拾式間 南北五拾一間 反別八反八畝拾式步 本村ノ東
南兼町耕地須乃岐水ノ神社朱引外ナリ杉槻楡及雜木蔚生ス其大ナルモノ長サ
拾三間廻リ八尺其小ナルモノハ小苗木ナリ

八 阪 森

官有ニ属ス 東西五拾間 南北三拾四間 反別五反六畝式拾步 本村ノ西南
小松耕地ニアリ 八阪ノ神社ヲ圍ミ 松楨等茂生ス 大ナルモノハ圍ミ式尺
長サ五間其最小ナルモノニ至ツテハ僅ノ小苗木ナリ

オフケ 林

民有ニ属ス 東西壹町式拾間 南北拾七間余 反別四反七畝式拾壹步 本村
亥ノ八分ニ当リ六町五拾間ニアリ 松楨等ノ雜木多シ

追 倉 林

民有ニ属ス 東西八間四尺余 南北拾壹間 本村ノ寅ノ八分ニ当リ拾六町四
拾間ニアリ 松楨雜木等ヲ生ズ

金 井 林

民有ニ属ス 東西參拾五間 南北平均參拾壹間 本村ノ卯ノ二分ニ当リ去ル
事九町拾式間ニアリ 松杉雜木等多シ 圍ミ五尺以下長サ之ニ準ス

大 高 崎 林

民有ニ属ス 東西參拾四間半 南北拾四間半 反別壹反六畝式拾步 本村ヨ
リ午ノ正中ニ当リ拾壹町四拾間ニアリ 松楨等多シ

北 河 原 林

民有ニ属ス 東西六拾九間 南北拾九間 反別四反三畝式拾壹步 本村ノ午
ノ三分ニ当リ六町式拾間ニアリ 松楨雜木多シ

湖 沼

溢 池

藤井耕地ヨリ丑ノ方山ニ入ル事式拾町許 宇溢池ト云フ 東西五町 南北四
町 周圍參拾町 山ヲ穿テ堤ヲ築キ以テ水ヲ滯ス 当耕地藤井佐次郎ナルモ
ノ常ニ当地ノ用水不便ナルヲ患ヘ精ヲ励マシ村民ニ謀リ廳ニ請フテ許可ヲ得
遂ニ安政二卯年築造ノ功ナリ因テ大ニ水利ノ便ヲ得タリ

湯原池

湯原耕地ノ子ノ方ニ当リ 東西式拾五間 南北式拾間 周田八拾間 新井耕地荒町耕地四ヶ所ノ分入混シ旱穰ノ田所有之年々旱魃ノ損害少ナカラズ 因テ村吏藤井卯兵衛、小林重三郎相謀リ弘化二己年ヨリ五ヶ年ヲ過ギテ成レリ

大嵩崎池

大嵩崎耕地ノ辰ニ当リテ 東西拾八間 南北拾貳間式尺 周田壹町拾貳間 嘉永年間修理ス 造築起年不相知

道路

武石街道

三等道路ニ属ス 本村ノ西方岡本村境ヨリ東長野縣下境マデ長サ三里五拾五間幅九尺 武石嶺ヲ越工小縣郡武石上平入駅ニ至ル里程五里夫ヨリ中仙道芦田駅ニ達ス 其他北國往還上田ニ通ス 又上金井耕地ニ入山邊村ヨリ麻嶺ヲ越工中仙道和田駅ニ通スル岐路アリ

揭示場

本村ノ西口ヨリ拾町拾五間即チ兎川寺耕地事務所ノ庭前ニアリ

提防

八龍 籠ノ鼻

共ニ薄川ニ沿ヒ其北岸ヲ八龍ト云ヒ南岸ヲ籠ノ鼻ト云フ 本村ノ南方ニアリ 東方入山邊村境ヨリ西ハ筑摩村境ニ至ルマデ長サ北岸拾町參拾間南岸八町參拾間 石積或ハ土砂等ニテ之ヲ築キ馬踏五間堤敷七間 修繕入費八宮三分民費七分ニ属ス

港

無之

出崎

無之

島

無之

暗礁

無之

燈明臺

無之

瀧

無之

温泉

湯原白糸湯

末間ノ温泉ト稱ス湧出ノ起年難知然レドモ御湯或ハ美湯ト稱スル所以ノモ
ノハ日本書記

天武天皇紀白鳳十四年十月癸酉昨壬午遣輕部朝臣足瀨高田首新家荒田尾連麻
呂於信濃令造行宮蓋擬幸末間温泉敷ト然レバ苟モ行宮ヲ造ラセラルル古趾ナ
レバ御湯美湯ノ稱アルモ亦宜ナラズヤ 又後拾遺集ニ源重之公ノ歌ニ修理太
輔惟雅信濃守ニテ下リ賜ヒシ時共ニマカリテ

イツル湯ノワクニカカレル白糸ハ

クル人タエヌモノニソアリケル

ト是ヨリ白糸ノ名アリ 時ニ聖上ノ崩御ニ際シ其事果シ給ハズ 聖壽長久ニ
シテ行幸アラバ今ニ至ツテ旧都ニ準スルノ名儀ヲ得テ温泉ノ名殊ニ高カルベ
シ 仰惟レハ歎處ノ出ズル所ヨリシテ天上ニ其名高ク般富門院モ御湯ト詠シ
五ヒ源重之公モ下リ賜ヒテ白糸ノ湯ノ詠ヲ殘シ給フハ幸ト云フベシ 然レ共
遠境ニ至ツテハ温泉ノ功能ノ著シキヲ知ラズ只名所カ古跡ト思フノミ 若シ

石之通相違無御座候

明治九年五月

筑摩郡承條村

副戸長	山	田	注	連	ハ	〇
同	窪	田	兵	藏	〇	
同	山	本	賢	治	〇	
同	藤	井	小	平	〇	
戸長	太	田	平	造	〇	

東筑摩郡乃長 稻垣重為殿

ハズ 故ニ起築ノ企期ナク廃物ニ曰ヲ過ク 昔時ハ湧口ニ無底桶ヲ埋メアリ
シガ往々敗壞シテ今時ハ其所ニ散沸ス 然レドモ其効驗アル疥癬諸瘡ノ患者
汲ミ来テ浴スルニ忽チ浮毒ノ癒ユルヲ見ル

冷泉

無之

公園

無之

陵墓

無之

小笠原秀政同忠脩墓

中村ノ未ノ方ニ当リ林耕地廣沢寺ニアリ 元和元年五月七日大阪ニ於テ討死
事跡旧記ニ詳ナリ

社

須乃岐水神社 式外 村社

祭神 健御名方命 素盞鳴命

下金井、湯原、藤井、兎川寺、荒町、新井、上金井、薄町八耕地ノ生産神
社地 東西四拾六間 南北四拾間 面積千八百四拾坪 年歴時代不相知 口
碑ノ傳フル所ヲ以テスレバ往古此地一内湖水ナルヲ以テ諸神ノ稜威ニ因リ水
路ヲ越海ニ疏通シ漲漫タル湖水ヲス、キ放チヤリ工地ヲ闢キ人民居住ヲ得村
落整正シタルモ全ク此神ノ稜威タルヲ以テ繁ネ水上タルニ因リテカ須乃岐水
ノ神ト崇メ貞觀元年從六位下須乃岐水ノ神祠同九年從五位下ヲ授クト三代実
録ニ有之目ツ村名薄町川名薄川ト稱スルモ須乃岐薄嶺呼ノ似タルヲ以テカ
又本社ヨリ巳午ニ當ツテ僅ノ荒蕪ノ中ニ方三四尺高二尺許ノ石上太神ノ足痕
ナリト云ヒ傳ヘ足形ノ中窪ミタル痕アリテ其上ニ小祠ヲ建テアリ諸人之ヲ崇
敬ス 祭日七月二十九日 毎耕地舟形ノ銚一基宛出シ旧兎川寺境内ニ前ヒ神
前ニ到リ神事ヲ渡ス 御維新己未兎川寺境内ニ入ルヲ廢止ス 按ズルニ旧兎
川寺境内ニ小宮ニ社アリ是大神宮ノ旅所ニシテ前夜神輿ニテ此所ニ出デマシ
本曰神輿ハツノ舟ノ先ニタチテ本殿ニ還リ神事ノ式ヲ渡スナリ 何レノ時代
ヨリカ神輿モ破損シ此事廢絶スト見ユ 今神輿破損ノ余材神殿ノ大床下ニア
リ

千鹿頭社 村社

林耕地、同郡中山村神田耕地氏神
祭神諏訪洩屋ノ御子神ニ座ス千鹿頭ノ神ナリ
社地 東西參拾間 南北貳町 面積三反一畝十四步 但シ林耕地ノ分兩耕地
境回ニアリ 口碑ニ傳ヘ曰ク延暦年間田村將軍利仁ノ副將兩宮藤原ノ諸繼ト
言ヘル官人ト麓ナル林ノ里長六郎ナルモト策リ此神ヲ蓬萊山鶴カ嶺ニ勸請
ス己采此山ヲ概シテ千鹿頭山トイフ

八阪神社 村社

北小松、南小松兩耕地氏神
祭神津島牛頭天王
社地 東西三十六間三尺 南北十八間 面積一反六畝十二步 小松耕地ニア
リ 勸請年月不明ナリト虽モ此所ニ天王ヲ祭ルヲ十里以内ノ鼻祖ト云傳フ
既ニ明曆ノ頃マデハ祭日ニ近郷民ハ群參敬崇シ五彩ノ小幡ヲ奉賽スト古老傳
稱ス 其後ニ至リ所々天王ヲ勸請アルヲ以テ祭日ト號モ方今參詣少ナシ
祭日八月十五日

若宮太神 村社

南北松、北小松兩耕地氏神

祭神 八幡太神、秋葉太神

社地東西八間南北拾間面積壹畝式拾六步 初請年月不分明 祭日八月十五日

太子堂

薄町耕地薄宮地内ニアリテ方三間ノ小堂ナリ 聖徳太子ノ畫像ナリ 太子御
自畫ト稱ス 由未知シ體ク只口碑ノ傳フル所ヲ以テスレバ水野家領主タル時
之ヲ傳ヘ聞キ京師ニ遣ハシ鑿定シ極札ヲ副ヘ新ニ表具ヲ附ケ珍宝タルベキノ
旨ヲ以テ下返ス其後伊那郡ノ若遊歴シ采リ暫時此所ニ庵留セシガ因此像ヲ觀
觀シ采レリト兎ヘ竊ニ盜ミ取リ去ツテ後彼レガ所爲ト知シ共徵スルニ術ナク
然レ共僅ニ一年ヲ滿タズシテ彼ノモノ罪ヲ謝シテ采リ尊像ヲ携ヘ家ニ歸ル奇
異ノ事數之アリテ尊像本所ニ歸ラン事ヲ告グルニ髣髴タレバ家族恐怖甚ダシ
ケレバ共ニ一曰モ家ニ安ズル事能ハズ今日ニ至ル罪ヲ宥シ旧ノ如ク奉仕スベ
キヲ以テ深ク謝ス再ビ歸ルヲ悦ビテ其意ニ任ス 又其後寛政年間神主上條内
藏ノ甥佐久那有阪ノ神主何某ナルモノアリテ石内藏死去ノ節采リ竊ニ持テ去
ル 其後三十年采空室ニテ祭祀モ絶エケルガ是レ亦災害並至リ家運衰ヘトニ
求ムルニ其崇リト示スモノ多キ故人ヲシテ返サン事ヲ云ハシメケル程ニ天保
年間引取テ八耳命ト稱シテ年々三月二十二日祭祀ス 惜ムベキハ極札紛失ス

寺

廣沢寺

東西百九拾五間半 南北四拾五間 面積三千四百四十坪 曹洞宗 越前國南條
郡小倉谷村慈眼寺ノ末派ナリ 村内林耕地寺山ノ山腹ニアリ 嘉吉元酉年小
笠原治部太輔政康当地在城ノ節創建岡山雪窓和尚ナリ 徳川家光以采御朱印
拾五石ヲ與フ 明治元辰年上知ト成末寺合セテ十二ヶ寺 筑摩郡會田村廣田
寺、同郡刈谷原村保福寺、同郡川牛村法音寺、同郡中山村蓮花寺、同村自性
院、同郡豊丘村生蓮寺、同郡筑摩村全昌寺、下總國印旛郡佐倉嶺南寺、下野
國都賀郡南摩村廣嚴寺、同國同郡引田村長安寺、羽前國置賜郡米沢松林寺、
同國同郡龜岡西光院等ナリ 此内全昌寺ノ三明治五壬申年廃寺帰廢

學校

鬼川學校

公立小學校 鬼川寺耕地ニ在リ 村内唯林耕地并小松耕地ノ内薄川南岸ノ分
最寄ニ因テ隣村中林學校ニ屬スルノミ其他悉皆當校ニ屬ス 元資金四千百拾

内 生徒三百九人 内男二百三十九人 女七十人

村會所

里山邊村事務扱所村内中央免川寺耕地免川学校内ニ假設
第一警察出張所第七屯所本村ノ中央事務扱所ヨリ叩ノ方四分ニ当リ三町四十間ヲ
去ル上金井駅ニ假設

病院

無之

電線

無之

郵便局

郵便取扱所当村叩ノ方上金井耕地 東西三間 南北二間 現今假設 石取扱役金
井久左

製糸場

無之

大工場

無之

造船場

無之

古跡

林城墟

林耕地ノ東方登ル事十七町余ニアリ 本城ノ平地東西二十九間南北十四間
外廓三重四字形ヲナシ墮壁共ニ頽廢シテ井壹ツ今尚存ス 東南炭ク子トシテ
乾ノ方ニ道アリ巖壁重疊トシテ急峻ヲナシ薄川ニ臨ム 小笠原清宗之ヲ築キ
其後天文二十二年小笠原長時ニ至リ武田信玄ト拮据ケ原ニ戦ヒ敗績シテ後
頽廢ス

免田旧趾

此地ノ旧跡タル所以ノモハ永享十一年三月十一日徳川有親親氏父子徳川ヲ
遣レ出テ藤沢道場時宗清光寺ニ入り蓮髪シ然ル後藤沢ヨモ立テ信州ニ来
レリ 爰ニ小笠原清宗ノ三男林藤助光政ト云ヘルモノアリ 彼足利持氏在世
の時數年近習ヲ勤メタリシカ人ノ爲メニ讓セラレ所領ヲ没收セラレ浪ヲトシ
テ名字ヲ改メ林ト云ヒ贅居ス 有親親氏在鎌倉ノ時互ニ睦間敷心易ケレバ十
二月下旬藤助ヲ尋ネテ此地ニ来ル 光政大イニ喜ビ之ヲ饗応セント欲スルモ

小森殿塚田

一物ナシ 殊更山家ノ事ナレバ力及バズ 故二十二月二十九日藤助自ラ狩シ
テ兎一ツヲ得タリ 翌十二年庚申ノ正月朔日有親父子ニ雜煮ヲ進メ且ツ兎ノ
吸物ヲ出ス 是ヨリシテ兎ノ吸物ヲ以テ徳川家ノ吉例トナスト今其旧趾林耕
地廣沢寺前ニ字兎田ト稱スルモノ是ナリ 石三川後風土記ニ顯然タリ

藤井耕地ノ午ニ當ツテ字小森殿ト稱スル所アリ 字面ヲ以テ考レバ来由アル
ベキ蹤跡ニ似タリト云モ何等ノ故ニテ此文ヲ下スヤ辨ジ難シ 然レ共並ビ
テ塚田ト字スル田アリテ具例ニ塚アリ往々之ヲ穿テバ矢ノ根短剣古錢等ノ出
ル事アリ 朽チテ唯雁股矢矢ノ形ヲ存スルノミ 今ハ適々耕去リテ塚モ兎工
ズ同耕地子ニ當ツテ大塚小塚ト稱スルニ塚アリ 是以テ其所以ヲ知ラズト云
モ往々穿テ矢ノ根ノ出ル事アリ

湯原ノ碑

湯ノ原耕地ノ近傍ニアリテ高サ四尺有餘ノ碑ナリ 昔時般富門院、源重之公
此地ノ温泉ヲ詠シ給ヒテ
源重之 　　いつる湯のわくに、ける白糸は
　　くる人たえぬものにそありける

般富門院

わかかへるもえてそ思ふうき人に
つかまのみゆかふしのけむりが

麁寺跡

兎川寺

常法談林所宗派古義真言本寺紀州高野山龍光院開宗祖師弘法大師大同元酉戌
年開基聖德太子創建中興開基法印憲後明曆元未年以來寺領除地式拾式石下賜
リシガ明治五壬申年九月二十五日歸農麁寺仰付ラレ石麁寺方今兎川学校是ナ
リ未寺松本中町長善寺同郡桐原耕地海岸寺中高照院福壽院真常院南照坊十王
堂未庵南方耕地陽光寺湯原耕地葉師堂新井耕地彌陀堂下金井耕地葉師堂北入
耕地葉師堂總テ十二ヶ寺悉皆麁寺麁庵

慈眼寺

宗派新義真言紀州高野山金剛頂院ノ末派ナリ大同五年開基林六郎往古金花山
福山ノ峯ニアリシが大永二年麓ノ平地ニ移ス中興開山法印覺榮除地式石九斗
五合明治四年上知仰付ラル山内客殿南向東西十間南北九間半庫裏南北十二間
東西十間觀音堂西向東西四間南北三間三尺仁王門南北三間東西六尺明治三庚

竹溪庵

午年法印雲順歸震堂宇總テ賣却廢寺

天正十六年小笠原貞慶開基普洞宗廣沢寺隱居所ニテ林耕地卯ノ方ニアリ東西三間南北五間ノ小庵ナリシガ明治五壬申年廢寺今時民家ニ歸ス

小松耕地七堂

觀音堂二字葉師堂二字正覺院往古当地ニセケノ堂宇アリシガ何レノ時ニカ廢絶シテ唯五ヶノ名ヲ存スルノミ然レドモ今時同郡會田村無量寺ノ本尊石堂宇ノ内ヨリ移セシモノナリト口碑ニ言ヒ傳フ又正覺院除地反別一畝二十六歩ノ地ナリ是レ亦明治五壬申年上知仰付ラルル其他不分明

名勝

追倉梅

鞆町耕地ニ屬シテ上余井駅ノ良ニ當リ武石嶺往來ノ路傍ナリ 僅カノ溪間ニシテ流水涓々石ニ激シ雨ノ如ク幽寂閑雅ノ地 茅屋數戸溪水ニ臨ミ居ヲ占メ 毎戸園圃幾十株ノ梅ヲ植エ僻地寒郷ト虽モ仲春ニ及ビテ老幹弱梢花開キ清香四達シ地勢廣濶ナラズト虽モ隨テ眺望ナキニアラス 偶一瓢ヲ携ヘ梅ヲ探ル

東山二八景

東間温泉

藤井穗經

廣沢山花

薄川春流

兜川朝暾

小松夕烟

金花夕照

沢山瀑布

清水飛雲

鈿伏夏雲

惣社紅葉

美原臨眺

桐原秋月

福田葉雪

雌明冬松

蓮柱晨鐘

石何レノ時何人ノ選ビシニヤ不文明ナレ共賞筭スル既ニ久シ 好事ノ人連ヲ結ビ詩歌連誼冊ヲナセルモノアリテ散帙往々是ヲ見ル 各其地勢モ風趣ヲ備ヘテ眺望或ハ幽遠深邃ナキニアラス 杜撰ニシテ據ルベキナシト虽モ方今僻地ノ名勝ナリ

逢初川

千鹿頭山ノ麓ナル小流ナリ 往古此川ノ涯リニ爰染明王ノ叢祠アリシガ修葺スル事無カリシ故今時跡ノミ殘リテ之ヲウラコ山ト云フ 此所ニ宿世結ブノ神立タヒ給フ小祠アリ 当國名所ノウラコ山ト云ヒ傳フレドモ其事蹟續古

信濃なる逢初川の端にこそ
しゆくせ結ふの神はまします

物産

藍

當地産物ノ古品トス 其質タル他ノ地方ニ比較スルニ最上品ナリ 甲斐上野
其他隣國ニ輸出ス 一ヶ年出高壹千三百式拾駄

柿 千五百三拾荷

葡萄 百五拾荷

梅 五拾荷

楮 千三百拾五貫目

繭 五拾石

水瓶 七百六拾本

瓦 四百五十駄

薦細工 五百駄

粘 絞 千駄

薪 種 千八百駄

菜 種 三百駄

足袋裏 百本

酒 百五拾石

醬油 四拾石

材木 式百本

青石

湯原耕地藤井耕地両所ノ碓山一円石ヲ出ス 市中近郷ニ需グ 其質ニ二種アリ方今砂石青石ト稱ス 砂石ノ質脆軟ニシテ能ク火ニ堪ユ故ニ倉庫ノ戸前或ハ基礎ノ上ニ是ヲ設ク 青石ノ質堅硬ニシテ破碎シ難シ故ニ石垣或ハ基礎ニ之ヲ用ユ 堀テ容ツクルモノハ工ナリ 堀ルモノ運輸スルモノハ農ノ余カニシテ或ハ擔シ或ハ駄シ之ヲ以テ活計ノ助成ヲ得ルモノ少ナカラズ

茶

元承茶ヲ産スル事絶エテ無カリシガ近承藤井佐次郎地勢ヲ相シ茶ヲ産スベキヲ測リ聽ニ請フテ茶ノ実ヲ宇治ニ求メ之ヲ植ユ 今時若干ヲ製ス

民業

農業	男九百三十三人	女六百五人
酒造	三戸	
醬油	壹戸	
晒屋	八戸	
紺屋職	十一戸	
宿屋	十八戸	
農間稼	竹細工、石工、拵絞、駄賃附	其他産物擔費等

風俗

人氣概シテ之ヲ云ヘバ先ツ質直ノ方ト云フベシ 然レ共頑固ノ陋習ニシテ徒ニ質素ヲ稱シ学事ヲ好マズ 文学ヲ学ベバ家産ヲ破ルノ基ナドト稱シ老夫婦ニ於テハ殊ニ容レズ 然レドモ漸々御勸誡到徹シ時勢ヲ相辨ヘ子弟ヨシテ学バシムル事ヲ知ルニ至レリ 旧ヲ以テ今ヲ見レバ十ヶ年ヲ過ギズシテ開化ノ功断然ト顯ルベシ

氣候

皇國中ノ梁脊タルヲ以テ工地高寒最モ甚シトス 未ダ全歲ノ経候ヲ詳ニセズト虽モ寒暑鍼ヲ以テ檢視スルニ極寒中北向ノ稼側ニ揚ゲ終日太陽ノ光射ヲ受ケザル所ニ於テ檢視スルニ左ノ如シ

二月五日正午三十二度	氷點ニ達ス
同 六日午前第七時十五度	嚴寒ノ點ニ短縮ス
同 六日正午三十一度	ニ至ル
同 七日正午四十一度	ニ至ル
同 八日正午四十五度	中和ノ點ニ至ル
同 九日正午三十三度	ニ至ル
同 十日正午三十七度	ニ收縮ス
同 十一日午前第九時四十六度	ニ至ル



高木

田

丸

石ノ通取調奉書上候以上

明治九年六月

筑摩縣參事高木惟矩殿

同	同	同	副戸長	戸長
渡	赤	金	金	藤
辺	澤	井	井	井
重	治	昇	久	佐
三	三	永	左	左
郎	三	永	左	門
○	○	○	○	○

入山邊村



山邊八景圖

入山邊村

本村往古筑摩郡桐原村橋倉村南方村入山邊村ノ四ヶ村ト云フ 其内後奈良帝ノ御
 宇天文年中入山邊村ヲ二ツニ分ケ中入村北入村ト云フ 慶安元戌子年当郡里山邊
 村ノ内元十一ヶ村後大善寺新田ヲ加ヘ並ニ当村五ヶ村ヲ合セテ山家組十六ヶ村ト云フ
後トモノ村トナル 同時ヨリ組手代壹名ヲ置カレ旧民家ヨリ壹備ス後享保十二年ヨリ組手代ヲ入庄屋ト改ル 慶安四年卯年田畑屋敷工
 檢地シテ租法ヲ定ム 明治元戌辰年以降國內未曾有ノ変革アリテ六百八十余年采
 ノ封建ヲ改メ諸藩版圖ヲ奉還シ更ニ郡縣ノ制ヲ立テ付セラレ悉クモ聖明親治ニ際
 シ当山家組ノ稱亦大庄屋ノ名義ヲ廃止セラレ 同五壬申年二月一日ヨリ户籍改正
 アリ家ニ番号ヲ貼シ各村区劃ヲ改ム 縣廳元ヨリ五六百戸ヲ以テ一区トナシ当地
 五ヶ村ヲ合計シテ戸數六百五十二アルヲ以テ第十二区ト改ム 然ルニ明治六年三
 月ヨリ四五千区ヲ以テ一大区トナル 一大区ニ區長一名ヲ置カレ其内ノ區劃ヲ小
 区ト唱フ 一小区ニ戸長一名副戸長數名ヲ置カレ 依テ当地第式大区内四小区五
 ケ村ト云フ 又明治八年一月当五ヶ村合併シテ一ヶ村トナル 則入山邊村ト改稱
 ス

千時 神武天皇即位紀元二千五百三十六年明治九年第一月ナリ

疆域

東ハ宮有御鷹山共有鹿峠王ヶ鼻美ヶ原各峯嶽ヲ界トシテ当國諏訪郡并小縣郡ニ接ス 西ハ当郡里山邊村ト田圃ヲ雜交シ細途小溝ヲ界トス 南ハ私有橋倉山南方山共有鉢伏山峯嶽ヲ界トシテ当郡中山村ニ互ル 北ハ私有相原大藏山共有武石峠袴腰高戸天戸弘法山各峯嶽ヲ界トシテ当郡里山邊村岡本村并當國小縣郡ニ接ス

幅員

廣狹大差アルニ據リ廣所ヲ記ス
東西二里十町 南北二里 面積一里二十町方里

管轄沿革

古時詳ナラズ 後花園帝長祿三己卯年小笠原信濃守源清宗当村橋倉城ヲ築キ當國并川館ヨリ移リ当村橋倉耕地ノ領主ト云フ 其他管轄多クシテ詳ナラズ 同信濃守長朝、同信濃守貞朝、同信濃守長棟、同信濃守長時五代相傳フ于時天文三甲午年長時當國深志ニ移城

御花園帝寛正元庚辰年桐原大藏頭藤原貞智大日大炊介桐原城ヲ築キ當國大甘ヨリ分城シ當村耕原耕地南方耕地并当郡深志村ノ内桐耕地ノ領主ト云フ 同大藏頭貞隆同市正眞實、同藏人眞貞、同藏部眞基五代相傳フ 代々小笠原ニ属ス 後土御門帝明應八壬辰年山邊藤原守藤原昌治本姓折笠中入城ヲ築キ播州姫路ヨリ移リ當村中ノ耕地并当郡里山邊村ハ々耕地ノ領主ト云フ 同越前守昌寛、同源十郎昌實、同藤九郎昌矩四代相傳フ 代々小笠原ニ属ス

各居城ヲ定メ当地ヲ分領スト云フ 後奈良帝天文二十二癸丑年五月小笠原信濃守長時當國梧棲ヶ原ニ於テ武田晴信ト戦ヒ討負身ヲ脱シテ京畿ニ逃ル 同時桐原藏部眞基戦死ス 山邊藤九郎昌矩逆意ヲ企テ武田晴信ニ属ス 同年晴信ヨリ當國深志城在番トシテ日向大和守工藤源左衛門ノ兩名ヲ差出サレテ当地一内管轄スト虽モ引続キ三十余年間國乱治ラズ于時天正十壬午年長時三男小笠原石近太夫源貞慶再再兵ヲ狩リ集メ當國へ攻入シテ幸ニ旧臣等時ヲ得タリ各味方トナリテ速ニ石深志ノ城ヲ兼取リ同年七月十七日移ル 此時深志城ヲ松本城ト改メ天正十九辛卯年徳川家康關八州領セシ時下總國栗橋へ國替 同年石川伯耆守三好康正三州田原ヨリ移リ十方石ヲ主領ス 同玄蕃頭光長慶長十八癸丑年大久保石見守謀叛ニ組シテ究頭シ同年十月十九日改易トナリ

テ伊豆國八丈島へ流罪トナル 同年小笠原兵部太輔源秀政當國飯田ヨリ移リ八万石ヲ主領ス 嫡子同信濃守忠脩父子共ニ元和乙卯年五月七日摂州大阪ニ於テ討死ス 二男同右近將監忠貞元和三丁巳^年七月播州明石へ國替 同年十一月戸田丹波守藤原康長上州高崎ヨリ移リ七万石ヲ主領ス 同佐渡守康直寛永十癸酉年六月六日播州明石へ國替 同年松平出羽守源直政越前國大野ヨリ移リ七万石ヲ主領ス 寛永十五戌寅年三月出雲國松江へ國替 同年堀田加賀守紀政盛武州川越ヨリ移リ十萬石ヲ主領ス 寛永十九壬午年總州佐倉へ國替 同年七月二十八日水野隼人正源忠清三州吉田ヨリ移リ七萬石ヲ主領ス 同出羽守忠職慶安元戊子年里山邊村十ニ耕地并當村五耕地ヲ合セテ山家組十七ヶ村ト定メラレ組手代一名ヲ置ク例始マリタリ 同四辛卯年田畑屋敷檢地改ル 同隼人正忠直同出羽守忠周同日向守忠幹同隼人正忠恆享保十乙巳年將軍德川吉宗ノ殿中ニ於テ毛利主水正師就^{長州府中ノ藩主五萬石}及傷ニオヨビ同年七月二十八日領地七萬石ヲ取上ゲラレ當國臼田鷹ノ町ニ於テ新知七千石ヲ賜ハリ所替空城トナル 此時將軍德川吉宗ヨリ當國松代城主眞田伊豆守信安ニ預ケラレ城郭ヲ守衛ス 收税關トシテ代官大草太郎右工門松平九郎左工門ノ兩名ヲ差出サレシト云フ 享保十一丙午年三月二十一日戸田丹波守藤原光慈志州鳥羽ヨリ移リ六萬石ヲ主領ス 同丹波守光雄、同丹波守光徳、同丹波守光和

同丹波守光佛、同丹波守光行、同丹波守光年、同丹波守光庸、同丹波守光則迄代々之ヲ主領ス 然ルニ明治元戌辰年ヨリ國內未嘗有ノ大變革アリテ諸藩版圖ヲ奉還シ更ニ郡縣ノ制ヲ立テラレ泰クモ聖上自ラ政ヲ執ルノ際當國松本旧城ニ松本藩ヲ置カレ上下茲ニ朝臣トナル 此時旧藩主戸田光則藩知事ノ命ゼラレシニ百級未ダ開闢ヲ尚ブノ旧弊ヲ一洗スル能ハズノ故カ明治四年未年七月光則知事職ヲ免ゼラレ同月鹿藩シテ松本縣トナル 又同年十一月二十日松本縣ヲ廢シ更ニ筑摩縣ヲ置ク 令參事ノ主任トシテ人習開達ノモノヲ以テ登用スル秋ニ遭遇シ同日薩州鹿兒島縣士族永山盛輝縣權參事ノ職ヲ命ゼラレ筑摩縣長官タリ 又同日參事ニ任ゼラレ同六年三月九日權令ニ任ゼラル 同八年十一月七日越後國新潟縣令ニ轉任ス 其以來次官參事越前國敦賀縣士族高木惟矩長官タリ

里 程

筑摩縣廳ヨリ卯ノ方一里〇八町
當郡里山邊村ヨリ辰ノ方十四町四十六間
當國小縣郡和田駅ヨリ酉ノ方五里三十五町〇七間
當國小縣郡武石村築地原ヨリ未ノ方五里

地勢

本郡中南北ノ中央稍北部へ近シ東部郡境ニ突出セル村落ニシテ東南北ハ三方ニ高山ヲ負ヒ西ハ開キ稍々平坦ニシテ斜ナリ村落分居各坂ヲナシ中央ヨリ西ニ流ル山邊川アルト虽モ小流ニシテ運輸甚不便山間ノ地ナルヲ以テ薪炭ニ乏シカラスト虽モ田圃ノ地狭窄ニシテ米穀ニ乏シク人口ヲ糊スルニ不足ス

地味

其色緒土ニシテ其質美ナリ砂石アレ共膏腴ノ地ニアラス譬へバ稻麥豆稗藍猪葡萄桑茶ニ適スト虽モ旱時水利ニ乏シク霖雨湿地ノ苦アリ

税地

田百〇五町八反四畝十五歩
畑百三十町〇七反七畝十三歩
宅地二十七町七反四畝十五歩
山五千七百三十八町六反八畝十八歩

飛地

竹藪一町六反四畝二十七歩
林二町〇六畝十五歩
原一畝二十歩
社地六反二畝二十一歩
總計六千〇〇七町四反〇二十五歩
外ニ荒地三町一反九畝十七歩

官有地

本村成ノ方当郡里山邊村ノ内三十三ヶ所ニ飛交ル其計
田八町四反四畝〇六歩
畑二反五畝十一歩
宅地二反〇九歩
總計八町九反〇〇七歩
外荒地三反二畝歩
社地八反四畝十九歩
畑一反九畝十三歩
宅地二反四畝〇七歩

林二町一反七畝二十二歩
山五百四十一町〇三畝二十五歩
荒地七畝十歩

總計五百四十四町五反七畝〇六歩

字地

八龍 本村ノ西部ニシテ西并北ハ当郡里山邊村ノ境ヨリ東ハ字伊勢田へ連ナル南ハ山家川ニ沿ヒ東西四丁五十間南北一丁四十間
伊勢田 西ハ字八龍東ハ字川久保ニ隣ル北ハ当郡里山邊村ニ境ス南山辺川ニ添ヒ南北一町二十間東西三丁二十間
石神 西南ハ城山ニ添ヒ東ハ字南方へ連ナル北ハ山辺川ヲ跨リ字八龍伊勢田川久保へ相対ス東西八丁五十間南北三丁
橋倉 東南西ニ山ヲ負ヒ北ハ字石神并南方へ連ナル東西四丁南北六丁四十間
南方 西ハ字石神東ハ字花見田南ハ字橋倉へ連ナル北山辺川ヲ跨リ字川久保へ隣ル東西五町五十間南北三丁二十間
花見田 西ハ字南方東ハ字大菱へ連ナル南ハ南方山ヲ負ヒ北ハ山辺川ヲ跨リ字

大菱 平林へ隣ル東西五町南北二町
川久保 西ハ字花見田東ハ字舟附へ連ル南ハ南方山ヲ負ヒ北ハ山辺川ヲ跨リ字平林へ相対ス東西三丁二十間南北二丁十間
鎌田 西ハ字伊勢田ヨリ北ハ字鎌田小出才ノ神ニ接続シ南東ハ山辺川ヲ跨リ字南方并石神ニ相対ス東西八丁南北二丁
小出 西ハ当郡里山邊村ニ境ス東ハ小出南ハ川久保へ隣ル北ハ扉街道へ沿フ東西三丁二十間南北二丁三十間
才ノ神 西ハ字鎌田東ハ字才ノ神南ハ字川久保へ隣ル北ハ扉街道へ添フ東西三丁南北二丁三十間
西桐原 西ハ字小出東ハ字天神前南ハ字川久保へ隣ル北ハ扉街道へ添フ東西三丁二十間南北二丁十間
大藏 西ハ当郡里山邊村ニ境ス東ハ字東桐原北ハ大藏へ隣ル南ハ扉街道へ添フ東西五丁南北四丁十間
大藏 西ハ当郡里山邊村ニ境ス南ハ字西桐原へ隣ル東北ハ大藏山ニ添フ東西二丁南北二丁
東桐原 西ハ西桐原東ハ字天神前へ隣ル南ハ扉街道北ハ桐原山へ添フ東西三丁

天神前 二十間南北二丁
 西ハ字東桐原才ノ神東ハ字平林南ハ山辺川北ハ桐原山へ添フ東西三丁
 二十間南北三丁二十間
 平林 西ハ字天神前東ハ字寺所へ隣ル南ハ山辺川北ハ桐原山へ添フ東西四丁
 十間南北二丁三十間
 寺所 西ハ字平林南ハ字包石東ハ中村へ連ナリ北ハ私荷字日向山へ添フ東西
 二丁三十間南北一丁三十間
 中村 西ハ字寺所東ハ北沢其北字千手ニ連リ南ハ竹ノ下北ハ私荷字馬場山ニ
 添フ東西四丁南北一丁四十間
 千手 西ハ字中村東ハ字駒越ニ連リ南ハ北沢ニ添ヒ北ハ千手山ヲ負フ東西二
 丁三十間南北一丁五十間
 駒越 西ハ字千手南ハ北沢ニ沿ヒ東北ハ共有字高戸ヲ負フ東西三丁三十間南
 北一丁十間
 竹ノ下 北ハ字中村西南ハ字包石ニ連リ東ハ北沢ヲ跨リ字三反田ニ隣ル東西三
 丁二十間南北一丁
 包石 北ハ字寺所竹ノ下ニ連リ西ハ字平林南ハ山辺川ニ添ヒ東ハ北沢ヲ跨リ

舟附 字大牟ニ連ル東西六丁三十間南北一丁十間
 西ハ字大菱南ハ字宮原ニ連リ北ハ山辺川ニ添ヒ南ハ字舟附山ヲ負フ東
 西三丁南北四丁四拾間
 宮原 西ハ字舟附東ハ字詫沢ニ連リ南ハ私荷山大洞ヲ負ヒ北ハ山辺川ヲ跨リ
 包石ニ相対ス東西三丁五十間南北一丁五十間
 詫沢 西ハ字宮原東ハ字山口ニ連リ北ハ山辺川ニ添ヒ南ハ共有山字詫沢山ヲ
 負フ東西一丁十間南北一丁
 大牟 東ハ名良尾北ハ字三反田ニ連リ南ハ山辺川ニ添ヒ西ハ北沢ヲ跨リ字包
 石ニ隣ル東西四丁南北一丁
 三反田 南ハ字大牟東ハ字上テ町名良尾ニ連リ北ハ北沢ヲ跨リ字中村ニ相対ス
 東西二丁二十間南北四丁四拾間
 上テ町 西ハ字三反田南ハ字名良尾東ハ中山沢ニ添ヒ北ハ私荷字秋葉山ヲ負フ
 東西五町南北四町一間
 名良尾 北ハ字上テ町へ連ナリ西ハ字三反田南ハ山辺川ニ添ヒ東ハ中山沢ヲ跨
 リ字原ニ連ナル東西一丁五十間南北三丁二十間
 石柱 西北ハ字上テ町東ハ字神城ニ連ナリ南ハ中山沢ニ添フ東西五町南北一

丁三十間
 神 城 西八字石柱ニ連ナリ南ハ中山沢ニ添ヒ東北ハ共有山王ヶ鼻ヲ負フ東西
 一丁四十間南北一丁四十間
 原 東八字厩所ニ連ナリ西ハ中山沢ヲ跨リ字上ヲ町名良尾ニ隣ル南ハ山辺
 川ニ添ヒ北ハ私有秋葉山ニ相対ス東西二丁二十間南北三丁三十間
 厩 所 西八字原ニ連ナリ北ハ共有山出井嶺ヲ負ヒ東南ハ山辺川ニ添ヒ字小佛
 ニ相対ス東西二丁十間南北一丁三十間
 山 口 西ハ詫沢東八字一ノ海ニ連ナル南ハ私有山西ノ久保ヶ添ヒ北ハ山辺川
 ヲ跨リ字大寺ニ隣ル東西一丁五十間南北二丁二十間
 一ノ海 西八字山口東南八字一ノ沢ニ連ル北ハ山辺川ニ添フ東西二丁南北三丁
 二十間
 一ノ沢 西北八字一ノ海ニ連ナリ東南ハ共有一ノ沢山ヲ負フ東西四十間南北三
 町
 小 佛 東八字大和合南八字大佛ニ連ナリ西八字一ノ海ニ隣ル北ハ山辺川ヶ添
 フ東西三丁南北一丁二十間
 大 佛 北八字小佛東西南ノ三方ハ共有鉢伏山ヲ負フ東西四十間南北三町二十

間
 大和合 西八字小佛東八字牛立ニ連ナリ北ハ山辺川ニ添ヒ南ハ共有鉢伏山ヲ負
 フ東西五町南北五町二十間
 牛 立 西南ハ共有鉢伏山ヲ負ヒ東北ハ山辺川ヲ跨ガリ共有會ノ山ニ連ナル東
 西一丁南北一丁

貢 租
 地 租 旧貢租米八百十四石五斗四升一合
 地租金三千二百七十七円二十七銭八厘

戸 籍
 本籍六百五十四戸平民 社十戸村社九座
小社一座
 總計六百六十四戸
 但シ明治九年一月一日調

人 数

男千六百二十一口 女千五百十八口
總計三千百三十九口 内出寄留男二人 外入寄留女二人
明治九年一月一日ノ調

牛

馬

牝牛式頭 牝馬二百九十一頭

明治九年一月一日ノ調

車

無之

山 舟

鉢伏山 南部ノ高山ナリ 高サ二百二十丈 東西三里 溪水十三條下流山家川ニ合ス 村ノ巳ノ方ニアリ 峯巒ヲ環トシテ東ハ當國諏訪郡ニ屬ス 南ハ當郡中山村其西里山邊村ニ屬ス 山脈西ヨリ當村檜倉耕地并里山邊村林耕地ト共有スル字金ノ花小笠原古城山嘴ヲ首メトシテ午巳ノ方ヘ聳ヘ檜倉山ヲ互リ鉢伏山ヲ經テ當國諏訪郡及ビ小縣郡ノ和田嶺ニ繞ク 北面嶺上ヨリ六七分以上ハ里山邊村ト共有ス 其以下本村ノ私有ニ屬ス

王ヶ鼻 東部ノ高山ナリ 高サ二百丈 南北三里一町 溪水山邊川ノ水原本沢共ニ十一條下流山家川ニ合ス 村ノ卯ノ方ニアリ 峯巒ヲ界シ東ハ當國諏訪郡其北小縣郡ニ屬ス 山脈南ヨリ鉢伏山ノ繞キヲ北ニ聳ヘ宮有御鷹山共有巖嶺大黒山美ヶ原王ヶ鼻ヘ連互ス 西面嶺上ヨリ七分以上ハ里山邊村ト共有ス 其以下本村ノ私有ニ屬ス 該山登路一條本村ノ中央ヲ貫キ舊蒲沢ヨリ上ル 高二里十三町嶮ニシテ稍近シ 之ヲ松本ヨリ小縣郡中山邊和田越ヘ通ス巖越ノ間道トイフ 袴越 北部ノ高山ナリ 高サ二百丈 東西二里三十町 溪水七條下流山邊川ニ合ス 村ノ卯ノ方ヨリ嶺巒ヲ環トシテ北ハ當國小縣郡其西ハ當郡岡本村并里山邊村ニ屬ス 山脈東ヨリ王ヶ鼻ノ繞キヲ西ヘ聳ヘ弘法山天ノ戸高戸袴腰武石嶺桐原大藏山ヲ互リ其ヨリ里山邊村岡本村ノ山ヲ經テ同郡保福寺嶺ニ繞クト云フ 南面嶺上ヨリ五六分以上ハ里山邊村ト共有ス 其以下本村私有ニ屬ス 該山登路一條本村ノ西部ヨリ北ニ折シ桐原大藏山ヲ上ル 高二里十町嶮ニシテ稍近シ 之ヲ松本ヨリ小縣郡中山邊蘆田駅ヘ通ズル武石越ノ間道トイフ 以上東南北ノ三峯ヲ記スト虽モ溪間密少シク凸凹アルノミ各連続シテ竈ノ如シ其内共有ノ山岳ハ少シク悪樹鬱蒼スト虽モ多クハ禿山ニシテ樹木生ゼズ

山邊川 幅二十間其深サ二尺急流ニシテ水最清シ 水原ハ村ノ辰ノ方ニ當ツテ
 当郡里山邊村ト共有スルトコロノ鉢伏山靡嶺袴腰ノ溪間ヨリ出テ當村ノ中央ヲ西
 流シテ里山邊村ノ南部ヲ過ギ筑摩村ヲ經南深志町ノ南ニ傍ヒ田川奈良井川ヘ合流
 ス 尠當村地内水路流程水原ヨリ西ヘ下流シ里山邊村境マデ三里三十町余其内堤
 防スル處ハ流上宇包石ヨリ以下兩岸西ヘ三十町ニシテ里山邊村境ニ止ル
 橋梁 ハ流上ヨリ算ス其字殿所橋長^{五尺}八間温平橋長^{七尺}大牟橋長^{七尺}原橋長^{五尺}山
 口橋長^{四尺}斧研橋長^{五尺}舟附橋長^{六尺}川久保橋長^{四尺}八龍橋長^{五尺}以上九ヶ所
 皆木橋ニシテ山辺川ニ架シ途地小逢ニシテ營農民市街并田圃ニ通路ヲ便トス
 上手町溝 村ノ卯ノ方山辺川ノ上中入耕地中山沢字館石ヨリ西ヘ分テ西流シテ
 飲水田水ニ供ス再ビ山辺川ニ入ル 長十五町四十五間幅三尺 田四町六反九畝十
 四歩ノ田水ニ供ス
 中村溝 村ノ卯ノ方山辺川ノ上北入耕地北沢字才木ヨリ西ヘ分テ西流シテ飲水
 田水ニ供ス再ビ山辺川ニ合ス長十五町五十間幅四尺 田五町六反三畝〇四歩ノ用
 水ニ供ス

澤

桐原溝 村ノ己ノ方山辺川ノ北岸桐原耕地字平林ヨリ分水シテ西流ス 後大溝
 ト合ス 長十二町幅四尺 田十一町二反三畝八歩ノ用水ニ供ス
 南方溝 村ノ己ノ方山辺川ノ南岸南方耕地字大菱押出ヨリ分水西流シテ後再ビ
 山辺川ニ合ス 長十六町三十〇間幅四尺 田十三町三反七畝九歩ノ用水ニ供ス
 大溝 村ノ己ノ方山辺川ノ北岸桐原耕地字中田ヨリ分水西流シテ當郡里山邊
 村境ニ至ル 長十〇町三十間幅九尺 田二十〇町五反八畝〇四歩ノ用水ニ供ス
 其末里山邊村ノ田水用水ニ供シテ後當郡岡本村ヨリ出ル女鳥羽川ニ合ス
 伊勢田 村ノ西ノ方山邊川桐原耕地字伊勢田ヨリ北岸西ヘ分流シテ里山辺村境
 ニ至ル 長二町五十二間幅三尺 田四町九反九畝歩ノ田水ニ供ス 流末里山辺村
 田水トナル

碓葉沢 南部私有南方山ヨリ出テ丑ノ方ヘ十町ヲ流レテ南方溝ニ合ス
 大菱沢 南部私有南方山ヨリ出テ丑ノ方ヘ二十五町ヲ流レテ山辺川ニ合ス
 詫沢 南部共有詫沢ヨリ出テ丑ノ方ヘ三十町流レテ山辺川ニ合ス
 一ノ沢 南部共有一ノ沢山ヨリ出テ卯ノ方ヘ三十町ヲ流レテ山辺川ニ合ス

小佛沢 南部共有鉢伏山ヨリ出テ寅ノ方へ十五町ヲ流レテ山辺川ニ合ス
 大佛沢 南部共有鉢伏山ヨリ出テ卯ノ方へ二十五町ヲ流レテ山辺川ニ合ス
 本村沢 南部共有鉢伏山ヨリ出テ寅ノ方へ十二町ヲ流レテ山辺川ニ合ス
 大和合沢 南部共有鉢伏山ヨリ出テ卯ノ方へ二十五町ヲ流レテ山辺川ニ合ス
 巽沢 南部共有鉢伏山ヨリ出テ卯ノ方へ二十町ヲ流レテ山辺川ニ合ス
 山葵沢 南部共有鉢伏山ヨリ出テ辰ノ方へ二十町ヲ流レテ南沢ニ入ル
 南沢 南部共有鉢伏山ヨリ出テ寅ノ方へ一里ヲ流レテ山辺川ニ合ス
 穴口沢 南部共有鉢伏山ヨリ出テ辰ノ方へ二十五町ヲ流レテ南沢ニ合ス
 悪善沢 南部共有鉢伏山ヨリ出テ子ノ方へ十九町ヲ流レテ本沢ニ合ス
 本沢 東部宮有御鷹山ヨリ出テ申ノ方へ三里三十町ヲ流ル末ハ山辺川之ナリ
 末沢 東部宮有御鷹山ヨリ出テ未ノ方へ十二町ヲ流レテ本沢ニ合ス
 小滝沢 流末古名子沢ト云フ東部共有山鹿峠ヨリ出テ未ノ方へ一里三十町ヲ流
 レテ本沢ニ合ス
 山菅沢 東部共有鹿峠ヨリ出テ午ノ方へ二十町ヲ流レテ小滝沢ニ合ス
 櫓水沢 東部共有鹿峠ヨリ出テ巳ノ方へ十八町ヲ流レテ小滝沢ニ合ス
 日向沢 東部共有山鹿峠ヨリ出テ未ノ方へ十七町ヲ流レテ本沢ニ合ス

大門沢 辰赤倉ノ山沢ト云フ東部共有大黒山ヨリ出テ申ノ方一里十町ヲ流レテ
 山辺川ニ合ス
 伊達沢 東部共有山美ヶ原ヨリ出テ午方十三町ヲ流レテ大門沢ニ合ス
 中山沢 東部共有山美ヶ原ヨリ出テ申ノ方一里〇五町ヲ流レテ山辺川ニ合ス
 堀ヶ沢 東部共有山美ヶ原ヨリ出テ未ノ方へ十二町ヲ流レテ中山沢ニ合ス
 萱浦沢 東部共有山王ヶ鼻ヨリ出テ申ノ方へ十五町ヲ流レテ中山沢ニ合ス
 本窪沢 流末北沢共未合沢ト云フ北部共有山王ヶ鼻ヨリ出テ申ノ方へ三里ヲ流
 レテ山辺川ニ合ス
 舟ノ沢 北部共有弘法山ヨリ出テ未ノ方へ一里十町ヲ流レテ本窪沢ニ合ス
 高戸沢 北部共有山袴腰ヨリ出テ未ノ方へ一里十五町ヲ流レテ北沢ニ入ル
 足浦沢 北部共有山袴腰ヨリ出テ未ノ方へ三十町ヲ流レテ北沢ニ合ス
 植沢 北部私有桐原山ヨリ出テ申ノ方へ二十町ヲ流レテ山辺川ニ合ス
 海岸寺沢 北部私有桐原山ヨリ出テ申ノ方へ三十五町ヲ流レテ大溝ニ合ス
 大蔵沢 北部私有桐原山ヨリ出テ申ノ方へ一里ヲ流レテ里山辺村上金井耕地ノ
 境ニ至ル

以上三十一ヶ所此外深山溪谷ニ至ツテハ無名ノ小沢拳ゲテ數ヘガタシ

森 原 牧

林 無之
野 無之

馬

桐原古牧 古へ安閑帝二年馬ヲ霧原ノ牧ニ放ツトアル 文武帝四年ニハ始メテ
諸國ノ牧ヲ定メラルトアリ 亦醍醐帝延喜年間ニハ桐原ノ地ニ馬寮ヲ置クト云フ
右安徳帝壽永年中專ラ名馬ヲ繁殖シテ乏シカラズト云フ説アリ 爾承安慶年間詳
ナラズ 方今遺レルモノ吾桐原山中所々傳稱ノ地名ノミ 其詳ナルハ旧跡ノ部ニ
記載ス

鑛

山 無之

湖

沼 無之

道 路

庭街道 三等街道ニ屬シ当村卯ノ方當國小縣郡和田駅鹿峠嶺ヨリ西へ当村

中人耕地北入耕地桐原耕地ノ中央ヲ過ギテ当郡望山邊村境ニ至ル 長四百〇五町
四十六間 馬踏二間

但シ松本ヨリ當國小縣郡中山道和田駅へ通ズル間道ナリ

武石街道 三等道路ニ屬シ當郡望山邊村上金井耕地境ヨリ子ノ方へ向ツテ登山
シ又卯ノ方へ折レ當國小縣郡武石村境武石峠峯嶺ニ至ル 長二里十町 馬踏二間
但シ松本ヨリ當國小縣郡中山道蘆田駅へ通ズル間道ナリ

搦示場 当村南北ノ中央西東ノ西部ニシテ桐原耕地ニ置ク事務所ノ表庭ニシテ
象鹿往來庭街道ノ傍ニ建築シ御布告及ビ御指令等ハ勿論其他勸善懲惡ノ件ニ至ル
迄遍ク諸民ニ搦示ス

堤 塘

山辺川ニ添ヒ当村中人耕地字包石ヨリ西流シ下流當郡望山邊村ノ境ニ至ル 兩岸
長三十町 馬踏二間 堤敷三間ノ石疊トス 爾承破損ノ修繕費用ハ官ニ三分ノ一
ヲ屬シ民ニ三分ノ二ヲ屬ス

海岸寺沢ニ添ヒ当村桐原耕地字海岸寺ヨリ申ノ方へ下流同耕地字オノ押ニ至ル
兩岸長五町 馬踏二間 堤敷四間ノ石疊トス 最モ近年水患ナシ

大瀬沢ニ沿ヒ当村桐原耕地字水口ヨリ申ノ方ヘ下流シ同耕地字外原ニ至ル 東片
岸長三町 馬踏三間 提敷五間ノ石壁トス 尤近年水患ナシ

港

無之

出

崎

無之

嶋

礁

無之

燈明臺

附燈明船

無之

瀧

大瀧

高サ九間幅八尺字憲善沢ヨリ出ズ 村ノ卯ノ方ヘ当ル字大瀧ト云フ所ニ

テ落ツ

下流山辺川是ナリ

小瀧

高サ三間幅三尺字麻峠ヨリ出ズ 村ノ卯ノ方ニ当リ字小龍トイフ所ニテ

落ツ

下流山辺川ニ合ス

温

泉

無之

冷 公 陵 社

泉

無之

園

無之

墓

無之

柴宮社

村社 本社ハ間口三間奥行一間四尺 現今社地六百九十一坪 当村

子ノ方桐原耕地ニアリ 沿承文治ノ頃ヨリ應永ノ頃迄駒形ノ社ト申シ来リシ由ナ

ルニ永享ノ末ニ桐原庄ノ地頭柴宮大明神ヲ勧請スト云フ 祭神素盞鳴命 祭日旧

曆七月二十七日新曆八月二十七日ニ改典

相殿庄ノ方八幡大神石ノ方大己貴命ニ座合宮ス

右ニ神ハ後チニ相殿スト見エ時代詳ナラズ

駒形大明神ハ安閑帝二年頃勧請セシモノト云フ

桐原殿勧請セシハ八幡宮ニシテ天満宮ト同時ナリト云フ (明治十六年三月訂正

事) 平社 小社 本社ハ間口五尺奥行六尺社地之ナリ 去ル文政八年旧領主戸

田丹波守光年代治城百年ノ賀アリシ時当村并里山邊村ノ人民同心シテ村ノ子ノ方

桐原耕地柴宮社地境内ニ勧請スト云フ 祭日旧曆三月十日新曆四月三日ニ改典
天満宮 村社 本社間口二間二尺奥行二間 現今社地四百二十六坪 当村辰
ノ方桐原耕地ニアリ 古ヘ京都北野ノ管神ヲ遷スト云フ 桐原庄ノ地頭桐原源藏
眞智後大藏ト改ム 嘉吉元年播州ノ戦ニ此神ニ祈願ヲナシ勝利ヲ得テ後北野ニ礼
拜シ自ラ神像ヲ彫ミ歸回シテ桐原ノ北ニ勧請ス 其後代々亦像ヲ納ムルト云フ
方今有スル水像ハ六体ニシテ半ハ朽テ壱形ノミナリ 祭日旧曆六月二十五日新曆
八月二十七日ニ改典

諏訪社 村社 本社間口九尺奥行八尺五寸 現今社地六百七拾七坪 当村未
ノ方鷹倉耕地ニアリ 勧請年月詳ナラズ 祭神武南方刀美命 祭日旧曆七月二十
七日新曆八月二十七日

諏訪社 村社 本社間口六尺奥行八尺 現今社地四百十坪 当村午ノ方南方
耕地ニアリ 勧請年月詳ナラズ 祭神武南方刀美命 祭日旧曆七月二十七日新曆
八月二十七日改典

宮原社 村社 本社間口一間三尺奥行一間五尺 現今社地三百六十六坪 当
村辰ノ方北入耕地ニアリ 勧請年月詳ナラズ 祭神武南方刀美命 祭日旧曆七月
七日新曆八月二十七日改典

駒越社 村社 本社間口一間四尺奥行一間五尺 現今社地百十四坪 当村卯
ノ方北入耕地ニアリ 勧請年月詳ナラズ 祭神武南方刀美命 祭日旧曆六月十六
日新曆八月二十七日改典

大和合社 村社 本社間口二間奥行二間 現今社地九百四十二坪 当村辰ノ方
中入耕地ニアリ 勧請年月詳ナラズ 祭神武南方刀美命 祭日旧曆七月二十七日
新曆八月二十七日改典

白山社 村社 本社間口八尺七寸奥行一間四尺 現今社地五百〇九坪 当村
辰ノ方中入耕地ニアリ 勧請年月詳ナラズ 祭神白山比賣命 祭日旧曆九月一日
新曆八月二十七日改典

寺

旧海岸寺 本尊ハ信濃百番ノ内第三十番ノ札所靈佛也 古ヘ高野山末古義真
言宗 村ノ寅ノ方桐原耕地ニアリ 古刹ニシテ雅古帝ノ御宇聖徳太子ノ創建 何
佛ヲ安置セシカ不詳 桐原山彌勒院海岸寺降福防法傳住持ト云フ 其後十一面千
手觀音宝龜二年行基菩薩ノ作ト云フ 坂上田村將軍利仁延暦二十三年甲申年当國ヲ
征シ給ヒシ時尊信アリテ堂塔ヲ裝嚴ナラシム 住持徳庭坊ト云フ 大同元年二十

四ノ坊舎ヲ建テ七堂伽藍ノ荒刹ニシテ今ノ地ヲ去ル事十二町山ノ崖際ニアリ法平弘
ト云フ住僧智蓮法印 寛政元年桐原ノ江頭桐原大藏頭眞智大ニ修理ヲ加ヘテ愚門
除ト成ス 天文十二年癸丑夏兵乱ノ災ニ罹リ大ニ破壊ス 法印阿闍梨明岸代天正
年中火災 同十九年石川伯耆守康昌代寺領ヲ没セラル 元和三丁巳年三月桐原與
惣石工門折破ニヨリ奥院ヲ中院ニ移シ又寛文八年下ノ坊ノ地ニ堂塔ヲ移ス 元禄
十丁五年快應法印衆生ノ力ヲ以テ修理ヲ加ヘ三月間扉スト虽モ無徳ニシテ漸々衰
微セシヲ以テ爾来里山邊村旧免川寺末同様トナリ間々住僧モ絶エシ事アリシニ記
録モナシ 天保十三壬寅年ヨリ以降無住ニ付明治三庚午年旧藩主戸田光則知事職
タリシ時更ニ破却ノ令ヲ受ケ即ニ本堂ヲ破毀シ殆ンド庫裏ヲ毀タントスル既豈回
ンヤ村落学校ヲ設爲シテ人材ヲ教育スルノ基礎ヲ立ツベキノ命ヲ感拜シ速ニ佛体
并什器ヲ他ノ法類ヘ委託シ大ニ營繕ヲ加ヘ学校トナス 校名桐原学校即チ是ナリ
旧徳運寺 当國水内郡芭平村曹洞宗大安寺末 村ノ卯ノ方中入耕地ニアリ
古ハ山城ノ國宇治ノ平等院末臨濟宗ニシテ堂塔具足ノ靈地ナリ 建立歲月詳ナラ
ズト虽モ今ノ地ヲ隔ル事卯ノ方四町山崖宇古家ト云フ地ニシテ福聚山徳運寺開山
眞空禪寺住務ト云フ 大同二丁庚午坂上田村將軍利仁當國ヲ征シ給フ時当山千手
觀音ヲ納メテ堂塔修理ヲ加フ 正安二庚子年惠尊上人入唐シテ帰ラザルニ付無住

トナリテ大ニ堂塔ヲ破壞ス 其内一字様リテ百七十余年間枝庵同様トナル 後永
正年間折野原十野修理ヲ加ヘテ堂國水内郡芭平村大安寺末ト改タム 中興開山惠
照住務ト云フ 天正十一未年七月二十日燒失ス 文祿年中住僧友梅禪師衆生ノ力
ヲ借リテ今ノ地ヘ移スト云フ 嘉永四辛亥年十二月二日再び燒失シテ安政元甲寅
年十月衆力ヲ以テ堂塔伽藍落成ス 祖宗禪師住務ト云フ 明治三庚午年旧藩主戸
田丹波守光則知事職タリシ時世上敬神の際數百の檀中神葬ニ改典シテ当寺無檀ト
ナル 依テ同四年未年住僧觀法帰俗セリ 同年三月無檀無住ニ付破却ノ命アリ殆
ンド堂塔ヲ毀タントスル時豈回ンヤ村落学校ヲ設置シテ人材ヲ教育スルノ基礎ヲ
立ツベキノ命ヲ感拜シ 速ニ佛体及什器ヲ他ノ法類ニ委託シ大ニ營繕ヲ加ヘ学校
ト爲ス 校名中入学校即チ是ナリ

學 校

公立学校三ヶ所 其一ハ橋倉耕地ニアリ校名橋倉学校生徒男三十五人女十五人元
資金貳千円 其二ハ村ノ寅ノ方桐原耕地ニアリ校名桐原学校生徒男四十五人女十
四人元資金貳千円 其三ハ村ノ卯ノ方中入耕地ニアリ校名中入学校生徒男百十二
人女十三人元資金參千円

各元資金ハ校屬人民ヨリ献納セシガ直ニ其人民ヘ貸附シテ利子ヲ以テ入費ニ充ツ

村會所

東西七間南北八間面積五十六坪 当村南北ノ中央東西ノ西部ニシテ桐原耕地ニ定
×村内事務ヲ取扱フ

病院 無之

電線 無之

郵便局 無之

製糸場 無之

大工作場造船場 無之

古跡

小笠原信濃守源朝臣清宗城趾

当村橋倉耕地ノ領主ト云フ 其他管轄多クシテ詳ナラズ 位置ハ橋倉耕地ヨリ成

ノ方十町余リヲ隔ツ 古来当村石橋倉耕地并当郡里山邊村林耕地ト共有スル地ナ
リ 里人之ヲ稱シテ橋倉城山ト云フ 本丸東西二十九間南北十四間 但シ回字形
ヲナシ外郭三重濠井共ニ繞廢シテ崖崖トナリ石壁尚存ス 後花園帝長祿三巳卯年
築ク 城主小笠原信濃守清宗当國井川ノ城ヨリ移ル 同信濃守長朝文明十巳戌年
十二月八日父清宗死ス 其後曾叔父ノ子当國伊那郡松尾ノ城手小笠原右近太政
秀謀叛ヲ企テ長朝累代ノ家譜ヲ掠メント欲シ終ニ当城ヲ奪取ラレ長朝暫ラク当國
牧嶋ヘ移リシガ國人政秀ヲ信ゼズ故又和睦ヲ乞ヒ再ビ城地ヲ長朝ニ讓リテ政秀伊
那郡ニ歸リテ鈴岡ニ住ス 同信濃守貞朝、同信濃守長棟、同信濃守長時迄五代相
傳フ 後奈良帝天文三甲午年長時当國深志城ヘ移ル 同二十二年癸丑五月當國格
瘦ヶ原ニ於テ長時武田晴信ト戰ヒ討負射ヲ京畿ニ脱ス 爾来空城トナル 武田ノ
爲ニ破壊ス

相先ハ清和天皇七代ノ孫新羅三郎義満ノ裔ニシテ代々源氏武門弓馬ノ成道糾方的
師範タリト云フ

水蕃城趾 当村南方耕地ヨリ巳ノ方十町余ヲ隔テ白向山トイフ小峯ニアリ
小笠原信濃守清宗寛正元庚辰年築クト云フ 分間詳ナラズト虽モ礎石ヲ存ス

桐原大藏頭藤原眞智城趾

当村桐原耕地南方耕地并当郡深志村内桐耕地ノ領主ト云フ 位置ハ桐原耕地ヨリ
 寅ノ方五町二十五間ヲ隔テ桐原山ニアリ 里人稱シテ今大藏山ト云フ 本凡東西
 十六間南北十五間 但シ垂字ノ法ニ由ルト云フ 四方石ヲ疊ミテ壁トナス 外郭
 二重濠并共ニ繞廢シテ崖トナリ礎石尚存ス 古名蓮峯城ト云フ 後花園帝ノ寛
 正元庚辰年春三月ヨリ築キ同秋末ニ至リテ落成スト云フ 城主桐原源藏眞智大日
 介政徳ノ弟ナリ白大藏ト改ム 当國大甘ヨリ分城シ小笠原清宗ニ屬ス 同大藏眞隆・同市
 正眞實・同藏人眞貞・同邊部眞基五代相傳ス 後奈良帝天文二十二年五月七
 日眞基武田晴信ト戰ヒ討死ス 其子桐原因書長眞代ニ滅亡空城トナル 破壊ス
 相先ハ本院在府藤原時平大臣ノ裔ト云フ 桐原源藏眞智武田安藝守信賢ニ屬シ播
 州人丸塚ノ戰ヒニ赤松雅則ヲ討テシ者ニシテ右小笠原政康ニ屬シ三十番ノ大將ト
 シテ結城氏朝ヲ討ツ
 霜降岩城趾 同山ノ崖ヲ隔テ正東ノ山上ニアリ 桐原眞隆後花園帝壽吉三
 癸亥年築クト云フ 分間詳ナラズ
 山邊薩摩守藤原昌治本姓折野城趾
 当村中入耕地北入耕地并当郡里山邊村内八ヶ耕地ノ領主ト云フ 位置ハ中入耕地
 丑寅ノ方五里余ヲ隔テ秋葉山ニアリ 本丸東西十一間南北十五間 但シ回字形ヲ

ナシ外郭二重濠并共ニ繞廢シテ崖トナリ石壁尚存ス 明應ハ己未年折野薩摩守
 昌治山邊氏播州姫路ヨリ移リ小笠原貞朝ニ屬シ 同越前守昌寛・同源十郎昌實
 同藤九郎昌矩四代相傳フ 天文二十二年五月昌矩武田晴信ト戰ヒ謀叛シテ直
 ニ晴信ニ墮ヒ永祿四年三月当國川中島ニ於テ戰功アリ天正三乙亥年五月三州
 長祿ニ於テ討死ス 滅亡空城トナル
 相先ハ藤原保昌ノ裔ト云フ 折野薩摩守昌治後柏原帝文龜三癸亥年播州姫路ヨリ
 惣社大明神又云フ岩大明神ヲ勧請ス 合宮ニ源頼光ニ相先藤原保昌ヲ始メ綱公時
 定光末武ヲ祭ルト云フ 今当郡岡本村惣社耕地ニアル則チ是ナリト云フ
 要害城趾 当村中入耕地石本城ヨリ西ノ方一町ヲ隔テ字古城ト云フ山ノ中間
 ニアル 山邊薩摩守昌治築クト云フ 年曆分間詳ナラズ
 古牧地 当村丑ノ方桐原耕地桐原山中ニアリ 今馬久保トイフ地名殘レリ
 古ヘ安閑帝二年兼テ牧場ヲ定メアリシト見エ同年馬ヲ霧原ノ牧ニ放テ聊カ馬ニ乏
 シカラスト虽モ右百六十余年ノ末ニ至リ衰廢セシトモアラシカ文武帝四年始メ
 テ諸國ノ牧場ヲ定メラルト云フ 亦二百余年ノ後醍醐帝延喜年間桐原ノ地ニ馬寮
 ヲ置カルト云フ其爾來廢毀年間ハ分カラザレ共二百八十余年ヲ経壽永元曆年間
 名馬ヲ繁殖スト見エ其記ニ安徳帝ノ壽永年中本曾養仲兵ヲ擧ゲ城資永ト戰フ節桐

原山道ヲ越エテ依田城ニ據リ城資永向資時越後ヨリ信濃埴科郡ニ出張ス義仲終ニ
資永資時ヲ逐討チ加賀ヨリ京都ヘ至ルトイフ 是義仲兵ヲ擧グルノ始メタリ此時
義仲桐原黒馬ニ乘ルト云フ

古采ヨリ今桐原山中所々傳稱スル地多シ

馬久保 逢坂 追留 駒籠 駒越 厩ノ館 厩所

追平 三鞍 駒形 鞍掛 追久保 朝日

以上其他詩歌多シ其一ニヲ擧グ

拾遺

大宰大貳高直

あふ坂の関の岩かどふみならし山たち出る桐原の駒

續拾遺

正三位 知家

たくれの月より先に関越えて木の下くらき桐原の駒

新編古今

源 義 將

逢坂や清水にうつる影も見えず關路へだつる桐原の駒

海岸寺跡地

今弘法平ト云フ 村ノ丑ノ方桐原耕地大藏山ノ麓ニシテ天平

年中紀州高野末古義真言宗桐原山海岸寺并塔中二十四坊ヲ創建シテ七重伽藍ノ梵

刹ワリシニ漸ニ衰廢シテ大ニ破損ス 因テ元和三丁巳年中院エ移スト云フ 分間

詳カナラズト虽モ礎石ヲ存ス

旧蓮法寺跡地 村ノ丑ノ方桐原耕地大藏山ノ麓ニシテ寛正年中当郡里山邊

村曹洞宗廣澤寺末大藏山蓮法寺ヲ創建ス 桐原庄ノ地頭桐原大藏頭眞智開墾ト云

フ 然ルニ天文弘治ノ兵乱ニ武田晴信ノ爲メニ没セラルト云フ 石壁尚存ス

名 勝

楓 天神 村ノ辰ノ方ニ當ツテ桐原耕地ニアル天満宮社地ナリ 古ヨリ諸神満願

ノ者楓木ヲ植エルヲ以テ土民稱シテ楓宮ト云フ 秋末紅葉色ヲ交ヘテ綿ノ如シ

古ハ地頭領主其他群集シテ秋ヲ賞スルモ今ハ大ニ衰フト虽モ紅葉ハ頗ル奇絶シ

テ市在近隣人承テ之ヲ賞ス

桐原梅 村ノ丑ニ當リ桐原耕地大藏山ノ麓ノ民有田圃ノ畔ニ梅木繁茂シテ林ヲ

ナシ初春最奇ナリ 満開其香紛々トシテ風景言詩ニ絶ス 集人之ヲ稱シテ桐原梅

林ト云フ 落花ノ後民人実ヲ採テ市中ニ鬻グ

桐原古牧 村ノ丑ノ方桐原耕地桐原山中ニ其稱遺レリ 古ハ安閑帝二年頃兼

テ牧場ヲ定メアリシト兎工同年馬ヲ霧原ノ牧ニ放ツト云フ 白六百六十余年間ヲ

經壽永元曆年間名馬ヲ産ス 其記ニ亦曾義仲桐原黒ノ駒ニ乘ルト云フ 又古歌モ

多シ 其詳ナルハ旧跡ノ部ニ載スル
桐原學校 村ノ寅ノ方桐原耕地ニアリ 南面廣闊ニシテ斜ナリ^四 梅桃櫻李夥
シクシテ三春最宜シ
美ヶ原 村ノ卯ノ方ニシテ当郡里山辺村ト共有スル該地第二高山其嶺僅カノ
平坦ヲ云フ 其平坦一面天然ニ生ズル躑躅ノ園アリ夏曰白花満開シテ雪ノ如シ
元花亦ハ他ノ躑躅ニ異ナラズト虽モ花ハ至小ニシテ米粒ノ如シ 人之ヲ賞ケヌモ
ノハナカルベシ

物産

動物 藍玉其質美ナリ出未高九百駄遠近及他邦へ輸出ス 亦綿絨染最美ナリ出
未高一万千六百端ヲ染テ他邦へ輸出ス 楮紙質美正ナリ出未高三百貫目ヲ製シ多
クハ市中ニ繁ケ
食物 葡萄其質美味ナリ出未高三千貫目 柿、梅、桃共各美味ナリ出未高一万
三千貫目当村各地ニ生ズルト虽モ別シテ桐原ノ地ヨリ産出シテ市中ニ繁ケ

民業

男 小民ノ勞苦タル一歳中粗糲ヲ喰ヒ履服ニ纏ハレ舟ヲ泥工ニ委シ手脚ヲ荆棘ニ
理ミ炎熱雪風ヲ厭ハズシテ晨ニハ鶉声ニ先テ夕ニハ星光ヲ戴イテ瘠田ノ磊砢ヲ穿
テ迫圃ノ莠葎ヲ鋤ス 農間ニハ山野ノ薪炭ヲ採テ市中ニ繁ケ等鞆躬盡力シテ未ダ
曾テ生涯半眉ノ休戚ナシ然シテ一歳ノ收穫一歳ノ經費ヲ償フニ足ラズ
女 農ハ男子ノ業ニ異ル事ナシ其他少シク蚕ヲ養フモノアリト虽モイマタ旺盛ヲ
促サズ或ハ農間自用機織織績ヲ業トス

風俗

上中古風詳ナラズ 当地ハ市街ノ近在ナリト虽モ山懐ノ村落人家疎ニ散在多クハ
南西ニ向フ 居屋凡テ茅屋ママ板庇アリ構營各木製ニシテ板葺ヲ高ウシ席ヲ設ク
衣服ハ元采左衽ニシテ窄袖ヲ用ユト云フ中古以降ハ闊袖大襟ニシテ布帛ヲ以テ之
ヲ縫裁ス 頭髪ハ各油ヲ塗リ結髪ス男子ハ十五歳ニ至レバ鬘シテ鏡髪ヲ剃除シ女
子ハ七八歳ヨリ結髪シテ并櫛ヲ戴キ紅粉ヲ粧ヒ長衣大帯ヲ纏ヒ嫁スレバ兩眉ヲ拂
ヒ鏡髪ヲ以テ涅齒スルヲ法トスト虽モ百事純朴簡易ノ風習アリ 蠶繭トシテ佛前
ニ泥ミ門闕ヲ尚古風ヲ固守シ文学技藝ヲ講習セザルヲ以テ勤モスレバ人情ニ悖
ル少カラザリシ 然レ共聖明工ニアリ封建ノ制全ク廃絶シ旧習ヲ看破シ門闕ヲ闕

ハズシテ人材技擢ノ時ニ膺リ佛教ヲ尙シ敬神ノ道ヲ興シ條理ヲ索メ權理通義ヲ実際ニ行フヲ務ム 今男子タルモノ過半斷髮シ衣服ノ窄袖ヲ好ミ家ニ倚卓ヲ飾リ工藝技能ニ及アマデ大ニ泰西ノ制ニ模倣シ新面目ヲ開キ教化歲月ト共ニ變革ス兒童ハ就學勉強ス兒ルベシ不曰才賢明求メズシテ得ルベキ事蹟然タリ 豈当路賢德其職ヲ盡シテ廟議奉載ノ微発スト云フベシ

氣 候

本村ハ東南北ニ高山ヲ負フテ僅ノ山嶽ニ住スル村落ナリ 爰ニ寒暖録ヲ計リ驗スルニ春寒最モ強ク列文亦氏ノ二十二三度極暑中九十度ヨリ同三四度ヲ限リトス秋冷六十度内外冬十一十二月三十度ヨリ二十五六度ニ下ル 当明治九年第二月十日正午ニ各家北面戶外ニ掲ゲシ寒暖録ヲ驗視スルニ攝聯係氏ノ三十五六七度ニ昇ル 同年七月十日正午各家南面戶外ニ同器ヲ掲ゲテ驗視スルニ九十三四度ニ昇ル 霜ハ多クシテ八九月ヲ以テ常例霜ヲ數ク四月尚多クシテ草木ノ芽ヲ破ル 雪ハ十月ノ末ヨリ十一月十二月春三四月頃マデ交々降ル尤モ輕シママ尺四五寸ニ及ブ事アリ

風吹東南ノ風多シト虽モ大風ニアラズ冬ハ西風アリト虽モ甚ダシカラズ 雨降暴雨マレナリ時雨順ナリト云フベシ三面ニ山アレバ時氣モ亦輕シ 霧藹深カラズ 水烟高カラズ

梅桃櫻李皆節ヲ同ジクシテ清明ノ候ニ開ク 其余ノ草木花ノ開発少シク遲達アレ共多クハ節ヲ共ニス 秋末霜降ル事早ク草木枯凋搖落他邦ヨリ早キヲ知ル 瓜茄六月ニ至リテ新ヲ生シ九月全縮ス

天度北緯三十六度二十七分
東京ヲ中度トシテ初度六分余

石之通取調差上申候以上

明治九年四月十七日

筑摩郡入山邊村

筑摩郡参事高木惟矩殿

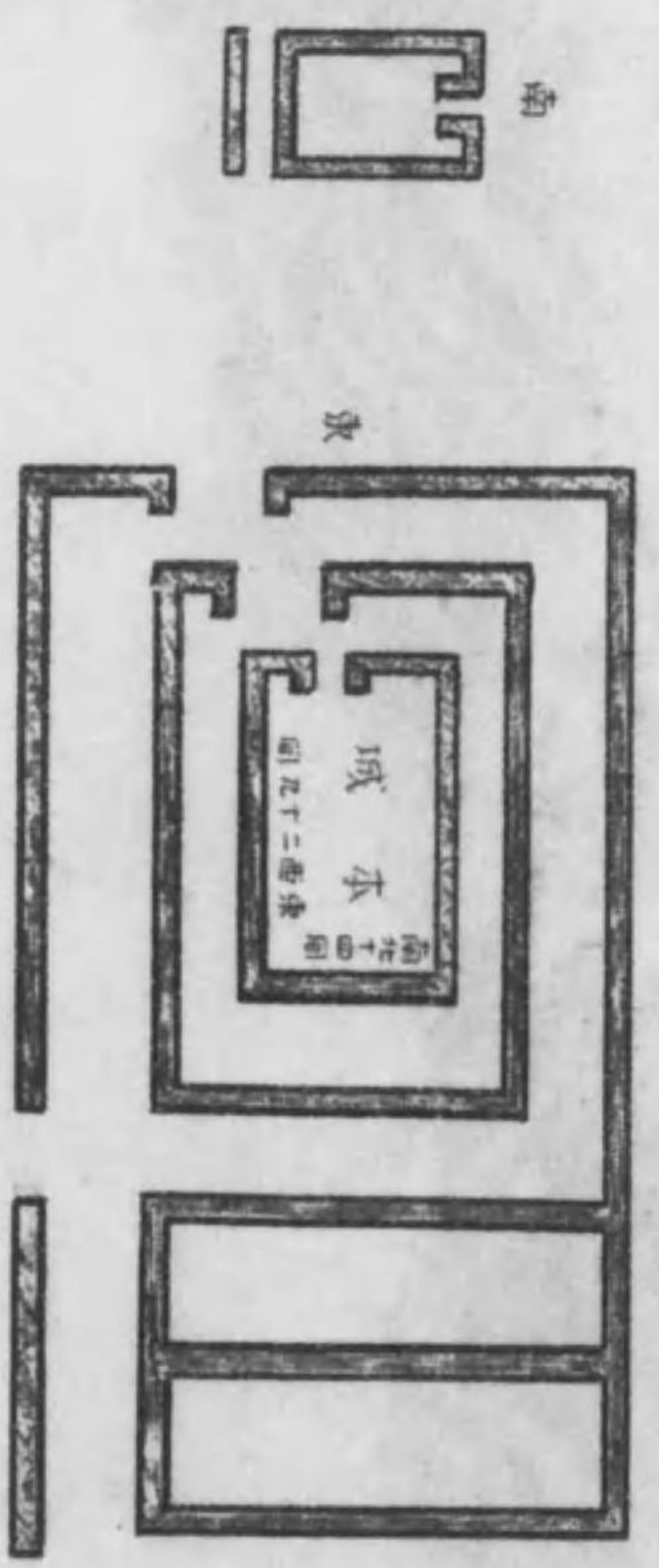
編 輯 桐 原 得 馬	書 記 桐 原 直 躬	繪 圖 田 村 一 二	副 戶 長 新 井 照 行	同 大 宮 戸 一	同 宮 坂 篤 也	戶 長 桐 原 得 馬
----------------------------	----------------------------	----------------------------	---------------------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------------

景文山城古倉橋



小豆原古氏趾之圖

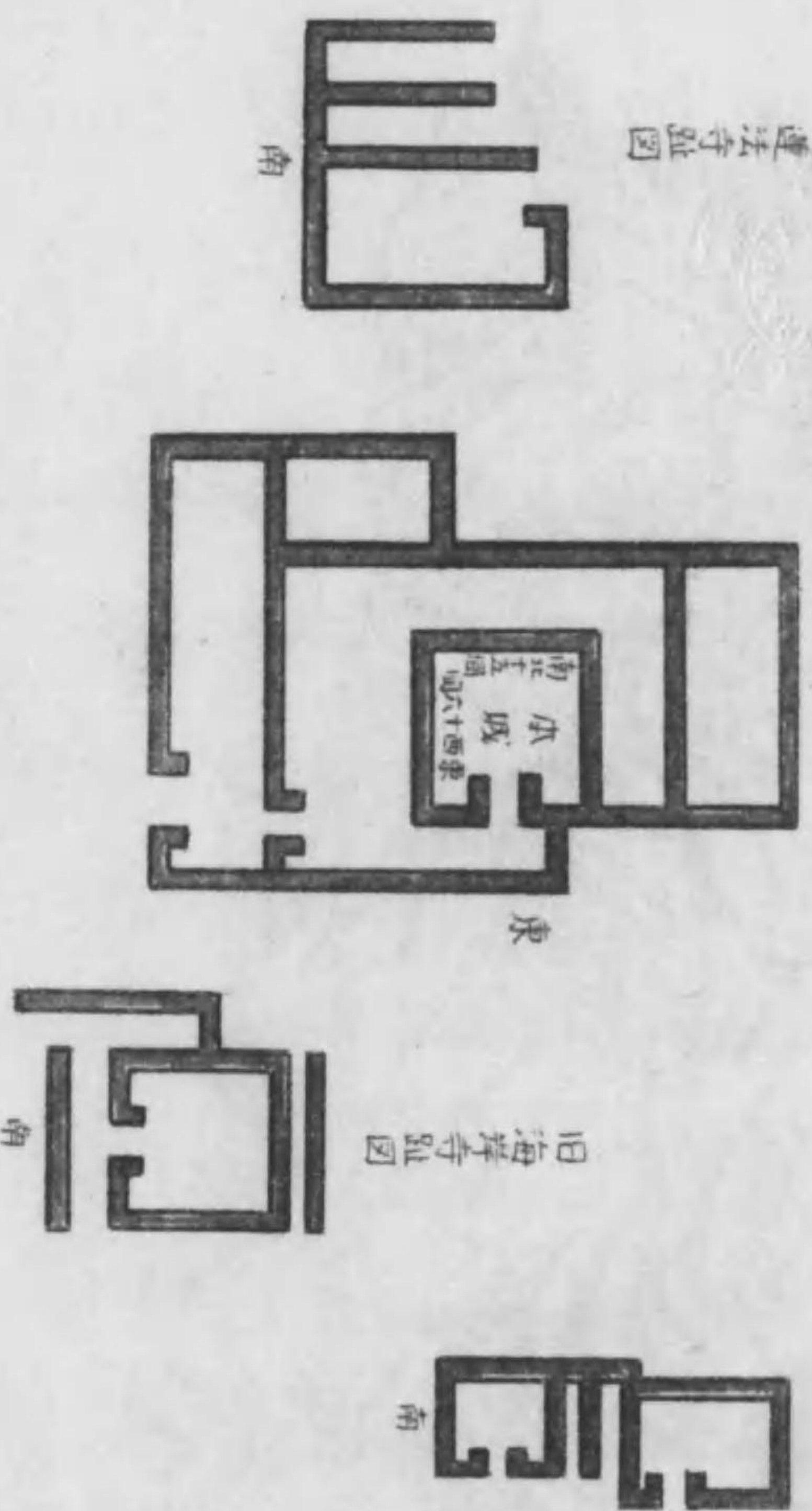
司水苗趾趾



桐原古山城之景



桐原古氏城址圖



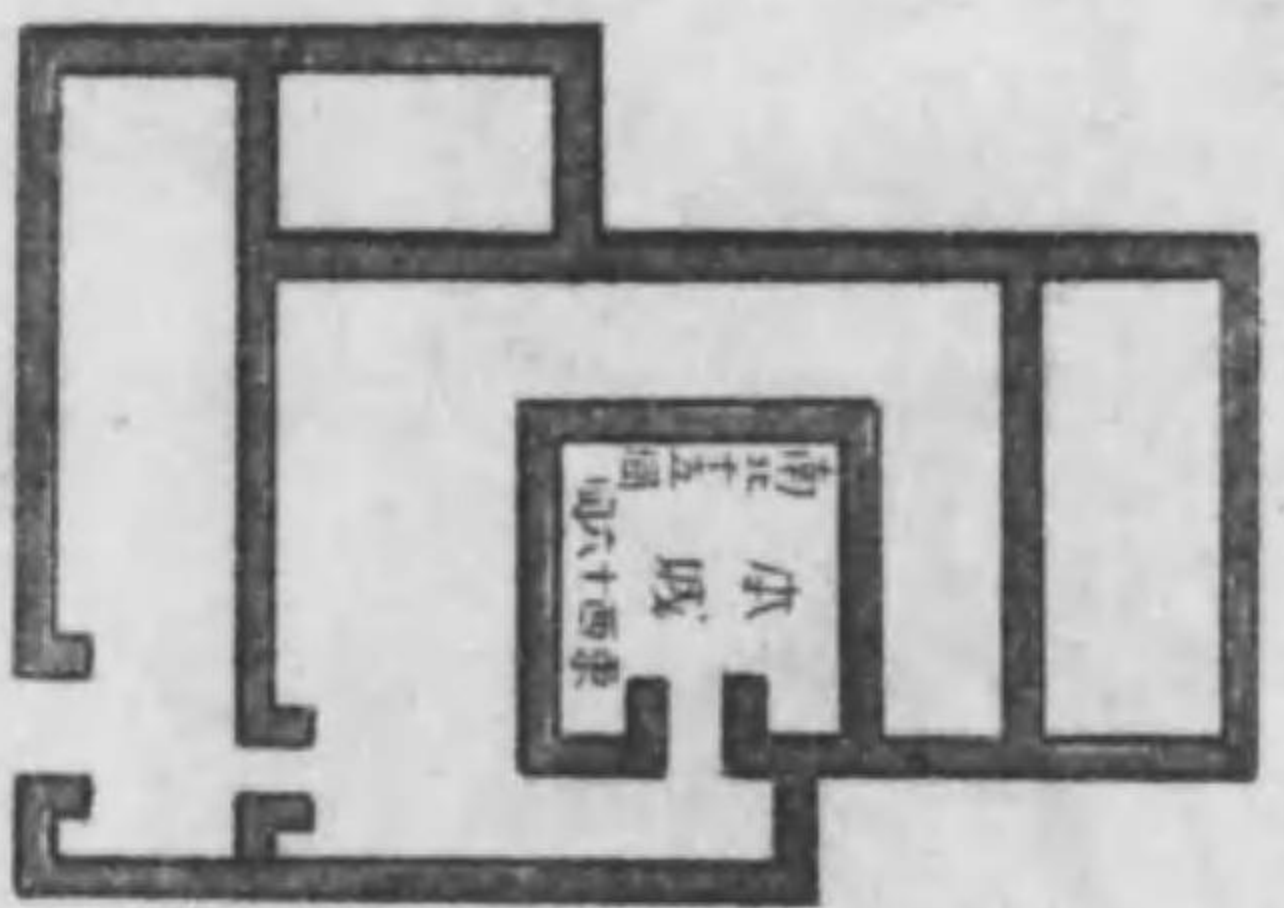
桐原氏賴降古城址圖



舊法守趾圖



東

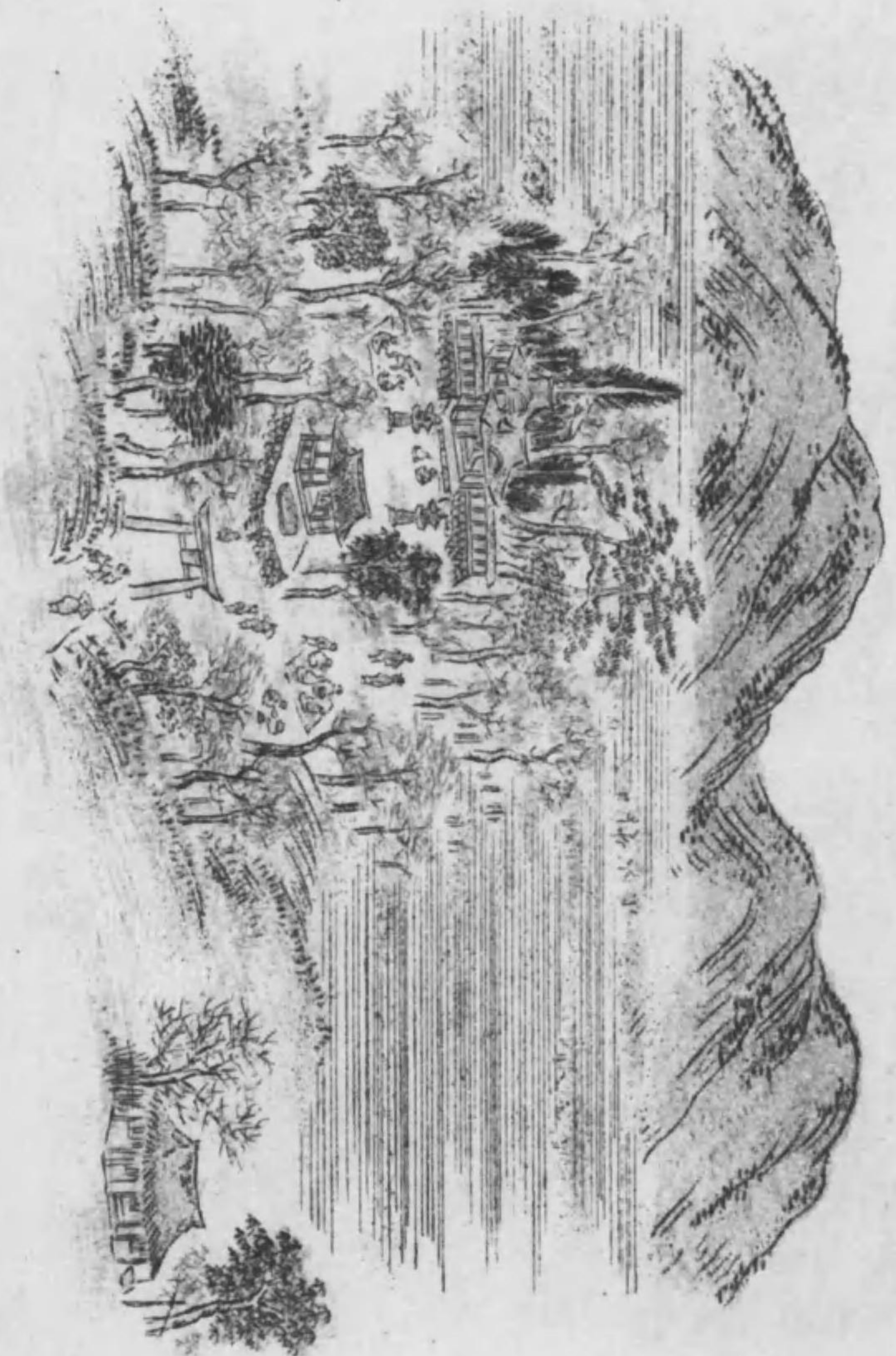


舊法守趾圖



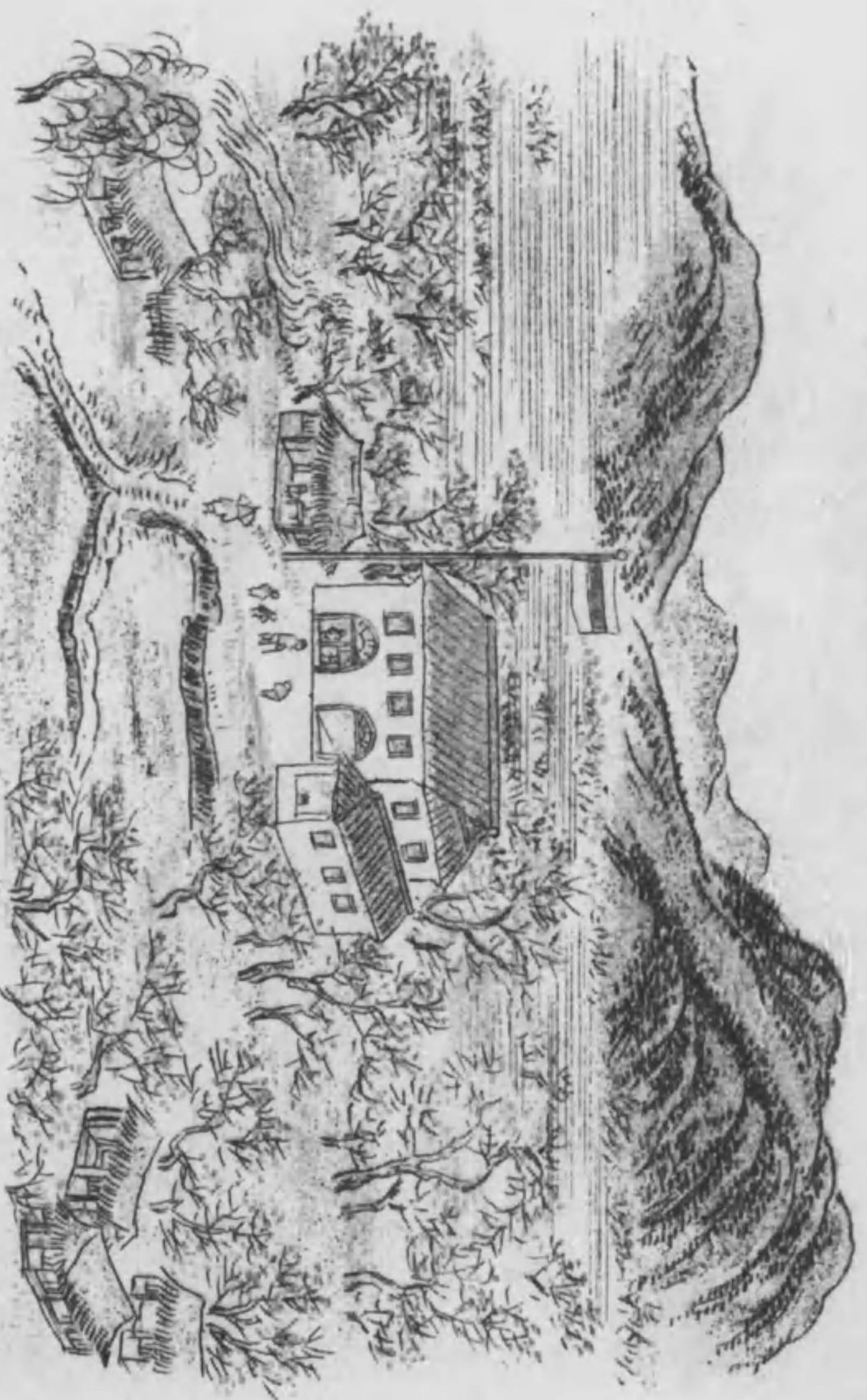
南

桐原天境神內晚秋紅葉之風景

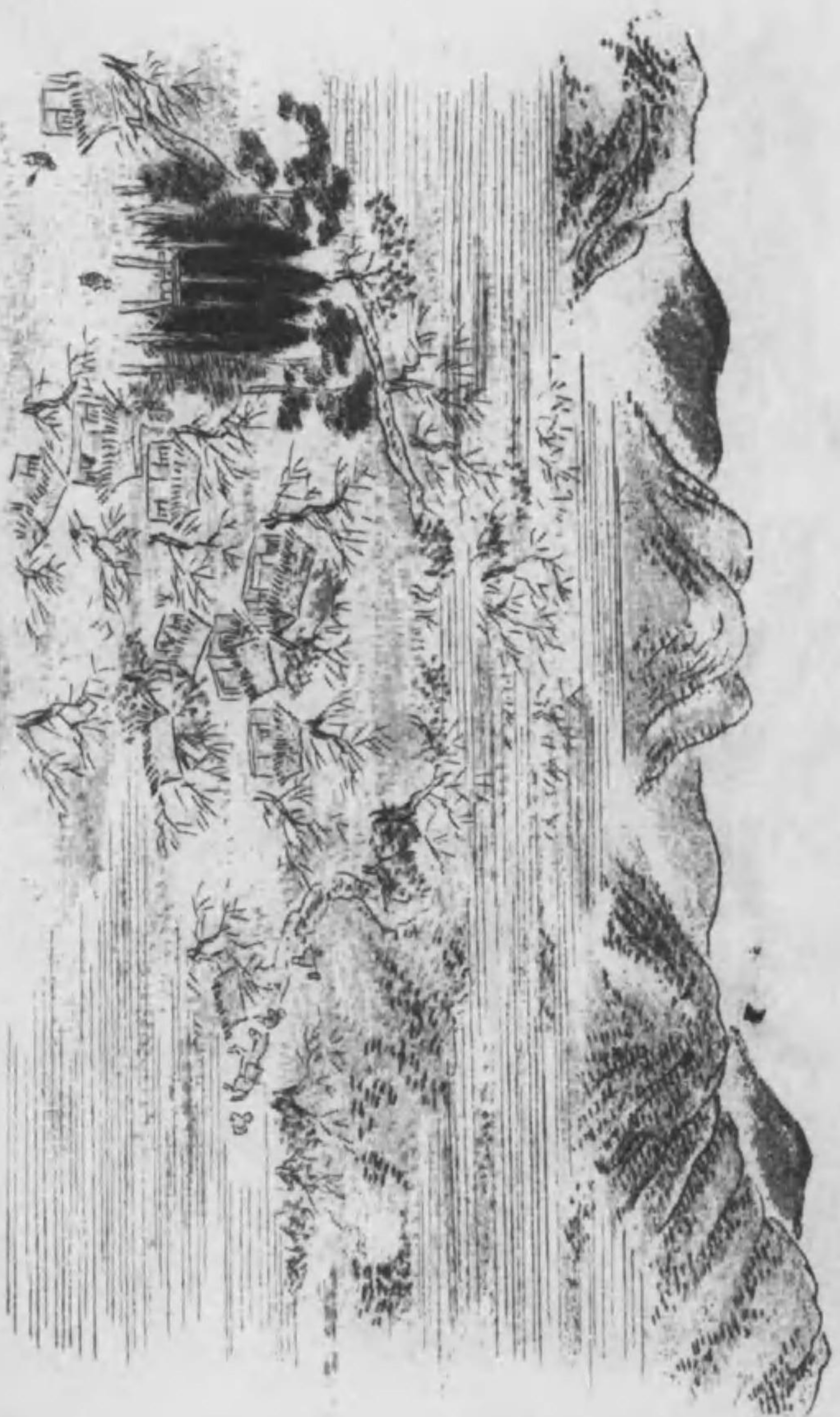


東

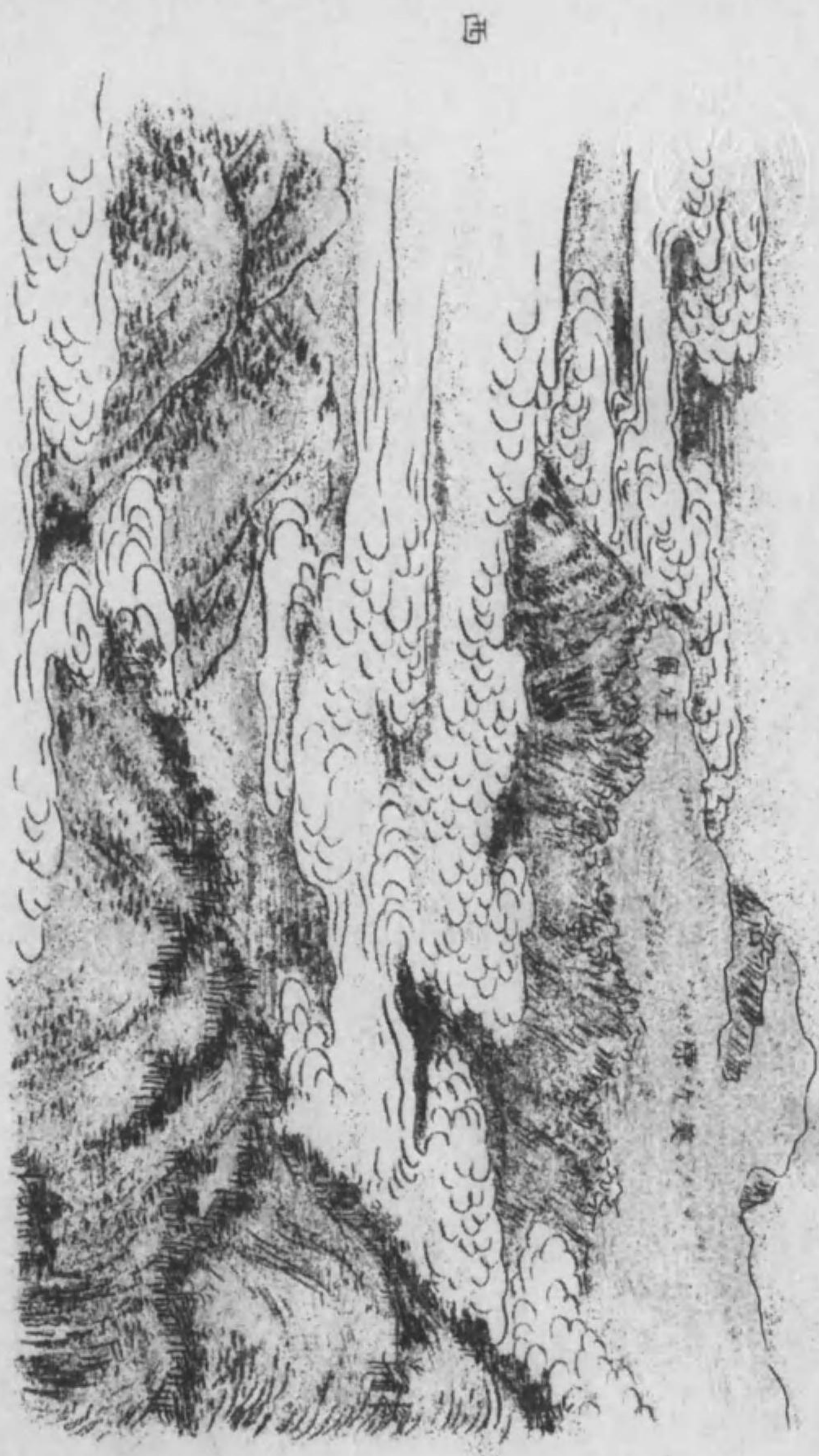
桐學四梅桃李雜花之風景



桐原梅林之風景



岡
本
村



美ヶ原躑躅之景

田

岡本村

本村古時筑摩郡深志町ニ属シ古昔ヨリ岡田組ト稱ス

松岡村

原村

岡田町村

伊深村

水汲村

洞村

下岡田村

沃間村

横田村

大村

三才山村

惣社村

稻念村

ノ十三ヶ村タリシニ明治七年十月五日合併シテ一村トナル

疆域

東ハ長野縣管轄小縣郡高梨村及ヒ武石村ト本郷山嶺ヲ以テ界シ 西ハ安曇郡嶋ノ内村ト老寝田堰中央ヲ境トシ 南ハ本郷深志村ト田畑区域ヲ境シ同村ト対ス 北ハ刈谷原村ト警坂嶺中央及稻倉峠嶺中央ヲ境トス

幅員

東西二里二十町三十間
南北一里十五町
面積実測ヲ経ズ暫ク

管轄沿革

中古以来小笠原氏代々之ヲ領ス 長時ニ至リ天文二十二年武田晴信ト戦ヒ判アラズ落去武田氏甲斐ヨリ之ヲ兼治ス 天正十年三月武田氏亡ビ小曾氏ノ領トナル 同七月ヨリ石近木夫小笠原貞慶代之同秀政 同十八年石川伯耆守数正同光長代之慶長十八年同氏罪アリ小笠原秀政代之 元和三年播磨國明石へ移ル 戸田康長同康直代之寛永十年濃州加納へ移ル 松平直政代之寛永十五年雲州松江へ移ル 堀田政盛代之寛永十八年總州佐倉へ移ル 水野忠清代之享保十年水野忠恒罪アリ戸田丹波守光慈代之以後代々戸田氏領ス 明治二己巳年六月同氏版籍奉還シテ藩政トナル 同四年七月松本縣トナリ同十一月筑摩縣管轄トナル

里程

筑摩縣廳ヨリ亥ノ方一里二町
四隣深志村元標へ二十町
川谷原村元標へ一里十九町三十五間
安曇郡嶋内村元標へ一里三町十八間

地勢

長野縣管轄小縣郡武石村元標へ四里三十二町十二間
深志町午歳橋迄距離一里九町五十一間
刈谷原駅へ一里十九町三十五間
保福寺駅へ二里十五町十六間三尺

地味

東ハ本郷山ヲ貫テ西ハ犬飼山ノ山脈北走シ田沢ニ至リニ派トナリ更ニ折レテ北ヲ擁ス地形南下シテ深志村ニ接ス東西長ク南北稍々短縮ス大約 形ヲナセ共村内 女鳥羽川西ヲ横断シ川東ヨリ巽ニ突出長伸シ里山邊村ニ近接シテ筑摩村ト対ス 岡陵ル凸凹アリ最も東北高ク南西少シク低シ故ニ川脈皆西南ニ廻注シ田川ニ合ス 實ニ丘陵ノ地勢南北深志ノ両市眼下ニ望ム地景美ニシテ田少ナク畑多シ北海道ノ 衛路運便ナリ薪炭ニ乏シカラズ氣候ノ冷暖時々変シ陰晴常ナラズ冬時最も酷カシ 千ハ寒暖計十五度ニ縮ム極暑九十三度中和四十三度

其色緒其質惡稻麥其他藍桑野菜ヲ培養スルニ適スルト虽モ肥糞多ク用ヒザレバ能

ハズ亦水利不便ニシテ時々旱ニ苦シム

税地

田三百三十三町八反三畝十四歩
畑三百五十一町五反八畝十四歩
宅地六十四町六反五畝十五歩
山林四千六百二十九町一反九畝二十歩
芝地四町八反五畝十歩
荒地七町二反二畝五歩
總計五千三百九十一町三反四畝十八歩

飛地

無之

反目 村ノ午ノ方北國西街道ノ左右東西三十間南北三町二十間
松岡 村ノ午ノ方北國西街道ノ東西二町南北三町三十間
神沢 村ノ未ノ方東西一町四十間南北四町

塙倉 村ノ申ノ方塙倉塘ノ西ヲ北へ連ル東西一町二十間南北四町
諸窪 村ノ申ノ方養老道ノ北東西一町二十間南北一町
箭崎 村ノ申ノ方養老道ノ北ヲ西へ連ル東西一町二十間南北一町
田中 村ノ申ノ方養老道ノ北ニ連ル東西一町三十間南北一町四十間
次郎丸 村ノ午ノ方北國西街道ノ左右西ニ連ル東西一町二十間南北一町十間
原 村ノ寅ノ方女鳥羽川ヨリ西ニ連ル東西二町南北一町
宮地 村ノ寅ノ方女鳥羽川東東西三十間南北一町三十五間
水汲 村ノ巳ノ方女鳥羽川ノ西ニ連ル東西三町南北二町
下淡間 村ノ辰ノ方女鳥羽川ノ東東西二町南北二町
上淡間 村ノ卯ノ方淡間学校ヨリ東南ニ連ル東西二町南北四町
大村 村ノ巳ノ方東西五十間南北一町
雪中 村ノ巳ノ方東西四十間南北一町五十間
横田 村ノ巳ノ方横田学校ヨリ南ニ連ル東西三十間南北二町二十間
總社 村ノ巳ノ方山邊道ノ左右ヨリ北へ連ル東西一町南北三町
雁金 村ノ巳ノ方東西一町二十間南北三十間
一ノ瀬 村ノ寅ノ方女鳥羽川ノ南ニ連ル東西二町南北一町

欠

小寺尾	村ノ寅ノ方ニ当リ女鳥羽川ノ南ニ添フテ東西二町三十間南北四十間
三才山	村ノ寅ノ方女鳥羽川ノ西ニ連リ東西四町四十間南北一町二十間
岡田町	村ノ子ノ方北國西街道ニ沿フ南北八町二十間東西一町
伊深	村ノ子ノ方北國西街道ニ沿フテ南北十町東西二町
矢作	村ノ亥ノ方大口沢道ノ東ニアリ南北一町十間東西三十間
新田	村ノ亥ノ方大口沢道ノ西ニアリ東西一町三十間南北一町
安土	村ノ亥ノ方大口沢道ノ西ニアリ東西一町南北一町
杏	村ノ亥ノ方大口沢道ノ西ニアリ南北三町東西一町三十間
小日向	村ノ丑ノ方女鳥羽川ノ東ニ連リ南北五町十五間東西二町
高井	村ノ丑ノ方女鳥羽川ノ北ニ連リ東西二町南北五十間
田中	村ノ丑ノ方女鳥羽川ノ北ニ連リ東西四町五拾間南北四拾間
船倉	村ノ丑ノ方女鳥羽川ノ北ニ連リ東西四町南北一町
南洞	村ノ丑ノ方女鳥羽川ノ東ニ連リ南北一町東西二町
北洞	村ノ子ノ方三才山小径ノ間ニアリ東北一町南北一町
山城	村ノ丑ノ方三才山小径ノ間ニアリ東西一町南北一町

欠

高二十丈一尺 村ノ寅ノ方三才山耕地山中ニアリ 山脈東西ニ走り本郷山ニ
連リ樹木鬱蒼登路一條三才山村ヨリ登ル事一里五町余嶮ニシテ遠シ 溪水一
條権現沢ト會同シテ女鳥羽川ニ入ル

屏風嶽

高十五丈 幅十二丈 村ノ寅ノ方稻倉耕地東山ノ中腹ニアリ 登路一條三才
山村ヨリ登ル事十四町二間 山中雜木ヲ生ジ溪水一條岳折沢ト云フ下流女鳥
羽川トナル

西山

高十丈周圍一里十二町 本村ノ西ニアリ 東南ハ本村ニ屬ス 北ハ川手村ニ
屬ス 山脈北走シ田沢山ニ連互ス 樹木無之登路二條一ハ本村室窪沢ヨリ登
ル事十五町 一ハ伊深ヨリ登ル事八町 溪水無之

川

女鳥羽川

三等河ニ屬ス 急流ニシテ浅ク 源ヲ本村長ノ方本郷山鳥帽子嶽ノ西麓ニ発
シ皆西流合シテ女鳥羽川トナル 三才山稻倉ヲ屈曲シテ南ニ流レ本村ヲ過ク

森林

ルニ里二十三町下流深志町ニテ田川ト合ス 川幅三十間常ニ水寡ク清シ 砂
磧多ク舟筏不通 最モ霖雨ノ時ハ萬山溪沢ノ水流合同シ一時洪水ノ爲メニ田
畑ヲ浸流シ患害少ナカラズ 堤防數ヶ所アリ
水汲橋浅間往還ニ屬ス架シテ村内巳ノ方女鳥羽川下流ニアリ 長二十八間幅
八尺 水造民費

御殿林

官有ニ屬ス 東西百七十間南北二百十六間 反別十二町二反四畝二十一步
村ノ卯ノ方十三町ニアリ 松木多ク周七尺長八間位ノ大樹少クアリ 其他小
松多シ

日影林

官有ニ屬ス 東西百二十六間南北二百十六間 反別五町三畝一步 村ノ卯ノ
方十三町ニアリ松木多シ 周五尺長五間位ノ木少クアリ 其他小木多シ

一本松林

官有ニ屬ス 東西百八十間南北百二十間 反別四町三反一畝五步 村ノ卯ノ

吉野平林

方十五町ニアリ 松木多ク周五尺長七間位ノ樹少クアリ 其他小松多シ

官有ニ屬ス 東西二百十間南北八十五間 反別六町步 村ノ辰ノ方二十五町

ニアリ松ノ小木多シ

雁金林

官有ニ屬ス 南西八十間南北三十四間 反別九反三畝步 村ノ巽ノ方二十九

町ニアリ 柳小木多シ

毛拔林 三ヶ所

官有ニ屬ス 東西百四十四間南北四十五間 反別一町三反步 村ノ戌ノ方十

几町ニアリ 小松多シ

塩倉嶺林

官有ニ屬ス 東西五十五間南北七十七間 反別一町三反二畝步 村ノ申ノ方

二十町ニアリ小松多シ

原野

無之

牧場

無之

鑛山

鉛山

高二百四十丈 周圍一里十二町 村ノ良ノ方一里三十町ニアリ 鑛物発見ハ
文久二年ニ起リ既ニ五ヶ年ヲ経テ休業一ヶ年出高不詳

湖沼

無之

北國西街道

二等道路ニ属ス 村ノ平ノ方深志村境ヨリ北ノ方刈谷原村境マデ一里七町三
十三間幅二間三尺馬踏九尺道敷二間四尺並水無之岡田駅ノ北出口ヨリ東ニ折
レ東京ヘノ支道アリ丑ノ方七崙マデ一里八町

堤塘

田溝堤

村ノ成ノ方西山ニ沿フ長三十八間馬踏三間堤敷一万二千三百二十四坪水門二

中

ケ所水量定抗無之根堅メ竹水無之修繕ハ従前官費タリシニ明治四年辛未改革
民費

村ノ成ノ方西山ニ沿フ長一町廿八間馬踏三間堤敷三千十四坪水門一ヶ所水量
定抗無之根堅修繕前ニ同ジ

矢

作堤

村ノ亥ノ方田沢道ニ沿フ長一町十三間馬踏三間堤敷千六百十三坪水門一ヶ
所水量定抗無之根堅修繕前ニ同ジ

芦

田堤

村ノ卯ノ方本郷山ニ沿フ長三町四十八間馬踏三間堤敷八千七百坪水門二ヶ
所水量定抗無之根堅修繕前ニ同ジ

須

摩津堤

村ノ良ノ方本郷山ニ沿フ長一町四十八間馬踏二間堤敷二千四百坪水門一ヶ所
水量定抗無之根堅メ竹水無之修繕ハ従前官費タリシニ明治四年辛未改革民費

横

田堤

村ノ巳ノ方横田道ニ沿フ長一町十五間馬踏一間半堤敷三千六百四十四坪水門

雁金堤

一ヶ所水量定抗無之根堅×修繕前ト同ジ
村ノ巽ノ方山辺道ニ沿フ長一町三十間馬踏一間半堤敷六千六百五十二坪水門一ヶ所水量定抗無之根堅×修繕前ニ同ジ

大村ノ堤

村ノ辰ノ方山辺道ニ沿フ長一町一間馬踏一間二尺堤敷二千七百坪水門一ヶ所水量定抗無之根堅×修繕前ニ同ジ

塩倉堤

村ノ西ノ方養老道ニ沿フ長三町六間馬踏四間堤敷一万三千四百十六坪水門二ヶ所水量定抗無之根堅×修繕前ニ同ジ

神沢堤

村ノ申ノ方神沢道ニ沿フ長一町六間馬踏二間堤敷四千二百二十四坪水門一ヶ所水量定抗無之根堅×修繕前ニ同ジ

大門堤

村ノ西ノ方養老道ニ沿フ長三十六間馬踏六尺堤敷九百七十坪水門一ヶ所水量定抗無之根堅×修繕前ニ同ジ

清水堤

村ノ亥ノ方西山ニ沿フ長二十三間馬踏六尺堤敷三百十二町水門一ヶ所水量定抗無之根堅×修繕前ニ同ジ

鉢入堤

村ノ戌ノ方西山ニ沿フ長十四間馬踏五尺堤敷二百七十九坪水門一ヶ所水量定抗無之根堅×修繕前ニ同ジ

柴入堤

村ノ戌ノ方西山ニ沿フ長十一間馬踏五尺堤敷百八十九坪水門一ヶ所水量定抗無之根堅×修繕前ニ同ジ

雨堤

村ノ辰ノ方三才山道ニ沿フ長二十一間馬踏九尺堤敷千四百八十五坪水門一ヶ所水量定抗無之根堅×竹木無之修繕前ニ同ジ

栗和田堤

村ノ辰ノ方本郷山ニ沿フ長一町四十二間馬踏二間堤敷五千六百坪水門一ヶ所水量定抗無之根堅×修繕前ニ同ジ

力不子ヤ堤

港

堂

村ノ良ノ方本郷山ニ沿フ長十三間馬踏凡尺堤敷四百八十坪水門一ヶ所水量定
抗無之根堅×修繕前ニ同ジ

田堤

村ノ子ノ方伊深山ニ沿フ長一町十五間馬踏三間堤敷千四百四十坪水門一ヶ所水
量定抗無之根堅×修繕前ニ同ジ

安

工入堤

村ノ亥ノ方伊深山ニ沿フ長四十間馬踏二間堤敷千四百四十坪水門一ヶ所水量定
抗無之根堅×修繕前ニ同ジ

安

中堤

村ノ亥ノ方伊深山ニ沿フ長三十間馬踏二間堤敷八百二十五坪水門一ヶ所水量
定抗無之根堅×修繕前ニ同ジ

安

工前堤

村ノ亥ノ方伊深山ニ沿フ長二十間馬踏二間堤敷二百四十七坪水門一ヶ所水量
定抗無之根堅×竹木無之修繕前ニ同ジ

無之

出崎

無之

嶋

無之

暗礁

無之

燈

明臺附燈明船 無之

瀧

白瀧

本村良ノ方三才山耕地ノ山中ニアリ白瀧落ル事二波一ハ一丈三尺幅凡尺激シ
テ復流スル事四丈八尺幅一丈二尺鳥帽子嶽ノ麓ヨリ出ヅ流主別レテ本沢ニ入
ル口ニ酒桶ヶ洩アリ水頭岩石聳ヘ藪草ヲ帶フ水清ク波激シテ紋ヲナス水勢西
ニ向ヒ又凡町五十間歩シテ二間六面ノ岩アリ又二町四十間歩シテ畷水場アリ
両山脚ヲ接シ水口閉門ノ如ク溪流蜿蜒地軸ヲ巡リ正午ト虽モ日影ヲ見ズ左右
ニ巨巖屏立シ景色奇絶下流女鳥羽川トナル

女鳥羽瀧

本村ノ巽ノ方大村耕地ノ東山ニアル女鳥羽瀧ハ女鳥羽山ノ中央ニ源泉ヲ発シ

温泉

稍ク流シテ巖石恰モ燕巢ヲ像ルガ如キ高三丈有餘ノ磐石屏立シタル崖ヲ流シテ瀑布トナル其落ル事二波一八九尺幅二尺磐石ノ中心ヲ撃シテ又下ル事二丈幅二尺水落ル声撃鼓ニ似タリ瀧ノ近傍一等高キ所アリ爰ニテ西南ヲ眺望スレバ最モ奇絶是ヨリ僅カ下リテ狭小ナル平坦アリ此処ニ一小茶店アリ瀧ヲ望ムノ人休憩シ蓋シ催シ醉夢ヲ醸サントスルモ耳ニ入テ忽チ眠ヲ覺シ人氣ヲ活澆ニス実ニ有各ノ瀑布タリ春夏ノ候ニ至レバ觀客頗ル多シ下流一ノ小川トナリ西ニ流レ南ニ折レ雁金塘ニ注ク

犬飼ノ湯

湯質明礬ノ湯ト云フ疝氣切疝血病火傷等ニ適ス湯質數種アリ浴場五十五ヶ所逆旅七十戸人煙頗ル稠密タリシモ寛保二戌年八月大風雨山裂洪水シテ人家三十余軒土砂ノタメニ押出シ一村落ヲナス之ヲ下溪間トイフ蓋シ今ヲ距ル百三十六年此時ヨリ上溪間下溪間ノ二區トナル皆内湯アリ此湯ハ尋常ト異リ臭氣ナク清潔ニシテ飯ヲ炊キ茶ヲ煮ルニ其風味美ニシテ効能又著シ三春遠近ノ旅客浴間宴ヲ催シ花ノ隈月ノ暮戸ノニ絶稱羨美ノ声絶エズ

官舎旧松本藩王戸田光則下屋敷反別七反三畝歩往昔石川玄蕃頭舎ヲ建築其後萬治二年水野出羽守増築スト云フ明治五年戸田氏ヨリ縣へ差出サレ明治七年七月人民拜借

犬飼歌

鳥の子はまたひな、がら立ちていぬかひの見ゆるはすわりなるらん
わしたかの羽風に雪はうちみだれ朝風さむき犬かひのやま
石夫木 光 俊

麻葉野

紅の麻葉野の良に刈る草の束の間も昔忘る茶
石萬葉

石統後撰

夕暮は麻葉の野良の露をから小菅乱れて秋風そ吹く
石新後撰

紅の麻葉の野良におく露の色にいててもほさぬ袖かな

常盤井入道

疎なる人の契は麻葉野に生る小菅のねそのみそなく

右後拾遺

六條内大臣

春風もふりかへりゆく麻葉野にたつ身は小菅色もつれなし

右新拾遺

人丸

我袖はかりにむひめや紅のあき葉の野良にかゝる夕露

右新拾遺

式子内親王

露ふかき麻葉の野良に菅をかる賤が袖むかくは濡れしを

石千載

清輔

麻葉野にたつ身は小菅ねなかつて誰中えにかは我恋はざらん

石新千載

後久家太政大臣

うくひすの谷を立出ておとすればあさまの里にこえはふりさす

石六帖

駿河

君をこひあき葉の原にをはきつむしつのはしみのみふかく思へ

石名歌

俊頼

冷公陵

泉 無之

園 無之

墓

國司塚

村ノ巴ノ方十九町大村耕地ノ田畔ニアリ東西三間南北三間平坦ヨリ一等高ク
塚ヲナセリ宝龜年間信濃國司菅生玉ト云フ人ノ塚ナリト云ヒ傳フ

光仁天皇寶龜三年二月丁卯信濃國司菅生ノ玉從五位上爲中務大輔少納言信濃
守如故任日不詳ト續日本記ニ見エタリ

社

國田神社 郷社

社地東西四十六間南北二十一間一尺面積九百七十二坪本村ノ西ノ方下岡田ニ
アリ保食神ヲ祭ル延喜式神名帳ニアリ明治七年十一月郷社ニ列セラル祭日八
月十五日本村ハ早魆ノ場所ニテ豊熟スル爭稀ナリ故ニ白雉五年五穀守護神ヲ
当社ニ勧請セシ由云ヒ傳フ社中松老樹アリ周一丈二尺長九間椀圍二丈八尺長

十二間最老樹ナリ

大宮社

社地東西二十間三丈南北十六間四尺面積三百三十七坪本村ノ已ノ方大村ニアリ古ヘ信濃國司菅生ノ玉ト云フ人此所ニ居館セラレ逝去ノ後其靈ヲ祭ルト云フ祭日八月二十八日社中礎老樹アリ周一丈八尺長九間ノ大樹ナリ

横田社

社地東西十一間南北二十四間半面積二百六十九坪本村ノ已ノ方横田ニアリ健御名方神ヲ祭ル祭日九月十六日社中礎ノ圍一丈五尺長九間ノ大樹アリ

伊和社

社地東西十二間南北二十一間四尺面積二百六十坪本村ノ辰ノ方惣社ニアリ大物主神ヲ祭ル播磨國姫路ノ伊和社ヲ当所ニ奉遷スト云フ祭日八月一日社中礎大樹圍三丈長十間ノ老樹アリ

御射春宮社

社地東西二十間南北三十間面積六百坪本村卯ノ方溪間ニアリ健御名方神ヲ祭ル旧松本城主代々尊宗ス往古ハ別当神宮寺アリ唐僧圓空住職タリシ時大醫若經書写シテ奉納セシニ世替星移リ散布セリ今尚松本土族某一二部ヲ藏ストイ

御射秋宮社

フ祭日九月七日社中松圍九尺長七間ノ樹アリ
社地東西二十二間南北二十三間面積五百十七坪本村ノ辰ノ方三才山ニアリ健御名方神ヲ祭ル祭日九月七日社中松圍八尺幅七間ノ樹アリ

若宮八幡社

社地東西十間南北六間面積六十坪本村戌ノ方ニアリ大雀命ヲ祭ル祭日九月十五日社中圍九尺長五間ノ松アリ

平野社

社地東西十一間南北十間面積百十坪本村卯ノ方ニアリ今亦神古開神久度神比咩神ヲ祭ル祭日八月十五日社中杉圍五尺長七間ノ樹アリ

八幡宮

社地東西六間南北十間面積六拾坪本村丑ノ方ニアリ大雀命ヲ祭ル祭日九月十六日社中圍一丈二尺長九間ノ樹アリ

湯谷天満宮社

社地東西八間南北七間面積五十六坪本村卯ノ方稻倉ニアリ大己貴命ヲ祭ル祭日九月二十五日社中小松アリ

天神社

社地東西四間南北四間面積十六坪本村西ノ方ニアリ菅原神ヲ祭ル祭日八月二十五日社中小松アリ

水口社

社地東西六間南北七間一尺面積四十三坪本村丑ノ方ニアリ保食神ヲ祭ル祭日七月二十八日社中圃一丈二尺長九間ノ概アリ

住吉社

社地東西十五間南北十五間四尺面積二百三十六坪本村寅ノ方ニアリ底筒男神中筒男神表筒男神ヲ祭ル祭日八月十八日社中圃七尺長六間ノ概アリ

若宮八幡社

社地東西十五間四尺南北二十間面積三百九十坪村ノ戌ノ方ニアリ大雀命ヲ祭ル祭日九月十五日社中圃九尺長五間ノ松アリ

神明宮社

社地東西六間南北七間面積四十二坪本村丑ノ方ニアリ伊勢兩大神ヲ祭ル祭日八月八日社中小松アリ

稻荷社

寺

蟻ノ宮

社地東西六間南北五間面積三拾坪本村辰ノ方ニアリ定迎之魂命ヲ祭ル祭日九月十日八日社中圃五尺長八間ノ樹アリ

社地東西二間南北三間面積六坪村ノ己ノ方ニアリ稻倉魂命ヲ祭ル祭日九月十日祠中へ數萬ノ蟻群集シテ巢ヲ結ハ其形蜂ノ巢ニ似テ祠中ニ滿テ五六十年ニシテ祠遷座スルニ蟻忽チ新祠ニ移リ元ノ如ク巢ヲ結テ之ヲ號シテ蜂ノ宮ト云フ

玄向寺

東西六間南北五間三尺面積三十三坪本村辰ノ方ニアリ増上寺ノ系派永祿四年長譽上人清光和尚開基創建念佛寺ト号ス其後十二世寛永二年西譽上人向嶺和尚号ヲ改メ清光寺ト号ス其後先々領主隼人正水野忠直再興寛文九年六月朝ヲ築キ自ラ朝廷ニ奏シテ増上寺ホトナシ玄向寺ト改号ス

鹿手跡

大願寺 現今岡田学校
慶弘寺 鹿野シテ岡田学校へ増築

學校

公立小学校 六ヶ所

村ノ巽ノ方横田ニアリ横田学校生徒男四十九人女十三人元資金一千円
 村ノ卯ノ方溪間ニアリ溪間学校生徒男五十八人女廿五人元資金二千円
 村ノ亥ノ方岡田ニアリ岡田学校生徒男六十七人女十六人元資金二千七百八十二円
 村ノ西ノ方下岡田ニアリ下岡田学校生徒男六十七人女十三人元資金一千円

神宮寺 現今溪間学校
 念佛寺 現今横田学校
 眞觀寺 焼毀シテ溪間学校へ増築
 去ル成辰御維新ノ際千有余年佛敎ニ眩惑スルノ弊習ヲ掃蕩シ皇國ノ典章ニ
 従事セシム人民モ又狂惑習慣ノ弊害ヲ知り神葬ノ典ニ復シ村内ノ寺ヲ燒棄
 セン事ヲ懇願ス官免許アリ則燒棄ニ至ル方今人民習識ヲ開達擴張スルノ本
 源ハ勉メテ文運ヲ興起スルニアリ故ニ官学校ヲ設立シ智能ヲ開発スルヲ急
 務トシ前頭ノ焼寺ヲ増築シ小学校トナス

村會所

東西六間南北十間本村亥ノ方岡田駅ニアリ藤沢清人宅ヲ以テ仮ニ事務扱所トス

病院

無之

電線

無之

郵便局

本村亥ノ方岡田駅ニアリ所靜江ノ宅ヲ以テ仮ニ郵便取扱所トス

製糸場

本村ノ卯ノ方溪間ニアリ坪数三十三坪一ヶ所

大工場

無之

古跡

赤

沢 貞 庸 城 趾

本村五ノ方ニアリ東西七間南北五間五段形ヲナス

後奈良帝大永二年赤沢但馬守伊那郡松尾城ヨリ移リ其後貞庸マデ数代居住三才山村外五ヶ村ヲ領シテ小笠原氏ノ門葉タリ天文二十三年五月武田晴信當國へ乱入ノ時小笠原長時ニ屬シ桔梗ヶ原へ出陣シ武田氏ト合戦アリ小笠原ノ旗下三村肥後入道同駿河守叛逆シ武田氏ノ軍兵ヲ引キ入レ裏切ス是ガ爲ニ長時敗レテ京師へ落ツ依テ貞庸居城ニ引取り籠城ス晴信ノ大軍ニ争ヒ分レ一ハ刈谷原鷹業根城主太田彌助ヲ攻メ一ハ貞庸ヲ攻ムル争累日遂ニ敗レテ晴信ニ降ル其後佐久郡山田へ移サレ貞庸弟経光民間ニ下ル依テ武田氏ノ持城トナリ柳沢帶刀ト云フ者ニ城ヲ守ラシム後武田氏没落小笠原貞慶深志へ帰城柳沢帶刀民間ニ下ル小笠原氏城郭ヲ毀ツ磧礎趾存セリ今時工ヨ穿ツテハ古城具或ハ武器ノ損ゼルヲ得ル事アリ赤沢氏家系ハ清和源氏新羅三郎義光ノ主彈正少弼小笠原貞経ヨリ分派スト云フ

此度赤澤一跡願
之ヲ捕出ホシ入

此度赤澤一跡願
之ヲ捕出ホシ入

子ハ千ノ誤カ
庚子百六拾五

柳澤帶刀とあり
門は...

右当時本村平民柳沢傳次郎藏ス

早 落ノ城 趾

本村ノ寅ノ方ニアリ東西九間南北 間回字形ヲナス赤沢氏ノ出凡タリ部下林小太郎ト云フ者ニ之ヲ守ラシム天文二十二年武田晴信ノ大軍赤沢貞庸ヲ攻撃スルノ日押寄戦ヒシカ暫時ニ敗レテ落去ス依テ早落シノ名ヲ負フト云フ

茶 臼 山 城 趾

横谷城跡

本村ノ卯ノ方ニアリ東西八間南北十間赤沢氏ノ持城タリ旗下姥貝左衛門トイ
フ者ニ之ヲ守ラシム武田氏ノ大軍乱入屢々貞庸ヲ攻ム左衛門出丸ヲ堅固ニ守
リシニ貞庸軍敗レシヲ聞キ豊郭ヲ捨テ落去ス依テ申軍破毀スト云フ

後藤大内藏ノ城跡

本村辰ノ方ニアリ東西六間南北八間凸字形ヲナス赤沢氏ノ持城タリ部下ノ將
ニ之ヲ守ラシム天文二十二年申軍ノ為メニ敗ラレ落城破毀ストイフ
村ノ亥ノ方ニアリ東西二十間南北二十五間回字形ヲナセリ小笠原氏幕下後藤
大内藏之ニ在城ス天文二十二年武田晴信ノ臣赤倉丹後急ニ之ヲ攻ム後藤氏主
公長時ニ援兵ヲ乞フト虽モ到ラズ遂ニ破レテ脱去セリ武田ノ持城トナリ部下
臣小宮山藏部ト云フモノニ之ヲ守ラシム武田氏没落ノ後眞田昌幸ニ屬シ上田
へ入城セリ其後小笠原氏城ヲ毀ツ積礎尚存セリ

太輔原

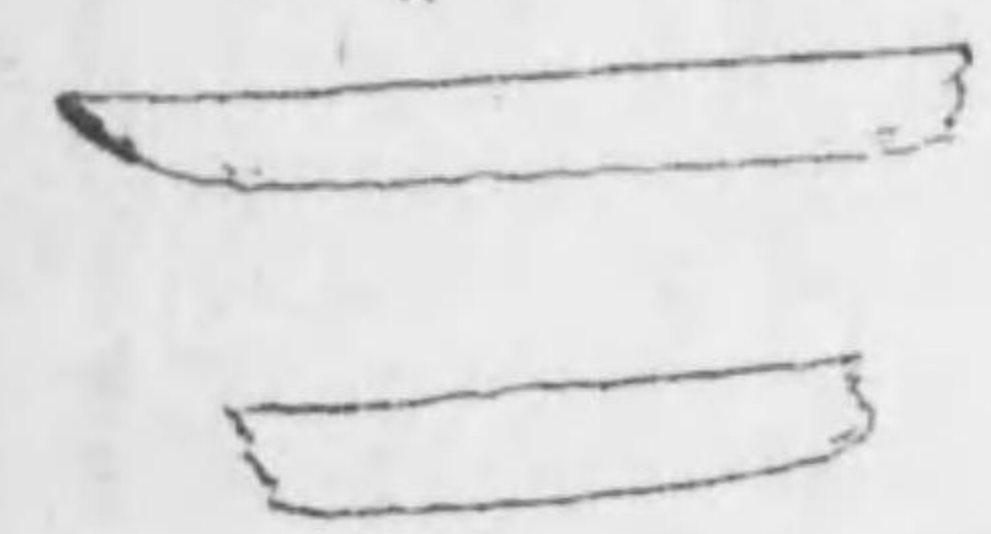
本村ノ巳ノ方ニアリ東西十一間南北十二間大ニ荒蕪ヲナセリ古ヘ信濃國司從
五位上中勢大輔菅生玉ト云フ人此所ニ居館セラレシトイフ寛文年間迄ハ曠ル
曠原タリシモ年経テ開墾田畑トナリ名ノミ存セリ近傍地ヲ穿ツモノハ武器ノ

大屋敷

本村ノ巳ノ方ニアリ東西十五間南北二十間古ヘ此所ニ官從ノ人居館セラレシ
ト云フ國司塚ト其間僅カニ三町寛文年間マデハ曠原タリシモ年経テ開墾セシ
ニ近傍地ヲ穿ツモノハ鎗矢ノ根武具ノ存セルヲ得ルト里老云ヒ傳フ既ニ明治
六年本村ノ農赤沢小膳ナルモノ大屋敷ノ地ヲ穿ツテ曲玉太刀折レ矢ノ根陶器
等ヲ得タリ 其函丘ニ

曲玉・管玉・太刀折之函
矢ノ根・陶器・壺・環

太舟ニシテ反リ
ナシ丈三尺位ノ
モノアリ大概
クナ折レテ全
備セズ綴合ハス
レバ四五本分



青白玉



馬頭



銀環

太クシ
テ丸シ



減金環



細クシテ
ウスシ

水晶



壺陶器
少シク平タシ
德利ノ如ク底
ハ底ヲナサズ却
ンテ底ヲ辺側
ニテス取ニ之ヲ地ニ
安ズレバ其口噴横ニ
向フ内底ニシテ安座
スベカラズ



素焼ニシテ白ノ
如ク色瓦ニ似タ
リ



天ノ根



樂口 当代ノ具ニ比スレバ
大ナリ

五位ヶ窪

東西二十間南北三十間大ニ荒蕪ヲナセリ古ヘ岡田ノ冠者ト云フ人後ニ居館セ
ラレシト里老言ヒ傳フ

麻葉野

松本出口ヨリ本村下淺間ノ辺ヲ云ヘル由古ヘハ原野タリシヲ漸ニ開墾シテ今
ハ田圃トナレリ古歌アリ淺間温泉ノ下ニ附ス

名勝

西山

本村成ノ方ニアリ山ノ嶺平坦ニシテ美松數十株アリ淺間ノ小祠ヲ祭ル西南ノ

妙義山

眺望最モ奇絶西ヲ望メバ安曇ノ半郡平直ニシテ所謂沃野千里ノ如シ奈良井川
ハ申ヨリ赤リ亥ニ流レ月滿ツレバ銀蛇ノ踊ルニ似タリ南ハ南北深志ノ両市及
ビ數十ノ村落寸眸ニ集ル里俗一説富工兎森ト云フ秋月觀月ノ家多ク実ニ眺望
ノ勝地ナリ

芭野水

本村ノ辰ノ方ニアリ嶺ニ松數株アリ妙義小祠ヲ祭ル麓ニ櫻亦數株アリ白糸温
泉ノ道アリ是ヨリ距ル事十四町場原ヲ云フナリ西南ノ望奇絶犬飼ノ温泉ノ邊
ヲ今ノ淺間北方ニ當リ其間僅四町家屋頗ル連列セリ春秋浴客多ク此山ニ遊
ブ実ニ佳景ノ地ナリ

栗和池

本村ノ寅ノ方ニアリ初夏ヨリ十月迄池中ニ繁茂ス其葉蓮ニ似テ小ナリ里人隊

塩水

テ之ヲ食フニ其味美ナリ此藻塘ヲ築置シテ一千年ヲ経ザレバ不生トイフ
本村巳ノ方雁金塘ノ北ニ湧出ス温フシテ寒暖替ル事ナシ水鹹氣アリ里人奇水ト云フ

烏帽子巖

高二十丈本村寅ノ方三才山耕地山中ノ嶺巔ニアリ象縹紳ノ装束シテ座スルニ似タリ故ニ烏帽子ノ号アリ三才山ヨリ峻山巖峩ヲ経テ登ル事一里六町余ニシテ到ル丘ヲ地獄谷ト云フ嵩山斜ナル所ニ烏帽子巖アリ上烏帽子ニ似テ左右ノ裾アリ下座スルカ如ク天造自然ノ奇象ナリ嵩面少シク窪ミタル所ニ赤色ノ苔アリ土人ノ之ヲ赤ナリト云フ往昔人ノ之ヲ取ラント欲シホヲ伐リ足代ヲ架ス一夜ニシテ地獄谷ヘ壓倒ス度ジテ岩トナリ方面尺許ノ立岩筆ノ如ク競ヒ並リ突ニ有名ノ佳巖ナリ是ヲ伐木岩ト云フ

屏風巖

高十五丈幅十八丈本村寅ノ方稲倉耕地東山ノ中腹ニアリ登ル事二里二十五町ニシテ屏風巖ニ至ル一屏屹立セル形象ナリ巖上數種ノ雜木ヲ生シ小祠ヲ齋ク嵩面呀然タル所蘚苔ヲ被リ猿猿千丈瘦枝ヨリ下ル又窪然タル所ニ芝茸アリ芝

商人石

蘭アリ生シテ画クか如シ罕年ニハ里民峻ヲ侵シテ登山雨ヲ乞フ感應必セリトイフ巖形屏風ニ似タルヲ以テ此号アリ
村ノ子ノ方ニアリ警坂峠ヲ登ル事拾町ニシテ山ノ懷ニ萬万ノ小石拾モ山ノ如ク嵩積セリ此石物價ヲ能ク知レリト云フ物價低直ナル時ハ忽チ石破壊シテ少ク川ヲナシ磯トナリ下ル事二町余シテ北國往還ヘ突出シ大ニ道ヲ塞ム事アリ又物價騰貴スル時ハ降流セシ石自然下ヨリ上ヘ昇リテ山ヲナス事元ノ如シ之ヲ商人石ト云フ

物産

玉藍筒中ノ上出赤高三百八十五駄長野縣下山梨縣下へ輸出ス
製造物蚕種質美出赤高三百五十五板三丹州及ビ東京横浜へ輸出ス
生糸質美出赤高七十二貫目東京横浜及ビ熊合縣下へ輸送ス

民業

男ハ悉皆農ヲ業トス一千二百四十九戸

女農ヲ業トスルモノ一千五十戸兼業登或ハ爪綿絞ヲ拈ルモノ百六十戸

風 俗

質朴ニシテ嫁遣ヲカメ飲饌儉ニシテ服ヲ飾ラズ農間ハ襪襪ノ羽布ヲ着テ朝ニ霜ヲ踏ミ夕ニハ露ヲ浸シ薪ヲ樵リ市中ニ鬻ク男子ハ半髪中ニ就キ壯年ノモノ頗ル大鬚ナリシモ時至リテ半バハ断髪トナリ愚蒙ノ風習モ方今学爭盛ナレバ漸ニ開化ニ進マントスル勢ナリ

前書通取調上申仕候 以上

昭治九年六月

戸長 赤羽 忠九郎 ○

副戸長 山崎 集也 ○

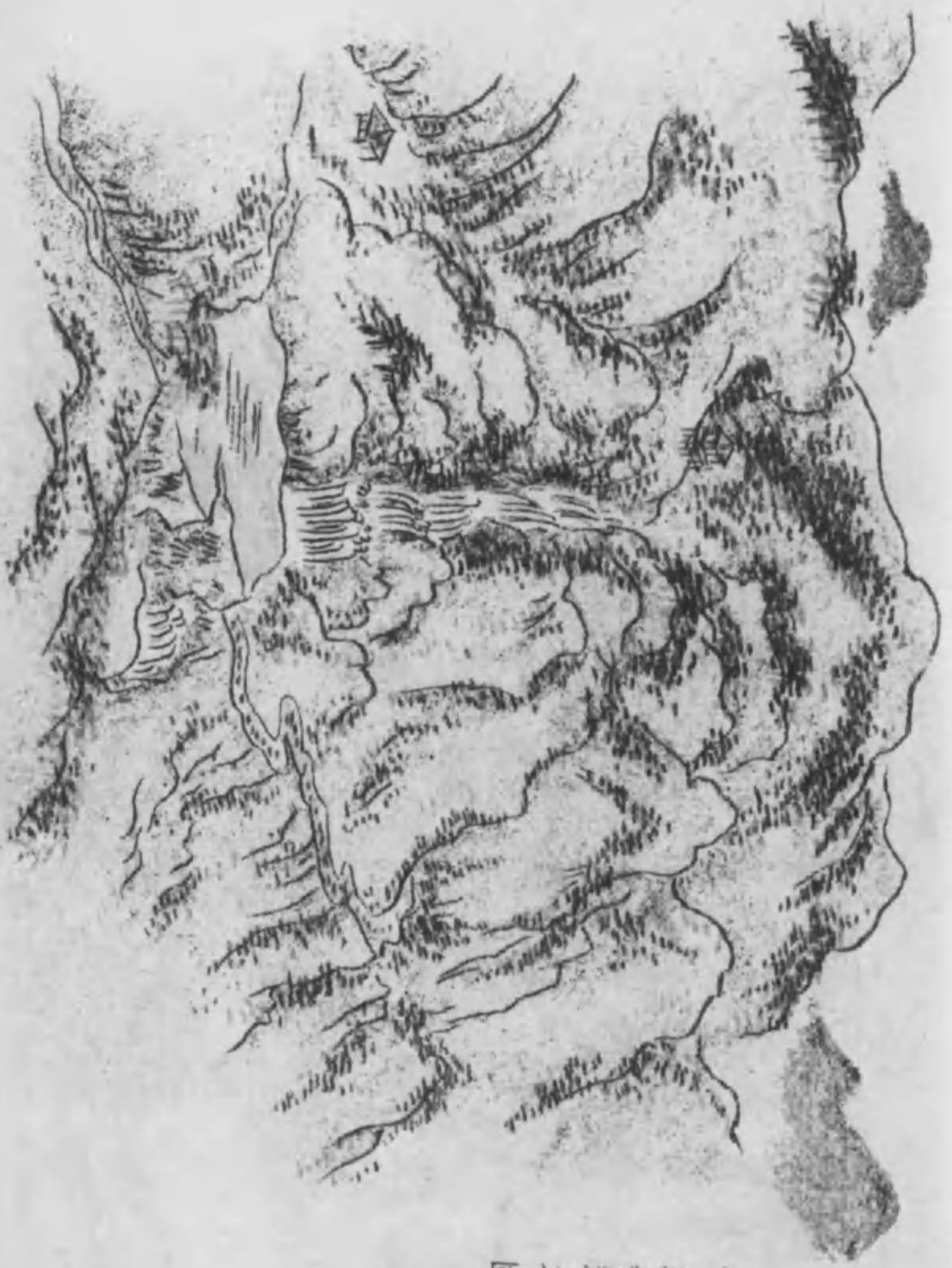
筑摩郡参事 高木 惟矩 殿



築摩郡風俗圖



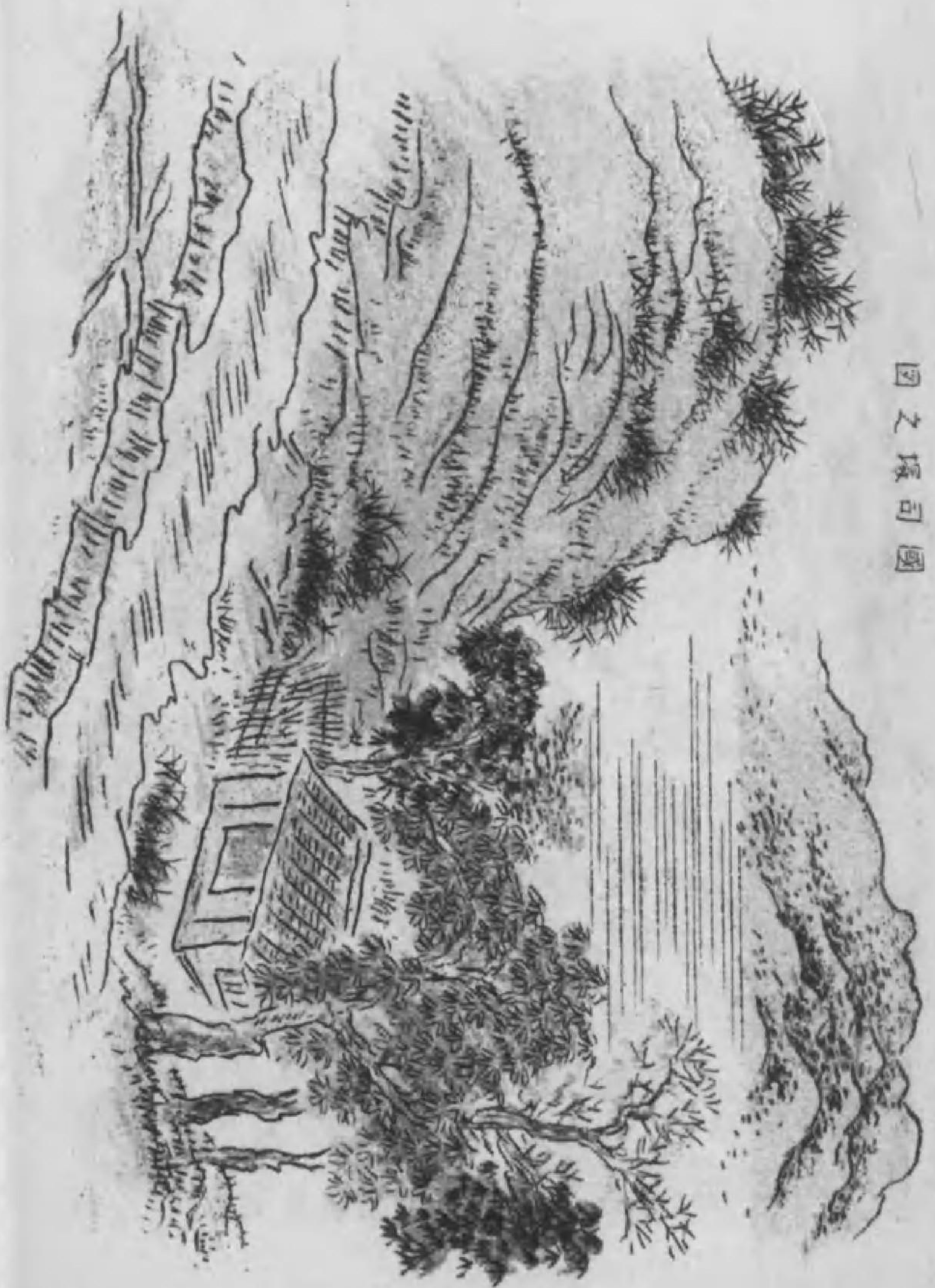
白藏之圖



圖之鳥羽

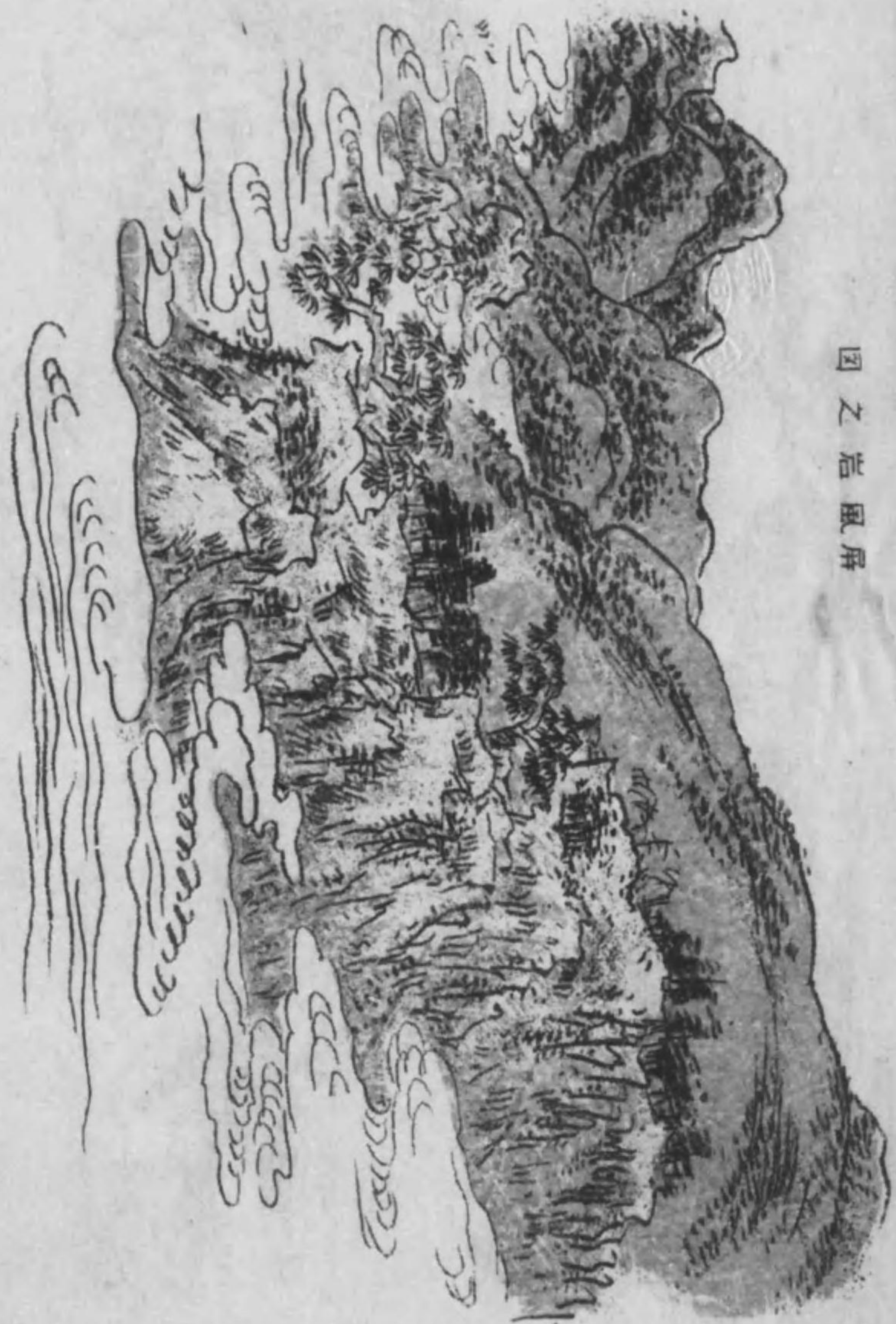


鳥唱子燕之圖



國司塚之圖

刈谷原村



圖之岩風屏

刈谷原村

本村ハ元刈谷原町反町板場取出穴澤保福寺町殿野入金山町赤怒田七嵐ノ十ヶ村タ
リ明治八年合併シテ本村ノ稱ニ改ム古時錦部ノ郷名アリト雖モ其所管ノ本村ニ止
マルヤ或ハ其他村ニ亘レルヤ之ヲ詳ニスル能ハガルナリ古時刈谷原町三ヶ村ヲ七嵐
ヲ保福寺町ヨリ殿野入金山町ノニケ
村ヲ分ツト云フ共ニ年月詳カナラズ

疆域

東ハ東窓一平水ノ山嶺ヲ以テ小縣郡西内村ニ境シ丸岩ノ山頂ヲ以テ同郡奈良本村
ニ境シ花水一本水及傘ノ諸嶺ヲ以テ筑摩郡中川村ニ接ス西錫沢口太尾山嶺ヲ以テ
同郡會田村ニ界シ太尾山ヨリ正南鈴ヶ尾太平ノ山嶺ヲ經鷲山ノ山頂ニ至リ又太尾
ヨリ正西字鋤河原ニ至リ地勢三角狀ヲナシ本村同郡上川手村ノ入會地トシ内ニ字
高萩ト稱スルアリ本村ニ屬シ家屋纒ニ八戸ヲ構フ南方亦小縣西内村ト近平六人坊
ノ山頂ニ依テ域トシ戸谷峯龜割坂ヲ以テ筑摩郡岡本村ニ隣ス其北方四阿屋嶮山及
五郎次沢兜石ヲ以テ又中川村ニ接シ唐沢摺臼岩瘠畝ノ地ヲ以テ又會田村ニ隣ス

幅員

東西三里十九町四十間南北一里十二町五十八間面積実測不分明

管轄沿革

文龜二壬戌年小笠原長政ノ弟信益齋播磨城ニ居リ之ヲ領ス後大永三癸未年太田資忠鷹兼根ノ城主トナリ兼テ荒神尾播磨ノ城ヲ守リ以テ東西十六ヶ村ヲ領ス其村名ノ如キ尽ク之ヲ詳ニスル能ハズ金口碑ニ云フ十六ヶ村即今刈谷原ニ巖赤野ノ吉野上平野下平野等村以テ二七耕地所謂十六ヶ村ニテ後ヲ別レテ二十七八ノ故レ田好ヲ修スルナリト云フ信府統記亦此ノ意ニ天文二十二壬午ヨリ武田信玄ノ臣日向大和守工藤源左衛門内藤修理等三人松本城ニ居テ之ヲ領ス天正十午年小笠原貞慶之ニ代ル同十八年貞慶飯田ニ移ル石川充長三州ヨリ来リ又之ニ代ル慶長十八年石川充好罪ヲ獲テ八丈島ヘ流サレ同小笠原秀政移リテ之ヲ領ス元和元年五月六日秀政大坂ノ役ニ死ス其子忠貞同三年ヲ以テ播州明石ニ移ル同年松平康長上州高崎ヨリ来リ之ニ代ル同康直寛永十癸酉年ヲ以テ播州明石ニ移ル同年松平直政越前大野ヨリ来リ寛永十五戌寅年雲州松江ニ移ル同年堀田正盛武州川越ヨリ来リ同十九壬午年下総佐倉ニ移ル同年七月水野忠清参州吉田ヨリ来リ代テ之ヲ領ス同忠

里

職忠宜忠周忠幹子孫相繼ギ以テ忠桓ニ至リ政有テ江戸ニ居腹又時ニ享保十年正月二十八日ナリ尔後徳川氏ノ代官大草太郎左衛門松平九郎左衛門ノ支配スル所トナル同十一年松平光慈志州鳥羽ヨリ来リ之ヲ領ス以上ニ科寛保三癸亥年徳川氏松本城主松平光雄ニ命シ之ヲ預管セシム尔来世襲光徳光和光拂光行光年光齋ヲ經テ光則ノ代ニ至リ明治元年戊辰三月ヨリ尾州取締所々管トナル其明年伊那縣ニ屬シ全國三府七十二縣ヲ置カルルニ及ビテ始メテ筑摩縣ニ屬ス実ニ明治五年壬申一月ナリ

金山町殿野入赤怒田反町ノ四耕地ハ寛保三亥年ヨリ正徳六年マデ御金山科トナリシ事アリ

経

筑摩縣廳ヨリ北ノ方二里二十九町五十八間北方會田村ヘ一里八町五十八間東長野縣下西内村ヘ四里二十五町南岡本村ヘ一里十九町二十五間西上川手村ヘ一里十九町

地勢

東西南ノ三面ハ山嶽屏立ス即チ保福寺峠鷹兼峯仇坂峠等ノ峯巒ヲ負ヒ北ノ一方僅

ニ保福寺川ノ流ヲ帶フ全村山多キヲ以テ新炭雜材ニ乏シカラザレ共又隨テ運輸ノ不利ナルヲ免レズ且ツ中間ノ地勢稍々平坦ナリト雖モ要スルニ山間ノ僻地亦各所自ラ高低ナキ能ハズ

氣候

村ノ西北ハ地勢稍々低シ極暑寒暖計凡九十三四度極寒凡十八九度東南ハ積々高シ極暑寒暖計凡八十七八度極寒凡十七八度

風俗

淳朴古ヲ存シ總テ堅実ヲ執ル且家産ノ如キ貧者七八分ニシテ富者二三分ニ過ギズ

地味

赤色燒燐ノ膏土ニシテ縮ニ宜シカラズ深蕪菘ニ適ス一般ノ水利ハ便ナリト雖モ亦其地ニヨリテ間々旱ニ苦ム所アリ

稅地

田百三十九町九反六畝九步
畑二百七十町七反五畝九步
宅地四十一町九反三畝二十一歩
山林千八百七町八反二畝二分
原四町四反六畝二十歩
總計二千二百六十四町九反三畝二十一歩

飛地

無シ

高萩 村ノ西ノ方ニアリ東西二百間南北二百五十間○方位ハ總テ村ノ極所ヨリ指ス以下之ニ倣フ

仇坂 村ノ午ノ方ニアリ東西二十間南北四十間

天室 卯ノ方ニアリ東西七十間南北二十間

大門 子ノ方ニアリ東西二十間南北百八十間

中央 卯ノ方ニアリ東西百八十五間南北南北三百一間

新切 辰ノ方ニアリ東西六十一間南北八十九間

上ノ平	卯ノ方ニアリ東西百十八間南北百二十一間
仁川	卯ノ方ニアリ東西百五十二間南北百七十間
中水戸	卯ノ方ニアリ東西二百二十間南北八十四間
上平	卯ノ方ニアリ東西二百二間南北百二十三間
上小瀬	卯ノ方ニアリ東西三百八十間南北百五間
下小瀬	卯ノ方ニアリ東西百三十間南北百二十五間
中小瀬	卯ノ方ニアリ東西九十三間南北百二十間
上赤怒田	卯ノ方ニアリ東西五十六間南北百八十間
花見	卯ノ方ニアリ東西百六十三間南北百三十五間
田中	卯ノ方ニアリ東西四百五十四間南北百八十間
宮ノ入	卯ノ方ニアリ東西八十五間南北百八十間
三ツ屋	卯ノ方ニアリ東西百六間南北四十間
川原	卯ノ方ニアリ東西四百十八間南北三十五間
日影	卯ノ方ニアリ東西三百四十三間南北百三十五間
向町	卯ノ方ニアリ東西七十六間南北百五十五間
町	卯ノ方ニアリ東西九十間南北八十間

眺望巖モ奇絶

中原	卯ノ方ニアリ東西百七十一間南北百四十間
二ツ梭	卯ノ方ニアリ東西四百五十間南北九十六間
日影	卯ノ方ニアリ東西三百九十一間南北百八間
押ヶ沢	卯ノ方ニアリ東西六十七間南北二百八十五間
天王河原	卯ノ方ニアリ東西四十一間南北四十五間
月沢	卯ノ方ニアリ東西百間南北二百五十間
大野田	卯ノ方ニアリ東西百二十五間南北五百二十五間
御堂入	寅ノ方ニアリ東西五十間南北四十間
日影崎	寅ノ方ニアリ東西七十間南北四十間
古胡桃	寅ノ方ニアリ東西百五十間南北七十間
竹ノ地	寅ノ方ニアリ東西六十五間南北四十間
中水戸	寅ノ方ニアリ東西百七十間南北六十八間
石原	寅ノ方ニアリ東西五十八間南北六十間
中村	寅ノ方ニアリ東西五十間南北九十六間
下水戸	寅ノ方ニアリ東西四十五間南北九十三間
堂満原	丑ノ方ニアリ東西百十二間南北百九十九間

又端 丑ノ方ニアリ東西五十間南北百八十間
 二夕股 丑ノ方ニアリ東西五十九間南北九十六間
 下木戸 丑ノ方ニアリ東西百二十七間南北三百九十間
 上木戸 丑ノ方ニアリ東西九十間南北百八十六間
 鍛若屋任家 丑ノ方ニアリ東西八十一間南北二百三間
 石橋 丑ノ方ニアリ東西八十六間南北七十間
 沢谷 子ノ方ニアリ東西三百五十間南北百八十間
 一里塚 子ノ方ニアリ東西三百九十五間南北二百二十八間
 中木戸 子ノ方ニアリ東西二百七十間南北二百九十五間
 中原 子ノ方ニアリ東西三百二十間南北百六十間
 下原 子ノ方ニアリ東西三百十三間南北百五十五間
 西山 亥ノ方ニアリ東西百九十七間南北百二十七間
 松原 子ノ方ニアリ東西百九十二間南北七十五間
 堤堂 子ノ方ニアリ東西六十間南北百間
 矢満田 子ノ方ニアリ東西百六十間南北百二十間
 原 子ノ方ニアリ東西八十間南北八十六間

中村 子ノ方ニアリ東西百二十間南北二百二十間
 船尾 子ノ方ニアリ東西九十間南北百四十間
 向原 子ノ方ニアリ東西六十間南北五十間
 寺屋敷 子ノ方ニアリ東西六十間南北百五十間
 青木 丑ノ方ニアリ東西四十間南北百十間

貢組

地租金五千二百六十五円三十錢一厘
 旧貢米八百五十九石八升五合三勺

戸数

本籍六百九十一戸平民 社五十戸村社十座 小社四十座 寺四戸真言宗二字淨土宗 一字禪宗一字
 總計七百四十五戸 寄留一戸ヨナス者ナシ

人数

男一千六百五十六口平民 女一千六百三十口平民 總計三千二百五十九口

他出奇留三十一人男十三人 入奇留十一人男五人平民

馬 牝牛十頭 牝馬二百二十八頭

車 無シ

牛 舟 山

戸谷峯 村ノ南方ニアリ嶺上ヨリ二分シテ南ハ岡本村ニ屬シ北ハ本村ニ屬ス其
山脉東ハ六人坊峯ニ連リ西ハ龜割坂峠龜割坂峠ニ連ル樹木多クシテ登路一條本村保
福寺駅ノ東端ヨリ南ニ折レ字押ヶ沢ノ入口ヨリ上ル高二里二十町其間概ネ皆峻岨
ナリ一條ノ溪水アリ山ノ中央ヨリ発シ石間ノ細流一里ニシテ保福寺川ニ入ル
六人坊峯 村ノ東南隅ニアリ峰頭ヨリ三分シテ東ハ小縣郡西内村ニ屬シ南ハ
岡本村ニ屬シ西北ハ本村ニ屬ス山脉東筈平岳ニ連リ西ハ小谷峯ニ接ス満山樹木鬱
蒼トシテ一條ノ登路其間ニ通シ峻岨ニシテ字月沢ノ入口ヨリエル高二里二十八
町溪水一條山ノ中央ヨリ出テ石間ノ小流一里十四町ニシテ亦保福寺川ニ入ル
筈平岳 村ノ東方ニアリ岳頂ヲ界トシ東南ハ小縣郡西内村ニ屬シ西北ハ本村ニ
屬ス山脉東北隅ハ東窓ニ到リ西南隅ハ六人坊ニ連ル樹木鬱蒼登路一條亦月沢ヨリ

上ル高一里二十八町五條ノ溪水石間ヲ環流シ各保福寺川ニ會ス

丸岩峰 村ノ東方ニアリ峯頭ヨリ二分シテ東ハ小縣郡奈良本村ニ屬シ西ハ本村

ニ屬ス山脉南ハ一平水ニ連リ西北隅ハ花水一本水ニ達ス樹木疎ナリ一條ノ登路ア

リ字久手地ヨリエル高一里二十町溪水一條屈曲環流シ保福寺川ノ上流ニ入ル

花水峰 村ノ東方ニアリ嶺上ヲ界トシ東北ハ小縣郡奈良本村ニ屬シ西南ハ本村

ニ屬ス山脉東南隅ハ丸岩峯ニ接シ西北隅ハ傘山ニ連ル樹木生セス登路一條アリ字

大野田ヨリ登ル高二里十四町一條ノ溪水曲流シテ保福寺川ニ入ル

傘山 村ノ東北隅ニアリ山嶺ヲ界トシ東北ハ中川村ニ屬シ西南ハ本村ニ屬ス山

脉東南隅ハ花水峯ニ連リ西北隅ハ四阿屋ニ亘ル樹木生セス一條ノ登路アリ字行人

平ヨリエル高二里十三町三町三間一條ノ溪水石間ヲ環流シ亦保福寺川ニ入ル

仇坂峠 村ノ南方ニアリ嶺頂ヨリ二分シテ南ハ岡本村ニ屬シ北ハ本村ニ屬ス其

山脉東西ニ綿亘シ東ハ龜割峠ニ亘リ戸谷峯ニ連リ西ハ上川手村仁場ノ城ニ連ル樹

木生セス登路一條本村ヨリ南向シテ登リ高十八町下リテ岡田駅ニ達ス二等道路北

ス溪水一條石間ヲ流下シ刈谷原駅ヲ歴本村用水ニ供シ余水保福寺川ニ入ル西街道北

龜割坂峠 村ノ南方ニアリ嶺上ヨリ二分シ南ハ岡本村ニ屬シ北ハ則本村ニ屬

ス山脉東戸谷峯ニ連リ西ハ仇坂ヲ經テ亦仁場ノ城ニ連ル樹木生セス登路一條本村

川

七嶽耕地ヨリ登リ高二十三町三十九間本南ニ下リ岡田駅ニ達ス東京漢流一條石間
ヲ北下シ七嶽耕地ヲ經用水ニ供シ余流保福寺川ニ入ル
保福寺峠 本村東方ニアリ嶺頭ヨリ二分シ東ハ小縣郡西内村ニ属シ西ハ則チ
本村ニ属ス其山脉西南戸谷峯ニ連リ北凡峯峯ニ亘ル樹木鬱鬱登路一條本村保福寺
駅ヨリ登リ高一里十九町三十四間東ニ降り浦野駅ニ達ス東京漢水一條即チ保福寺
川ノ水源ナリ其廣二間ニ充タズ其深五寸ニ過ギズ石間ヲ激流シ大沢月沢久傳地ノ
諸水ト會シテ保福寺川トナル
以上ノ諸山皆一帯ノ山脉中ニ在テ其高周圍固ヨリ得テ知ル可カラズ且從前ノ稱
スル所アルニ非ズ故ニ姑ク之ヲ又ク

保福寺川 無等川ニシテ深處一尺淺處五寸廣キ所ハ八間ニ及ビ狹キ所ハ六間
ニ過ギズ急流ニシテ清ク堤防數所アリ源ヲ保福寺耕地戸谷峯六人坊笹花水傘等
ノ諸山ニ発シ久傳地大沢月沢押ヶ沢ノ諸溪水トナリ保福寺駅ニ會シ西ニ流レ更ニ
金山町耕地ノ西平川谷原町耕地ノ地蔵清水穴沢耕地ノ溝入ヨリ出ル諸水ヲ併セ環
流北ニ赴キ會田川ニ爲ル其間一里三十二町三間ナリ末流東川寺村ニ到テ遂ニ犀川

注ク

二沢橋 北國西街道ニ屬ス仇坂嶺麓ノ溪流ニ架ス水製ニシテ長二間二尺幅七尺
町頭橋 亦北國西街道ニ屬ス架シテ村ノ南方地蔵清水ノ流ニアリ亦水製ニシテ
長五間幅八尺
細足橋 亦北國西街道ニ屬ス字町下ニアリ長二間二尺幅七尺五寸
胡桃沢橋 亦北國西街道ニ屬ス村ノ北方字胡桃沢ニ架ス長三間幅七尺
鍛冶屋在家庭橋 北國西街道ニ屬ス村ノ北方保福寺川ノ下流ニアリ亦水製ニ
シテ長六間幅九尺
青爪橋 地蔵峠越エ上田道ニ架シ村ノ北方保福寺川ノ下流ニアリ亦水製ニシテ
長七間幅六尺
藤水橋 保福寺通東京道ニ屬ス村ノ東方保福寺川ノ上流ニ架ス水製ニシテ長七
間幅七尺
境橋 保福寺通東京道ニ屬ス架シテ保福寺川ノ上流ニアリ亦水製ニシテ長八間
幅九尺
大橋 亦保福寺通東京道ニ屬シ保福寺川ニ架ス亦水製ニシテ長五間幅六尺
上溝 本村字押ヶ沢ヨリ起リ字田中ニ到リ保福寺川ニ入ル長二町五十八間幅五

尺田十八町八反四畝十二歩ノ雨水ニ供ス
大溝 本村字町裏ニ発シ字小瀬ニ到テ亦保福寺川ニ入ル長四町幅三尺田一町九
反二畝十四歩ノ用水ニ供ス
兜溝 本村字小瀬河原ニ起リ松原沖ニ到テ田中溝ニ入ル長九町幅五尺田十六町
六反七畝歩ノ用水ニ供ス
樋詰溝 本村字樋詰ヨリ発シ字鳩沢ニ到ル其間二十五町三十六間四尺其幅五尺
ニシテ田二十六町五反二畝二十九歩ノ用水ニ供シ余水穴沢川ニ入ル
若名溝 本村字中原ヨリ起リ字小板ニ達ス其間二十四町十三間ニシテ兜溝ニ入
ル其幅三尺ナリ田一町一反五畝二十五歩ノ用水ト爲ス
田中溝 本村字上手河原ニ発シ沢屋ニ到リ上溝ニ注ク長九町十間幅五尺田三町
六反六畝五歩ノ用水ニ供ス
上溝 本村字胡桃沢口ヨリ起リ中水戸ニ至リ和田溝ニ合ス長十七町幅五尺田七
町一反七畝十八歩ノ用水ニ備フ
和田溝 本村字青水河原ニ発シ麻呂沢ニ到テ保福寺川ニ入ル長五町二十五間幅
四尺田十町四反一畝十五歩ノ用水ニ當ツ

森 林

竹ノ地林 官有ニ屬ス東西二十七間南北十八間余反別一反六畝二十六歩村ノ東
ノ方二十七町ニ在リ松樹多シ田二尺ヨリ七尺近長三間ヨリ十間ニ至ル
鷹巢峯林 民有ニ屬ス長三十二町三十一間余廣五十間反別三十二町五反九畝
村ノ西方ニアリ松樹多シ田凡七尺長之ニ伴フ
高萩林 民有ニ屬ス長六町十二間余廣二十五間反別三町一反六畝村ノ西方ニア
リ雑木ナリ
秋葉山林 民有ニ屬ス長二十一町三十七間余廣二十八間反別十二町一反一畝
七歩村ノ南方ニアリ雑木多シ
入洞林 民有ニ屬ス長四十四町四十七間余廣三十間反別二十六町八反八畝七歩
村ノ東方ニアリ雑木ヨ生ス
天室林 民有ニ屬ス長十五町四十三間余廣二十間反別六町二反八畝二十二歩村
ノ東方ニアリ雑木ナリ
向山林 民有ニ屬ス長二十七町三十一間余廣二十八間反別十五町四反一畝二十
歩村ノ東北隅ニアリ松樹多シ田凡七尺長之ニ伴フ

日影山林 民有ニ屬ス長二町三十七間余廣二十八間反別一町四反七畝六步村ノ東方ニアリ松樹多シ圃八寸ヨリ二尺ニ至ル長之二伴フ
慈眼寺山林 民有ニ屬ス長三町三間余廣五十間反別三町五畝十八步村ノ東方ニ在リ松樹多シ圃一尺ヨリ五尺迄長之二伴フ
白張山林 民有ニ屬ス長七町四間余廣三十二間反別四町五反三畝二十七步村ノ東方ニアリ松樹多シ圃凡五尺長之二伴フ
大金山林 民有ニ屬ス長二町三十八間余廣四十八間反別二町五反三畝二十七步村ノ東方ニアリ松樹多シ圃凡六尺長之二伴フ
棚嵐山林 民有ニ屬ス長凡九町三十五間余廣四十五間反別八町六反三畝六步村ノ東方ニアリ松樹多シ圃凡六尺長之二伴フ
城山林 民有ニ屬ス長十町五十八間余廣四十八間反別十町五反三畝二十四步村ノ東方ニアリ松樹多シ圃凡六尺長之二伴フ
中林 民有ニ屬ス長六町四十間廣十間反別一町三反三畝十步村ノ東方ニアリ松樹アリ其圃一尺ヨリ二尺ニ至ル長之二伴フ
山ノ神林 民有ニ屬ス長十町四間半廣十間反別二反一畝十五步村ノ東方ニ在リ松樹アリ圃一尺ヨリ二尺ニ至ル長之二伴フ

欠

欠

山神林 民有ニ屬ス長一町四十間廣十八間余反別六反一畝二十步村ノ東方ニア
リ大樹ナシ
人形岩林 民有ニ屬ス長二町三十間廣二十四間余反別一町二反三畝十步村ノ
東方ニアリ松樹多シ圍一尺ヨリ六尺ニ至ル長之二伴フ
小屋ノ入林 民有ニ屬ス長二町廣一町二十九間余反別三町五反八畝十步村ノ東
方ニアリ松樹多シ圍一尺ヨリ六尺ニ至ル長之二伴フ
大野田林 民有ニ屬ス長二町五十間廣二町三十一間余反別五町四反一畝二十
步村ノ東方ニアリ大樹ナシ
女郎岩林 民有ニ屬ス長二町三十間廣七間余反別三反七畝十五步村ノ東方ニ
在リ松樹多シ圍二尺ヨリ一丈一尺ニ至ル長之二伴フ
西洞林 民有ニ屬ス長一町四十間廣十間反別三反三畝十步村ノ東方ニ在リ松樹
多シ圍一尺ヨリ五尺ニ至ル長之二伴フ
穴沢林 民有ニ屬ス長一町五十間廣一町余反別二町二反三畝十步村ノ東方ニ在
リ松樹多シ圍二尺ヨリ一丈ニ至ル長之二伴フ
日向林 民有ニ屬ス長二町廣十間反別四反步村ノ東方ニ在リ大樹ナシ
佛沢林 民有ニ屬ス長二町廣二十間反別八反步村ノ東方ニアリ大樹ナシ

桒水沢林 民有二属ス長一町十九間余廣五間反別一反三畝九步村ノ北方ニアリ大樹ナシ

向山林 民有二属ス長十五町四十九間余廣二十五間反別七町九反一畝十二步村ノ北方ニアリ大樹ナシ

萩窪林 民有二属ス長三町五十四間余廣九間反別八反三畝二十一歩村ノ北方ニ任リ大樹ナシ

御堂入林 民有二属ス長十九間半廣十六間反別一反十二歩村ノ北方ニアリ大樹ナシ

中林 民有二属ス長三十二間余廣六間反別六畝十五歩村ノ北方ニアリ大樹ナシ

日影林 民有二属ス長七町三十間余廣十二間反別一町八反十一歩村ノ北方ニアリ大樹ナシ

胡稚沢林 民有二属ス長四町三十七間余廣二十八間反別二町五反九畝九歩村ノ北方ニアリ大樹ナシ

竹ノ地林 民有二属ス長六町八間余廣十五間反別一町八反四畝六歩村ノ北方ニアリ大樹ナシ

鷹巣林 民有二属ス長三町二十間廣二十一間反別一町四反歩村ノ北方ニアリ大樹ナシ

溝入林 民有二属ス長三十七間余廣二十八間反別三反四畝二十五歩村ノ北方ニアリ大樹ナシ

山ノ神林 民有二属ス長十町二十四間廣二十五間反別五町一反九畝二十九歩村ノ丑ノ方ニアリ大樹ナシ

大平林 民有二属ス長十二町十八間廣十間反別二町四反六畝一步村ノ丑ノ方ニアリ大樹ナシ

巖嶮林 民有二属ス長二町三十六間余廣二十五間反別一町三反十八歩村ノ丑ノ方ニアリ大樹ナシ

浦山林 民有二属ス長二町八間廣十三間反別五反五畝十五歩村ノ丑ノ方ニアリ大樹ナシ

唐沢林 民有二属ス長五十町四十八間余廣三十間反別三十町四反八畝十六歩村ノ西方ニアリ松樹多シ田二尺ヨリ一丈ニ至ル長之二伴フ

南林 民有二属ス長十七町三十六間余廣三十間反別七町七反七畝二十三歩村ノ西方ニアリ松樹多シ田一尺ヨリ一丈ニ至ル長之二伴フ

高戸谷林 民有二属ス長七町五十八間廣五十間反別七町九反六畝二十歩村ノ

西方ニアリ大樹ナシ
庄ノ峯林 民有ニ屬ス長一町廣十五間余反別三反一畝二十步村ノ西方ニアリ大樹ナシ
狐窪林 民有ニ屬ス長十町四十八間余廣一町十間反別十五町一反二畝二十三歩村ノ西方ニアリ大樹ナシ
舟尾林 民有ニ屬ス長六町四十一間余廣五十間反別六町六反八畝五歩村ノ西方ニアリ大樹ナシ
北林 民有ニ屬ス長一町二十二間余廣二十間反別五反四畝二十三歩村ノ西方ニアリ大樹ナシ
垣森林 民有ニ屬ス長八町余廣四十間反別五町四反四畝二十一步村ノ西方ニアリ大樹ナシ
向山林 民有ニ屬ス長十二町三十八間余廣一町反別十五町一反七畝十八歩村ノ西方ニアリ大樹ナシ
端上林 民有ニ屬ス長八町四十九間余廣十五間反別二町六反四畝二十三歩村ノ西方ニアリ大樹ナシ
佛向山林 民有ニ屬ス長三十五町十一間廣一町反別四十二町二反二畝村ノ西方ニアリ大樹ナシ

方ニアリ穉松多シ
釜場林 民有ニ屬ス長三十町廣五十間反別三十町村ノ西方ニアリ亦多クハ小松ナリ
太尾山林 民有ニ屬ス長三十一町五十六間余廣一町反別三十八町三反三畝村ノ西方ニアリ雜木ニシテ多クハ小爪ナリ
鈴ヶ尾林 民有ニ屬ス長十五町二十四間廣一町余反別十八町四反七畝村ノ西方ニアリ小松多ク圍二尺ヨリ五尺ニ至ル長之二伴フ
日見影林 民有ニ屬ス長十七町五十三間廣一町余反別二十一町四反六畝村ノ西方ニアリ小雜木多シ
大日影林 民有ニ屬ス長八町三十四間廣六十間反別十町二反八畝村ノ西方ニアリ松樹多シ圍二尺ヨリ八尺ニ至ル長之二伴フ
大日向山林 民有ニ屬ス長十八町四十八間余廣六十間反別二十二町五反七畝村ノ西方ニアリ穉松多シ
太平山林 民有ニ屬ス長六町廣六十間反別八町四反村ノ西方ニアリ松樹ニシテ圍一尺五寸ヨリ七尺ニ至ル長之二伴フ
小柄山林 民有ニ屬ス長四町五十一間廣四十間反別三町八反八畝村ノ西方ニアリ

アリ松樹ニシテ圃五尺ヨリ一丈ニ至ル
峠山林 民有ニ屬ス長十六町二十八間廣五十間反別十六町四反八畝村ノ巳ノ方
ニアリ小松ニシテ圃一尺五寸ヨリ七尺ニ至ル長之二伴フ
天室山林 長二十五町廣六十間反別三十町八反八畝村ノ西ノ方ニアリ小雜木多
ク間松樹アリ圃一尺五寸ヨリ一丈ニ至ル長之二伴フ
峠林 民有ニ屬ス長二十九町十二間廣一町二十間余反別四十六町七反二畝村ノ
申ノ方ニ在リ雜木多シ圃凡二尺ヨリ二間ニ至ル長之二伴フ
白張林 民有ニ屬ス長八十五町二十間廣六十間反別百七町二反村ノ赤ノ方ニア
リ多クハ雜木ニシテ小樹ナリ
太釜山林 民有ニ屬ス長三町廣四十間余反別二町四反村ノ赤方ニアリ雜木多シ
峠日影山林 民有ニ屬ス長五十間廣四十七間余反別七反九畝六步村ノ赤方ニ
在リ小雜木ナリ
藤塚林 民有ニ屬ス長六町五十二間廣四十間余反別五町四反九畝二十二步村ノ
亥方ニアリ松樹ナリ圃一尺ヨリ九尺ニ至ル長之二伴フ
淀ヶ沢林 民有ニ屬ス長二町三十間廣四十二間反別二十一町村ノ平方ニアリ小
雜木ナリ

入ヶ沢林 民有ニ屬ス長八町廣五十間反別八町村ノ寅方ニアリ又小雜木ニシテ
圃一尺ヨリ六尺ニ至ル長之二伴フ
宮ノ入林 民有ニ屬ス長四町五十四間廣五十間反別三町九反村ノ寅方ニアリ雜
木アリ圃三尺ヨリ六尺ニ至ル長之二伴フ
入高松林 民有ニ屬ス長十七町七間廣六十間反別二十町五反二畝村ノ巳方ニア
リ雜木ニシテ圃一尺ヨリ三尺ニ至ル長之二伴フ
丸山沢林 民有ニ屬ス長五十八町三十五間廣六十間反別七十町三反村ノ巳方ニ
アリ雜木多シ圃一尺ヨリ一丈ニ至ル長之二伴フ
押ヶ沢林 民有ニ屬ス長三十二町廣十間反別三十二町五反村ノ辰方ニ在リ多ク
ハ梅ニシテ其間雜木アリ圃三尺ヨリ二丈ニ至ル長之二伴フ
月沢林 民有ニ屬ス長五十七町五十五間廣六十間反別六十九町五反村ノ辰ノ方
ニアリ梅樹多ク間ニ雜木アリ圃三尺ヨリ二丈ニ至ル長之二伴フ
久傳地林 民有ニ屬ス長五十四町十間廣六十間反別六十五町村ノ寅方ニアリ雜
木多シ圃三尺ヨリ九尺ニ至ル長之二伴フ
大沢林 民有ニ屬ス長五十二町廣六十間反別六十二町四反村ノ卯方ニアリ梅樹
多シ圃三尺ヨリ二丈ニ至ル長之二伴フ

大ノ田沢 民有ニ屬ス長二十二町三十間廣五十間反別二十二町五反村ノ東方ニ
アリ雜ホニシテ田二尺ヨリ一丈ニ至ル長之ニ伴フ
傘山林 民有ニ屬ス長六十五町四十五間廣五十間余反別六十五町七反五畝二十
歩村ノ東方ニアリ多クハ松樹ナリ田一尺ヨリ八尺ニ至ル長之ニ伴フ

原 野 場 山

無シ
無シ

鉛山 高岡回詳ナラズ本村辰ノ方一里十五町ニアリ硫物発見ハ元和元年三月
ニ起リ既ニ百四年ヲ経テ正徳六申年ヨリ休山
大野田鑛山 本村卯ノ方一里二十五町ニアリ其発見ハ嘉永三戊年ニ起リ今ニ至
ルマデ猶止ムナシ

湖 沼

大洞池 東西十一間三尺南北六間周回三十間村ノ亥ノ方ニアリ
下ノ池 東西七間南北五間周回二十三間亦村ノ亥ノ方ニアリ

オノ神池 東西十八間二尺南北十二間一尺周回五十四間村ノ子ノ方ニアリ
西ノ沢池 東西五間南北十二間周回三十三間村ノ西ノ方ニアリ
若宮池 東西十二間南北十八間五尺周回五十八間三尺村ノ東方ニ在リ
清水久保池 東西十二間三尺南北十六間五尺周回五十七間村ノ赤ノ方ニ在リ
以上刈谷原町耕地ノ用水ト爲シ余水保福寺川ニ入ル
山田下ノ池 東西十七間四尺南北十七間二尺周回七十八間四尺村ノ卯ノ方七畝
耕地ニアリ
山田上ノ池 東西十二間南北二十九間周回八十六間亦村ノ卯ノ方七畝耕地ニア
リ
権現池 東西五間三尺南北三間三尺周回二十二間亦村ノ東方七畝耕地ニアリ
以上七嵐耕地ノ用水トナル余流亦保福寺川ニ入ル
胡桃谷池 東西六間五尺一寸南北七間周回二十七間四尺二寸村ノ東方赤怒田
耕地ニアリ
東沢田池 東西四間南北三間三尺周回十五間亦村ノ東方赤怒田耕地ニアリ
以上赤怒田耕地ノ用水ニ供シ余水亦保福寺川ニ入ル
釜ノ沢池 東西十九間三尺南北九間周回四十九間村ノ東方穴沢耕地ニアリ

掘不沢池 東西六間南北三間周回十八間四尺亦村ノ寅ノ方穴沢耕地ニアリ
溝入池 東西四間南北三間周回十五間四尺亦村ノ寅ノ方穴沢耕地ニアリ
以上穴沢耕地ノ用水トナシ余水會田川ニ入ル
骨原池 東西四間四尺南北四間四尺周回十一間三尺村ノ丑ノ方取出耕地ニアリ
骨原池 東西四間三尺南北四間三尺周回十二間亦取出耕地前條骨原池ニ并ブ
大平池 東西五間南北五間周回十六間亦取出耕地ニアリ
堂溝原池 東西四間四尺南北七間四尺周回二十四間五尺亦取出耕地ニアリ
以上取出耕地ノ用水ト爲シ余水穴沢川ニ會シ會田川ニ入ル
小久保池 東西十間三尺南北五間周回三十一間村ノ北方坂場耕地ニアリ該耕
地ノ用水ニ供シ余流保福寺川ニ入ル
狐久保池 東西十三間南北十一間三尺周回四十七間村ノ北方反町耕地ニアリ
該耕地ノ用水トナシ余水保福寺川ニ入ル

道路

北國西街道 二等道路ニ屬ス村ノ未ノ方岡本村伊深耕地ノ界既千仇坂峠ノ嶺
上ヨリ亥ノ方會田村ニ至ル長一里八町五十八間幅二間並水峠ノ中ニアリ

東京往還 三等道路ニ屬シ上川手村ヨリ本村刈谷原駅ニ通ジ駅ノ北端字町下
ニ到リ東ニ分折シ十五町五十三間ニシテ保福寺通り東京往還ニ會ス長一里二十一
町四十三間幅九尺
保福寺通東京往還 三等道路ニ屬シ村ノ巳ノ方岡本村稲倉耕地ノ界即千龜割坂ノ
嶺頭ヨリ辰ノ方小縣郡西内村ニ至ル長四里三十四町幅二間
地藏峠越上田道 三等道路ニ屬ス村ノ東北ニアリ北國西街道刈谷原駅ヨリ會田駅
ニ至ノ間東折シ十八町四十一間ニシテ中川村ニ至リ地藏峠ヲ經小縣郡浦野駅ニ達
ス道幅八尺
掲示場 五ヶ所アリ一ハ本村南口ヨリ十八町刈谷原耕地ニアリ一ハ三十三町三
十七間七畝耕地ニアリ其一里二十町二十四間保福寺耕地ニアリ其一里二十五
町反町耕地ニアリ其一里十二町二十四間取出耕地ニアリ

堤塘

寺前堤 保福寺川ニ沿ヒ村ノ東方保福寺町耕地ニアリ長四町馬踏一間堤敷二間
修繕費用八民ニ屬ス
二ツ梭 保福寺川ニ沿ヒ村ノ東方保福寺町耕地ニアリ長三町馬踏一間堤敷二間

修繕費用ハ民ニ属ス
 河原堤 保福寺川ニ沿ヒ村ノ北方川谷原耕地ニアリ長三町馬踏一間堤敷二間修繕費用ハ民ニ属ス
 大橋堤 保福寺川ニ沿ヒ村ノ東方赤怒田耕地ニアリ長二町三十間馬踏一間堤敷二間修繕費用ハ民ニ属ス

港 無シ
 出崎 無シ
 嶋 無シ
 暗礁 無シ
 燈明台 附燈明船 無シ
 龍 無シ
 温泉 無シ

冷泉

入洞ノ湯 川谷原駅南口ニアリ硫気ヲ以混成ス疝気疥癩ニ宣ト虽モ亦其能ヲ知ラズ明治元年一菴ヲ結ビ薪ニ籍リ煖ヲ備フテ入浴ス一歳ノ速旅凡三百ニ過ギス浴客凡八百人内外ニアリ

公 園 墓

太田弥助ノ墓 五輪塔ニシテ工ヲ封セズ川谷原町耕地洞光寺中沢田名ノ榮地ニアリ塔ノ表面法蓋死日及梵字ヲ記シ其石側ニ居城氏名ヲ鐫ス後細別ニ太田弥助資忠ハ道灌ノ一族ナリ道灌ノ孫ノ子文明八年道灌鎌倉ニ戦死ノ後当国ニ承リ川谷原ノ城ニヨリ今鷹兼テ荒神尾播場ノ城ヲ守リ東西十六ヶ村ノ田ヲ領ス天文二十一年八月五日武田晴信保福寺口ヨリ来リ攻ム資忠固ク之ヲ防カ是ヨリ先資忠使ヲ遣シ後援ヲ小笠原氏ニ乞フ而来ルヲ果サズ其十三日ヲ以テ萩原弥石衛門ノ殺ス所トナリ城終ニ陥ル
 中沢監物ノ墓 五輪塔ニシテ其形一ツニ太田資忠ノ墓ニ同シ洞光寺資忠ノ次ニアリ塔ノ表面石方ニ法蓋死日ヲ記シ中央ニ梵字アリ按ナルニ合其石側ニ居城氏名ヲ

刻シ其丘側ニ妻ノ姓氏ヲ記ス詳細圖面中沢監物資盛ハ太田道灌ノ第三子ナリ上川
台妻郡中ノ沢ノ城ニ居ル由テ氏トス天文十四年北條氏綱ノ陷ル所トナリ采テ太田
資忠ト合ス二十一年八月武田晴信來リ收ルヲ聞キ深志ニ至リ後継ヲ小笠原氏ニ計
リ歸途夜ル馬飼峠ヲ過ギ坂行ク竹ノ鼻ニ到ル土寇アリ遮リ戰フ討テ之ヲ過ク胸
ニ傷キ歸テ民家ニ浴ス此ノ月晴信果テ來リ攻ム資盛創ヲ患ヒ出ル能ハズ其十三日
ヲ以テ城終ニ陥リ資忠戰死ス資盛刈谷原ニ潛居シ創ヲ治シ後遂ニ武田氏ニ歸シ橋
当所ニアリテ武田氏ヘ降伏ノ士三十六騎ヲ預リ北越押ノ命ヲ受ク爾後世々此ニ住
今ニ至テ十三世武田氏賜フ所ノ感狀アリ別ニ附シテ出ス

社

一 神明宮社 社格之無シ辰ヨリ戌へ三十三間赤ヨリ丑へ二十二間面積二反四畝六步
刈谷原町耕地亥ノ方ニアリ天照大神ヲ祭ル祭日九月十一日社地中ニ老松アリ圍七
尺ヨリ九尺ニ至ル凡五本 本社地該社本方ニテ東西相對シ距ル事六町刈谷原町耕
寺川ヲ隔テ祭典ニ不便ナルヲ以テ中古分テ兩社ト南北六間東西二十六間面積五畝
六步老松一本アリ圍七尺長之ニ伴フ
一 白張社 社格之無シ辰ヨリ戌へ三十間三尺申ヨリ寅へ三十八間三尺面積三反八

畝十九步村ノ辰ノ方七畝耕地ニアリ神功皇后ヲ祭ル祭日九月七日唐松一本アリ圍
二間槻又一本アリ圍一丈八尺外雜木アリ
一 奥社地該社本方ニテ該社ヨリ登ル十一辰ヨリ戌へ八間赤ヨリ丑へ十間面積二畝二
十步
一 淺間社 社格之レ無シ村ノ寅ノ方赤怒田耕地ニアリ東西十三間三尺南北七十間
余面積三反一畝二十六步水花咲爺姫ヲ祭ル祭日九月十一日 奥社前同該社ノ南
一町二十間其辰ヨリ戌へ二十間赤ヨリ丑へ十間面積六畝九步老樹五本アリ圍五尺
ヨリ七尺ニ至ル
一 春日社 社格之レ無シ村ノ卯ノ方殿野入耕地ニアリ辰ヨリ戌へ十八間赤ヨリ丑
へ四十一間三尺六寸面積二反四畝二十八步天兒屋根命ヲ祭ル祭日七月二十九日老
杉五本アリ圍六尺ヨリ一丈ニ至ル老松八本アリ圍六尺ヨリ八尺ニ至ル
一 神明宮社 社格之レ無シ村ノ辰ノ方金山町耕地ニアリ東西八間南北八間面積二畝
四步天照大神ヲ祭ル祭日七月二十九日
一 津島社 社格無シ村ノ東方保福寺町耕地ニアリ東西三十五間南北三十五間面積
四反二十五步素盞鳴尊ヲ祭ル祭日七月二十八日老樹十五本アリ圍六尺ヨリ七尺ニ
至ル

寺

一 諏訪社 社格無シ村ノ北方板場耕地ニアリ東西二十八間南北九間面積八畝十二歩建御名方命ヲ祭ル祭日七月三十日老槻五本アリ圍五尺ヨリ二丈ニ至ル老槻一本アリ圍五尺

二 雷神社 社格無シ村ノ丑ノ方取出耕地ニアリ東西十三間南北三十七間面積一反六畝一步武雷神ヲ祭ル祭日八月六日老松二本アリ圍五尺ヨリ六尺ニ至ル

奥社前同助該社ノ東ノ方ニアリ東西九間南北九間四尺五寸面積三畝六歩老松一本アリ圍五尺

三 諏訪社 社格ナシ村ノ寅ノ方穴沢耕地ニアリ東西八間南北二十八間面積七畝十五歩建御名方命ヲ祭ル祭日八月一日老杉二本アリ圍九尺ヨリ一丈ニ至ル

四 秋葉社 社格ナシ村ノ亥ノ方反町耕地ニアリ東西十五間三尺南北三十九間三尺八寸面積二反十四歩軒遇突智命ヲ祭ル祭日九月四日老松二本圍八尺一畝一畝圍九尺

奥社前同助該社ノ子ノ方ニアリ東西四間南北三十二間余面積四畝十一歩

洞光寺 寺格檀林東西十三間四尺七寸南北四十五間面積二反二十歩眞言宗紀伊國高野山金剛三昧院末派ナリ刈谷原町耕地ニアリ開基年曆詳ナラズ中世ニ至リ燒

學

校

夫ス寺僧十四世興憲ニ至リ中興ス是亦年曆詳ナラス古來本村神明宮社別當ヲ兼ネ本社ノ傍ニアルヲ中世分ツテ兩社トナスニ當リ亦從フテ今ノ地ニ遷ル明治二年ニ至テ別當ヲ罷ムアリ今田ト本社近傍ニ字寺數ト稱スル地

淨雲寺 東西二十九間南北十六間四尺面積一反六畝三歩淨土宗鎌西派松本旧淨林寺末派ナリ村ノ東北取出耕地ニアリ元和二年丙辰二月僧茂生成阿闍基創建ス明治六年十六代現住麟海ニ至リ西京惣本山昌恩院直末トナル

保福寺 東西三十間南北二十九間面積三反一畝四歩曹洞宗通幼派同郡林村廣沢寺ノ末派ナリ村ノ辰ノ方保福寺町耕地ニアリ文永五年戊辰鎌倉建長寺開山大覺禪師闍溪道隆開基創建ス即チ建長寺ト同開山ニシテ能登國總慈寺ノ直末ナリシガ後七代ニシテ武田晴信ノ焚燒スル所トナリ滅ス文龜二年壬戌ニ至リ雪天正等ナルモノ廣沢寺ヨリ末リ之レヲ中興シ乃チ同寺ノ末トナル右安政三年ニ至リ二條殿ノ位牌所トナル

常光寺 東西四間三尺南北四間面積十八歩眞言宗当村洞光寺ノ末派ナリ村ノ辰ノ方保福寺町耕地ニアリ元祿元年戊辰僧實辨開基創建ス

公立川谷原小学校一ヶ所村ノ未ノ方川谷原町耕地ニアリ生徒男五十九人女五十八人
 公立七藏小学校一ヶ所村ノ辰ノ方七藏耕地ニアリ生徒男四十九人女四十一人
 公立保福小学校一ヶ所村ノ卯ノ方保福寺町耕地ニアリ生徒男四十一人女三十一人
 公立取出小学校一ヶ所村ノ丑ノ方ニ取出耕地ニアリ生徒男四十三人女三十七人

町會所

東西八間南北四間三尺面積三十六坪川谷原町耕地小学校ニ隣ス

病院 無し

電線 無し

郵便局

郵便局ニヶ所其一川谷原駅中央一ツ保福寺駅中央ニアリ

製糸場 無し

大工場 無し

古跡

鷹巣根城墟 村ノ西方ニアリ東西五間南北八間回字形ヲナシ濶濶ヲウカツ南北ヲ三重トナシ西方ヲ二重トナシ東面ヲ以表トナス川谷原駅中央ヨリ西折シテ登ル古道遺濼尙存ス古昔海野小太郎幸繼ノ第五子川谷原五郎ナルモノ創築スル所ナリ大永三年癸未太田弥助資忠代テ此ニ據リ兼テ荒神尾捨場ノ城ヲ守ル資忠ハ太田道灌ノ一族ナリ道灌鎌倉ニ戦死ノ後当國ニ采リ小笠原長時ニ因ル天文二十二年上杉景虎既ニ上野ニ至ル武田晴信之ヲ時トシ八月二日甲府ヲ発シ小縣郡ニ向フ左馬助信繁等三將ヲ以テ小笠原氏ニ備ヘ向將トシテ保福寺嶺ヲ越エ五日ヲ以テ前軍馬場景政日判晴吉等采リ攻ム資忠岨岨ニ要シ銃ヲ放テ之ヲ防ギ殺傷過当綏ト近クヲ得ス晴信ノ部將米倉丹後守兼ヲ上リ始テ牛竹束數多ヲ造リ大ニ呼テ城ニ傳ル之ヲ得テ始メナリ其製鞍懸ノ賦ノ如シ長ヒ尺竹ヲ束ネテ其表ニ纏ヒ間ニ天條間ヲ穿テ輕卒ヲ其内ニオキ以テ銃ヲ防ケ進退急ノ如クナラザルナシ資忠之ヲ攘ハント欲シ自鎗ヲ採リ突出スル既ニ凡而長時出ル能ハス資忠其終ニ守ル能ハザルヲ知リ城ヲ拳テ突出シ圍ミヲ潰シ力戰ス景政晴吉馬ヲ馳セ縱橫指麾シ敵ヲ鳴ラシテ疾ク攻ム城兵勞レテ城ニ入ル資忠猶逞兵二十騎ヲ後リ直ニ景政ノ軍ヲ擣ク敵兵爲メニ勅ク而大兵積リ圍テ之ヲ討ツ資忠乃チ退テ城ニ入ントス敵兵之ニ尾シ遂ニ門ヲ奪テ入ル武田氏ノ工荻原弥石衛門尉資忠ノ疏取ナリ亦敵中ニアリ目ヲ注テ資忠ニ迫ル資忠之ト接シ鎌鎗ヲ以テ鉦ニ鉤ス彌石衛門其柄ヲ擣リ之レト

博シ刺シテ之ヲ殺ス城兵盡ク奮闘シテ死シ城遂ニ陥ル矣ニ八月十三日ナリ今刈谷
 原駅ヨリ保福寺駅ノ間即其古戰場ナリ此城嶮ニ兵銳ク守ルニ死ヲ以テス之ヲ攻
 志ヲ得ル偏ニ米倉ガ跡ヲ見ズ出ヅト信云厚ク之ヲ賞ス又曰石工門十合ニシテ
 功ナリ直ニ得ル十一級大ニ出ヅト賞ト云フ試田三代軍記巻ノ九及信府統記ニ見ユ
 城ノ西北地家老ガ嶽ト稱スルアリ太田氏ノ老臣居ル処ナリト云フ面ヲ赤
 荒神尾城墟 七畝耕地ニアリ四方十間計回字形ヲナシ二三ノ郭アリ堤壁尙在ス大
 永年間ヨリ太田弥助此ヲ守ル天文年未ニ至リ亦武田晴信ノ陥ル所トナル兎場ノ城
 ノ遺趾アリ本城ノ支塔ニシテ洎濠ニアリト今兎ルナシ信府統記
 掻場城墟 村ノ東南保福寺町耕地ニアリ東西八間南北十五間山勢ニ依テ之ヲ築キ
 五稜回字其形ヲ見ス文龜二年壬戌小笠原大膳太夫長棟之ヲ創築シ其弟信益齋ニ之
 ヲ守ラシム永正十年癸酉小笠原氏ノ臣小沢維殿助ニ命ジ在番セシメ同十二年林藤
 藏代テ之ヲ守ル尔後信府林ノ城ヨリ更代之ヲ在番セシム后大永三年癸未ヨリ天文
 年未ニ至リ太田資忠鷹巢根ノ城主トナリ兼テ之ヲ守ル武田氏ニ至テ此守ヲ撤ス天
 正十年壬午小笠原右近太夫貞慶信府ニ承リ其十八年又維殿助ニ之ヲ守ラシム石川
 氏七比慶長十八年ニ至リ復小笠原兵部太夫参政信府ニ承リ亦小沢凡兵衛重間三右
 衛門ニ工卒ヲ附シテ之ヲ守ラシム信府統記 城墟年曆詳ナラズ小沢凡尔未今ニ至リ世々
 保福寺町耕地ニ住ス貞慶参政ヨリ給フ所ノ知行所未印目錄及参政ヨリ

新田義貞鑿石 高一尺九寸五分長二尺五寸廣一尺八寸刈谷原町耕地洞光寺前北園
 西街道西側ニアリ其元由如何ヲ知ラズ里言稚兒女子ニ至ルマテ義貞鑿石ト稱シ之
 ヲ勳カスモ勳カズ之ニ踞スル必罰アリトイフノミ然ルニ關東中国ノ行客或ハ知テ
 之ヲ訪フ艘フニ必因故アルベシ何ノ書ニ出ルヲ知ラズ

古番所趾 保福寺駅ニアリ東西五間南北四間三尺家屋尙存ス永正十年癸酉小笠原
 長棟創立シ婦女境ヲ出ルヲ禁シ米穀邦ニ糴スルヲ止ム尔後戸田氏ニ至リ世々次テ
 相襲ヒ明治元年戊辰ニ至リテ廢ス

長命寺庵寺趾 七畝耕地ニアリ東西十二間三尺南北十七間三尺慶長五年閏祖ノ傳
 憲卷之ヲ創建ス眞言宗刈谷原町耕地洞光寺
 赤派ナリ明治六年癸酉年無住無檀ヲ以テ廢シ
 テ小学校トナス

新田義貞鑿石

眞龍寺庵寺趾 金山町耕地ニアリ東西十一
 間南北八間延宝五年丙辰開基ノ傳機雲南全
 之ヲ創建ス曹洞宗當村保福寺ノ末派ナリ明
 治六年癸酉廢シテ畑トナス

高一尺九寸五分

長二尺五寸

廣一尺八寸

